

鳳闕見聞錄

坤

73

762

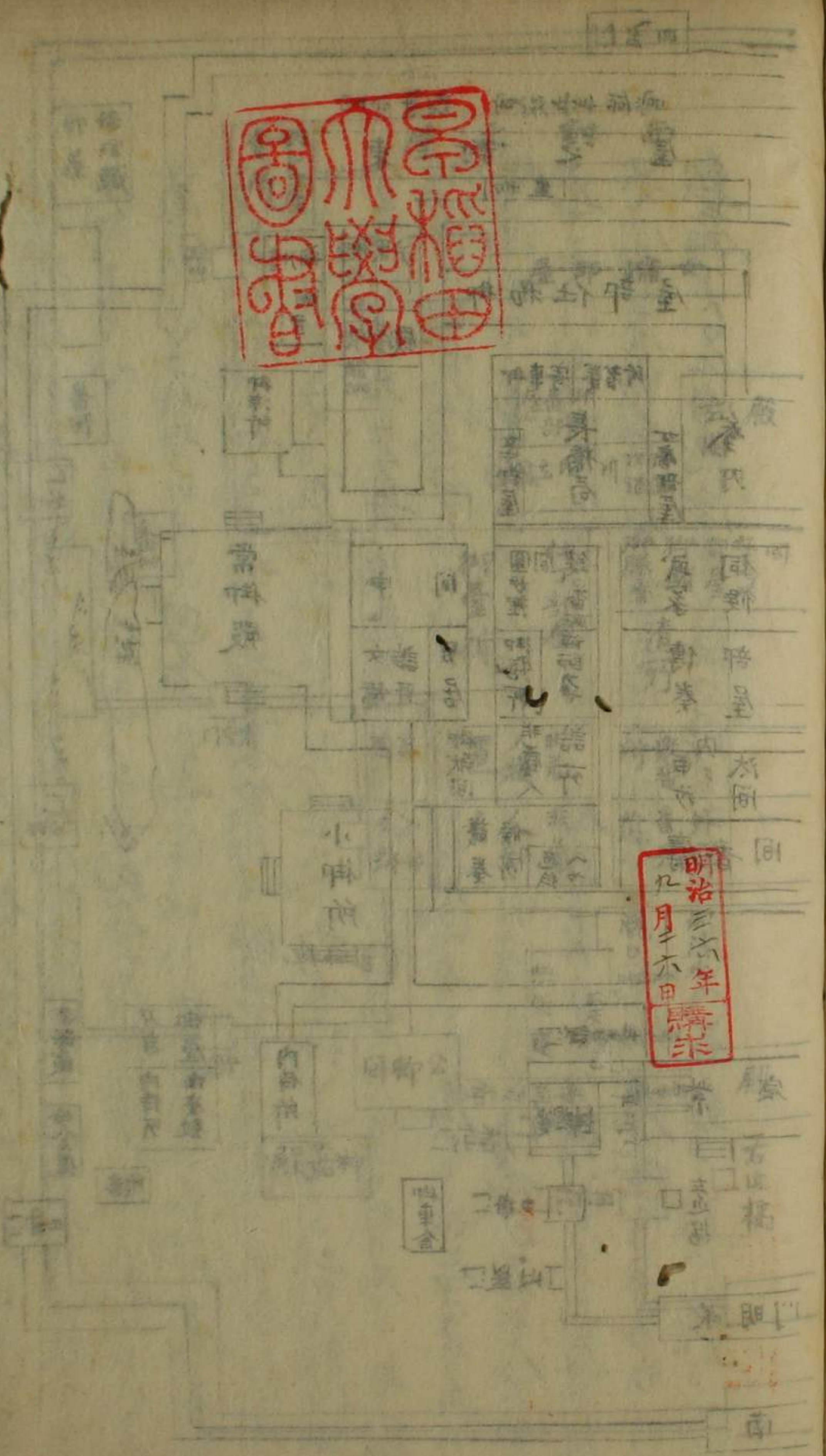
2



門牌  
號 762  
卷 2

皇清  
同治  
六年  
九月  
十六日  
購  
未

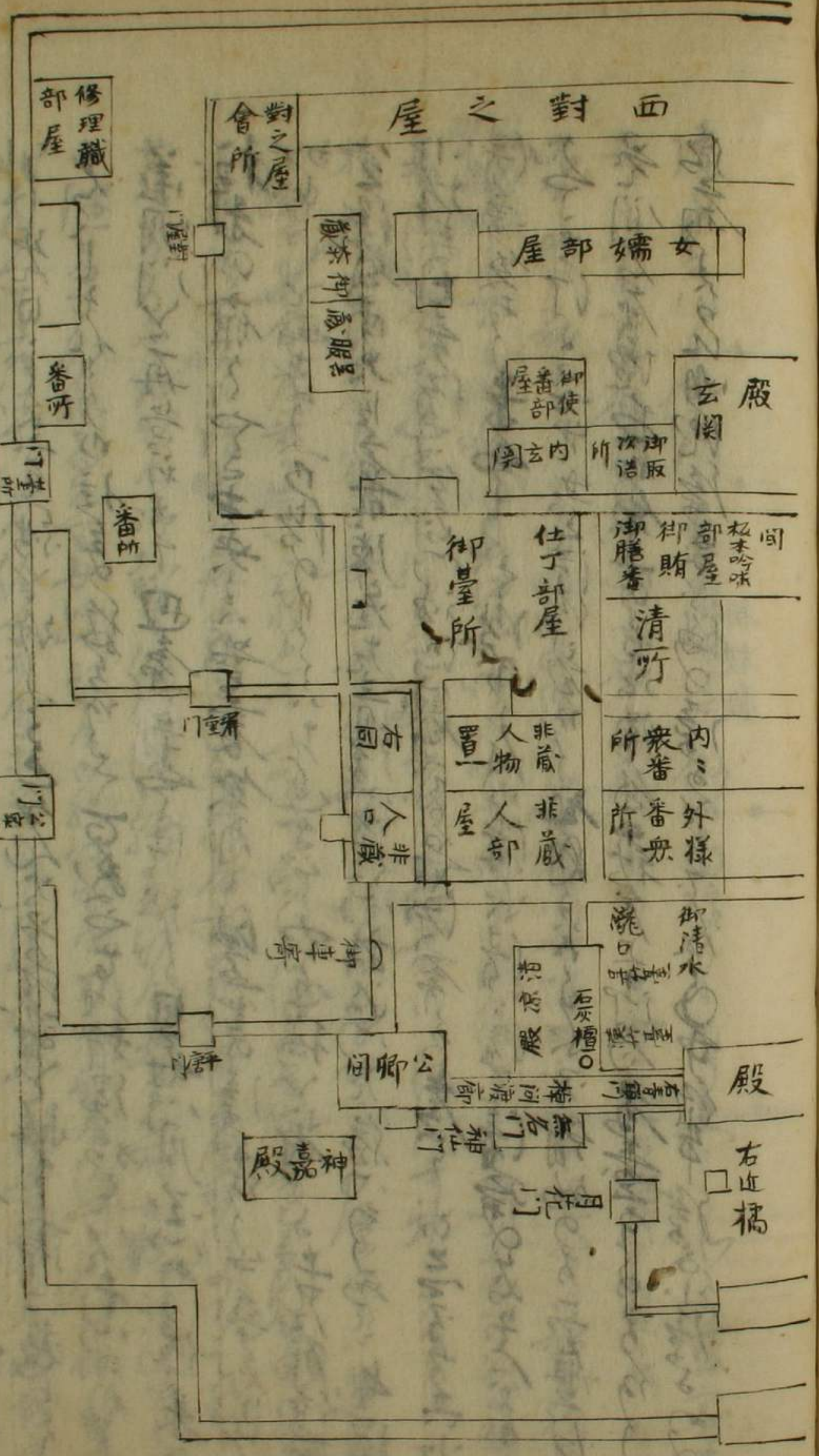
明治  
三十八年  
九月  
十六日  
購  
未



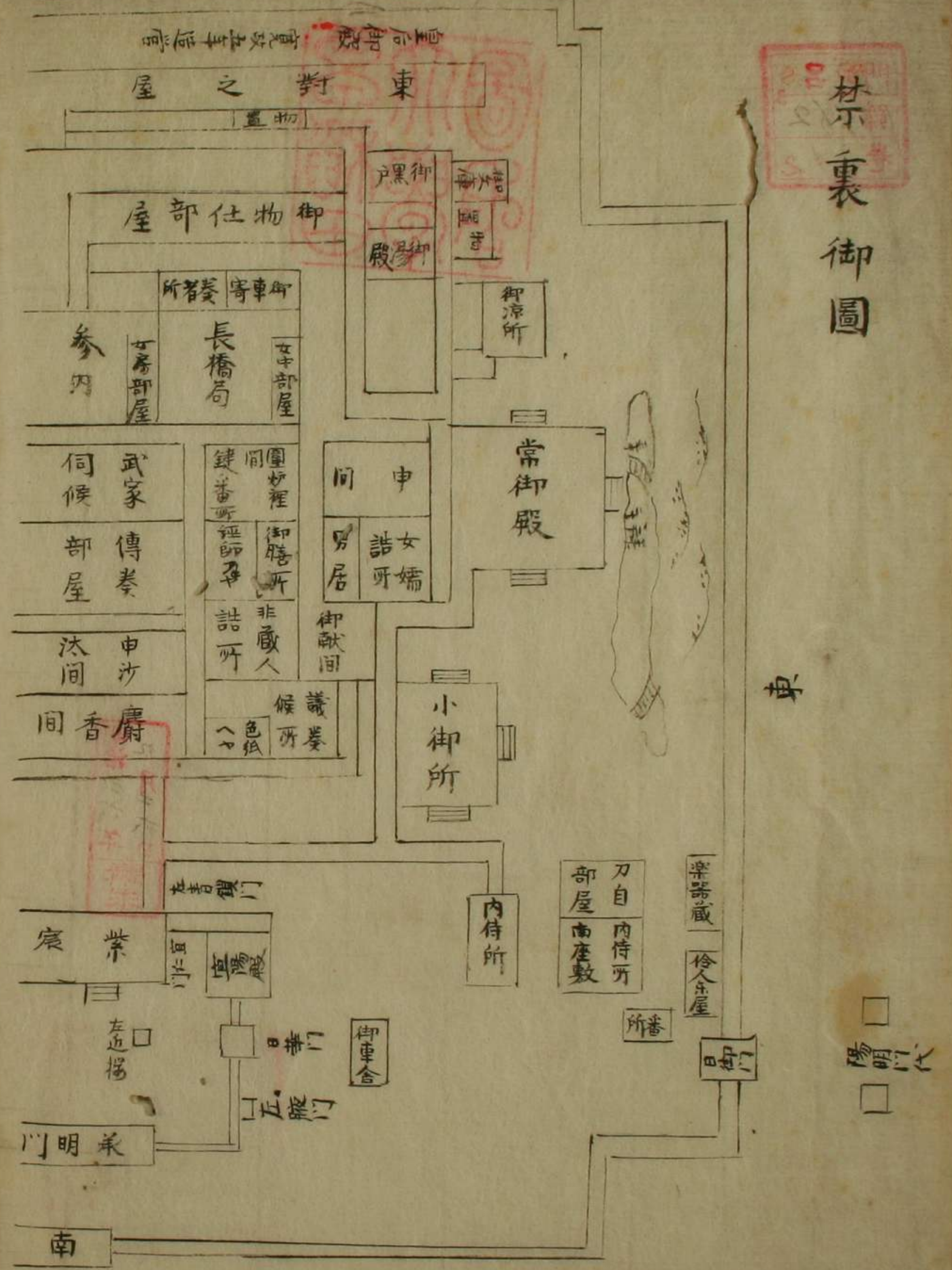
門  
圖



Handwritten notes in vertical columns on the left page, including the title '禁裏御圖' and various annotations.



四足門



禁裏御圖

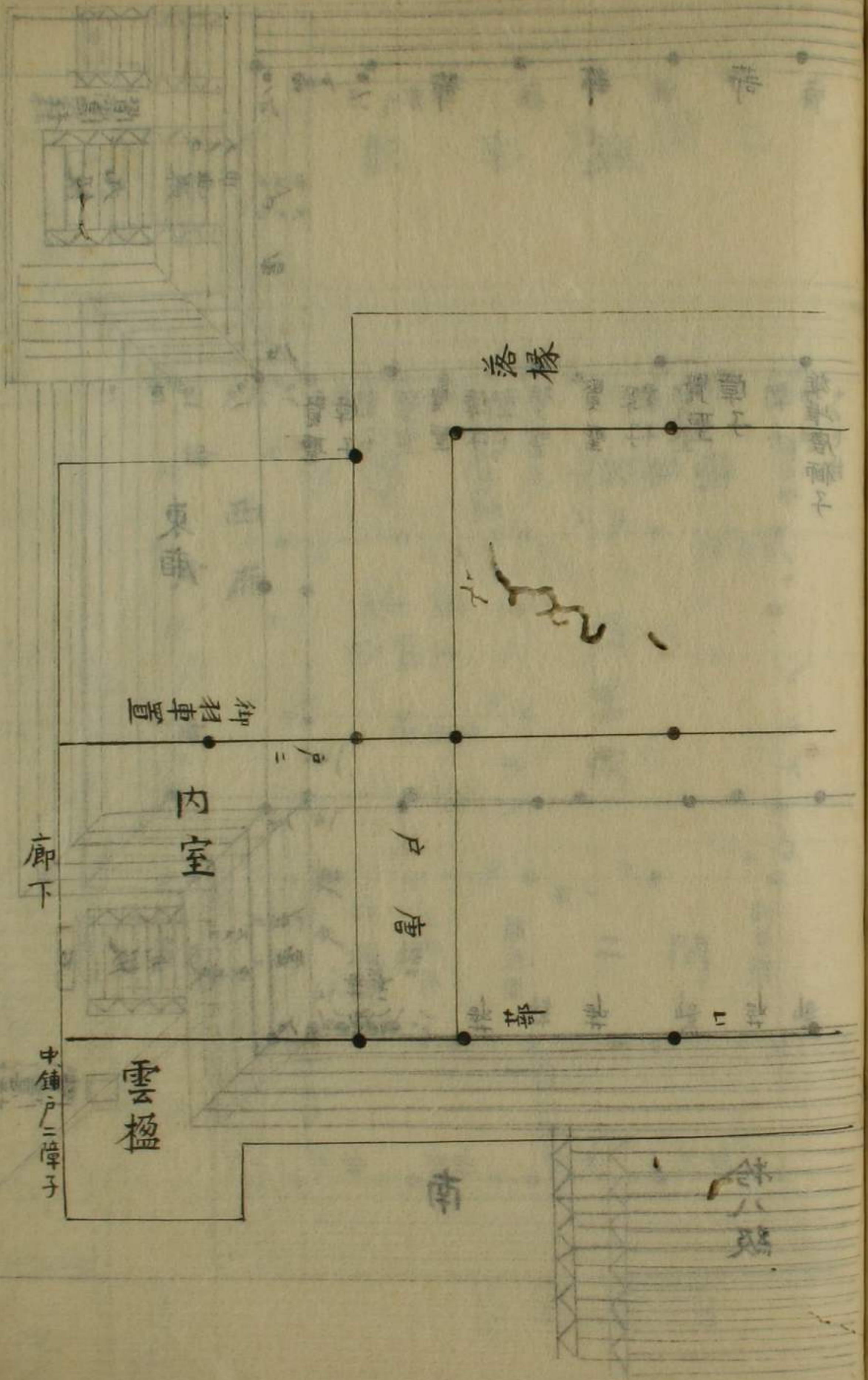
母

門

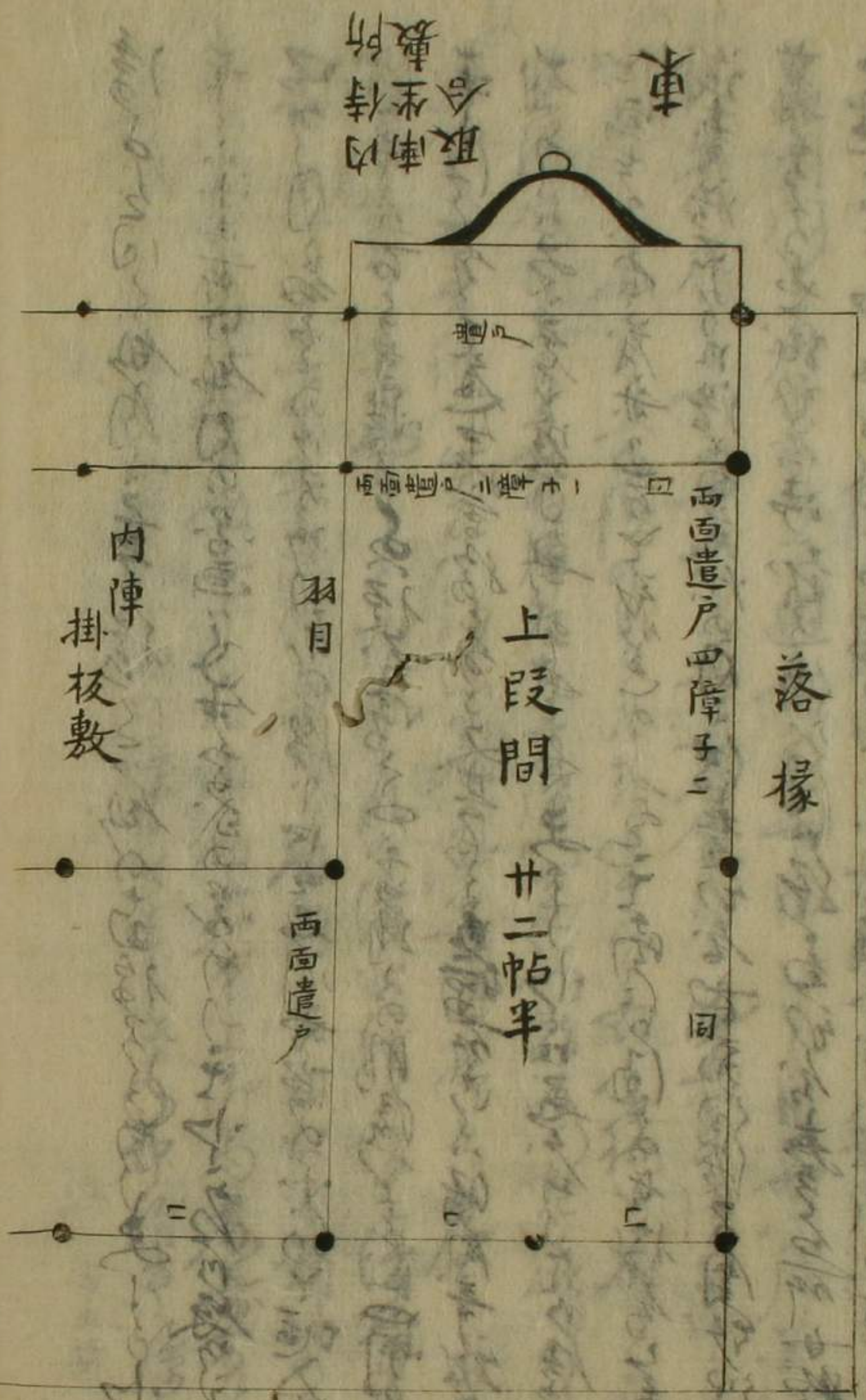
南



紫宸殿

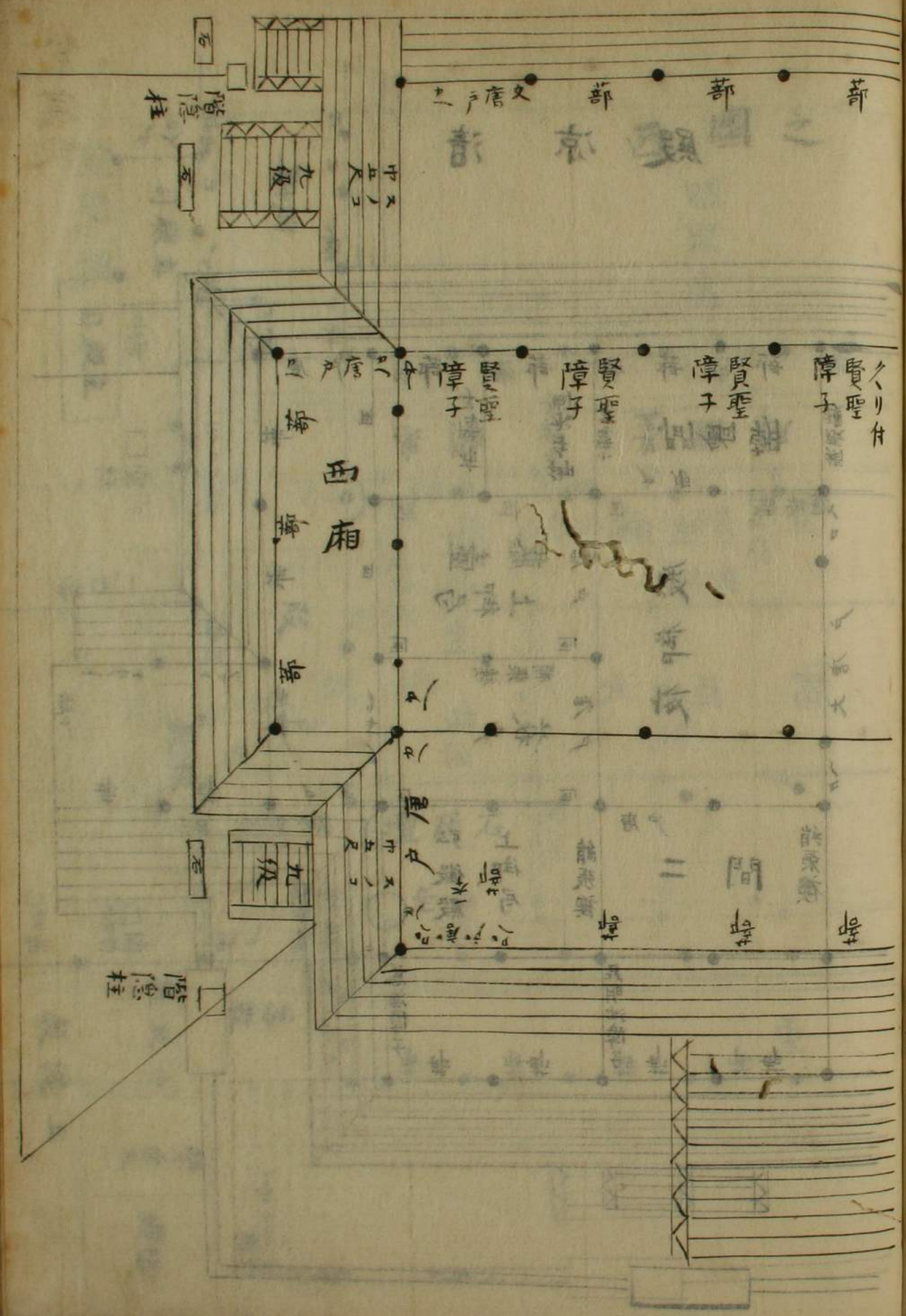
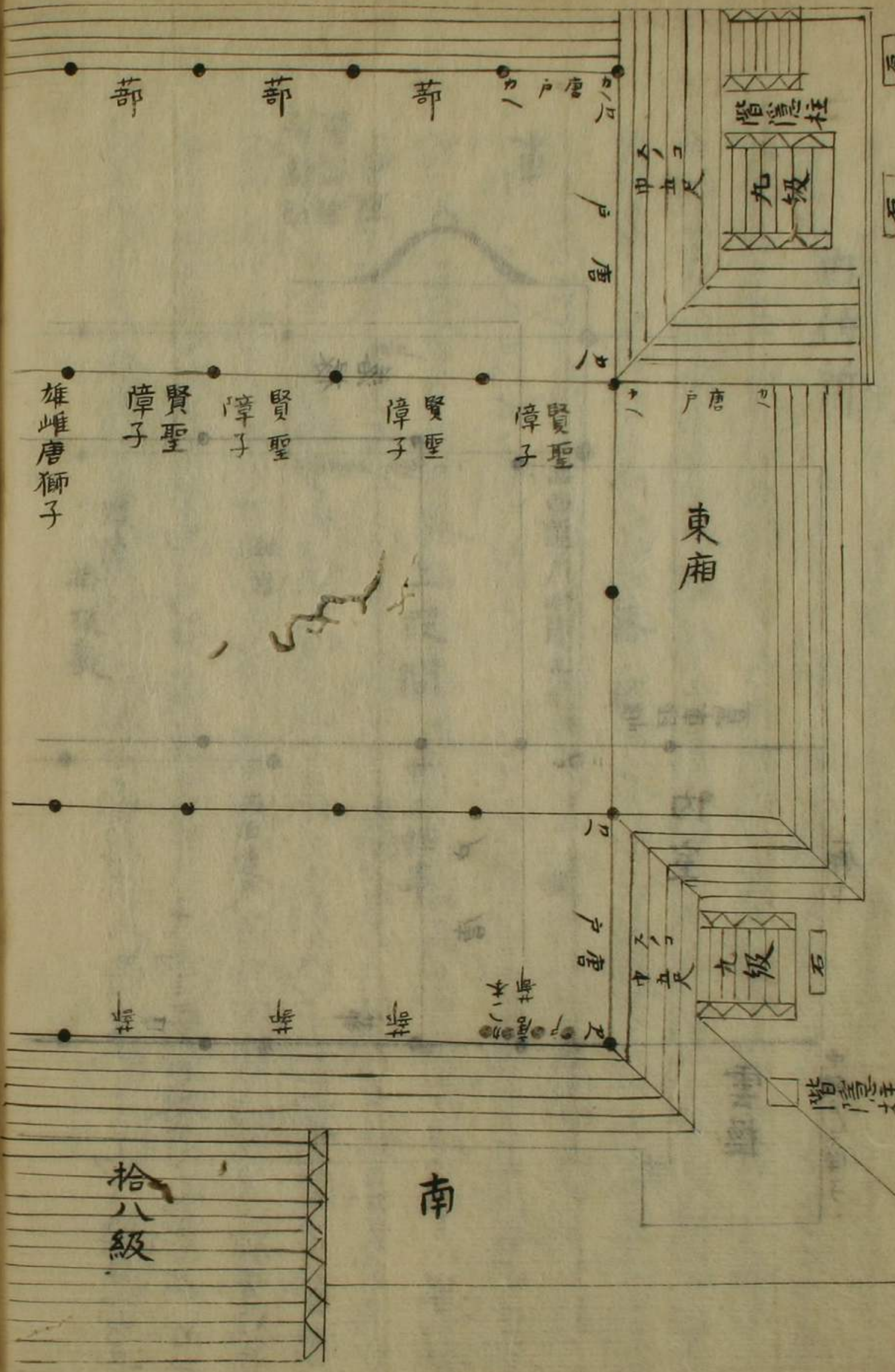


内侍所

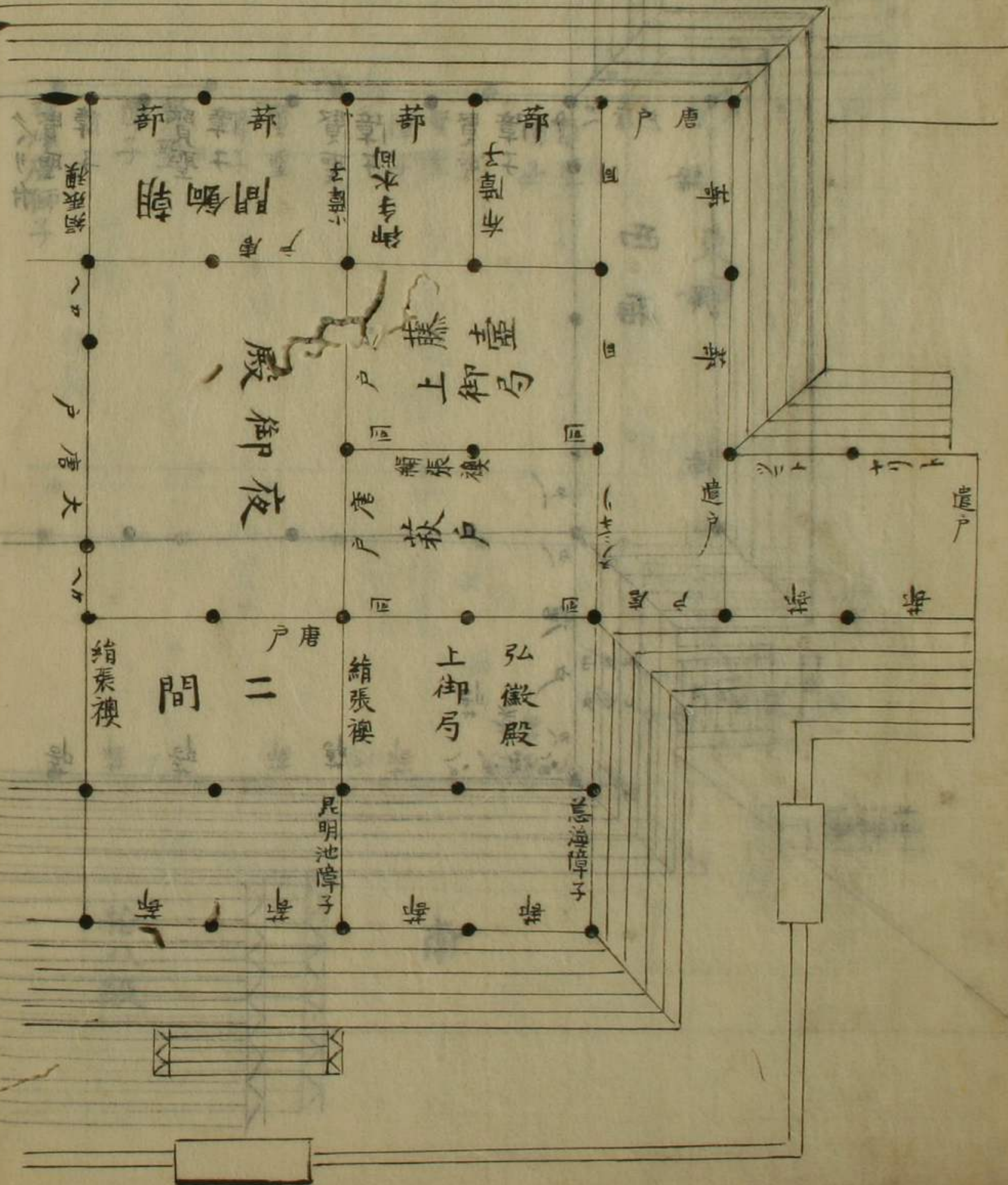


Handwritten notes in cursive script, likely providing additional details or commentary related to the architectural plans.

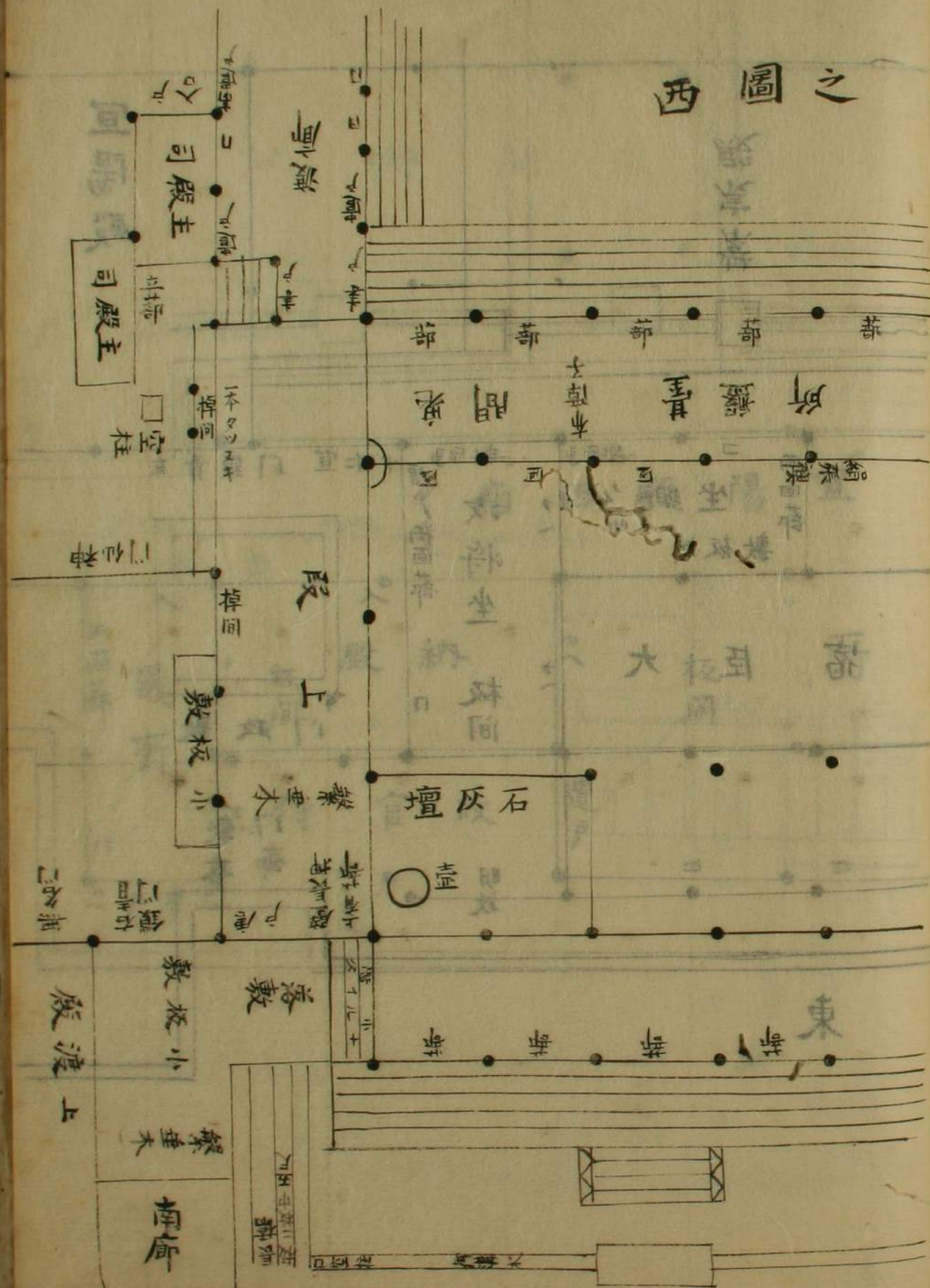
紫宸殿

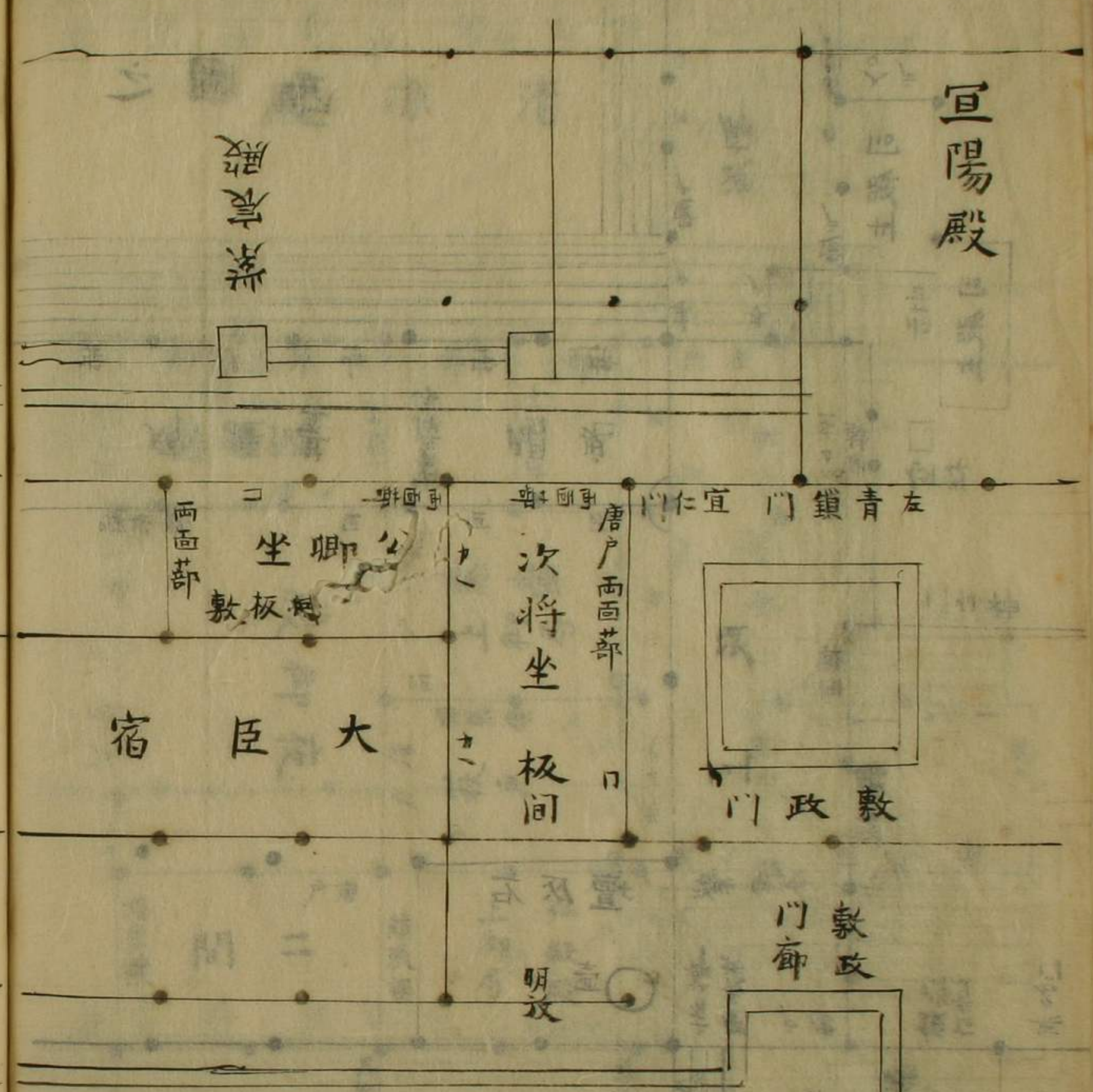
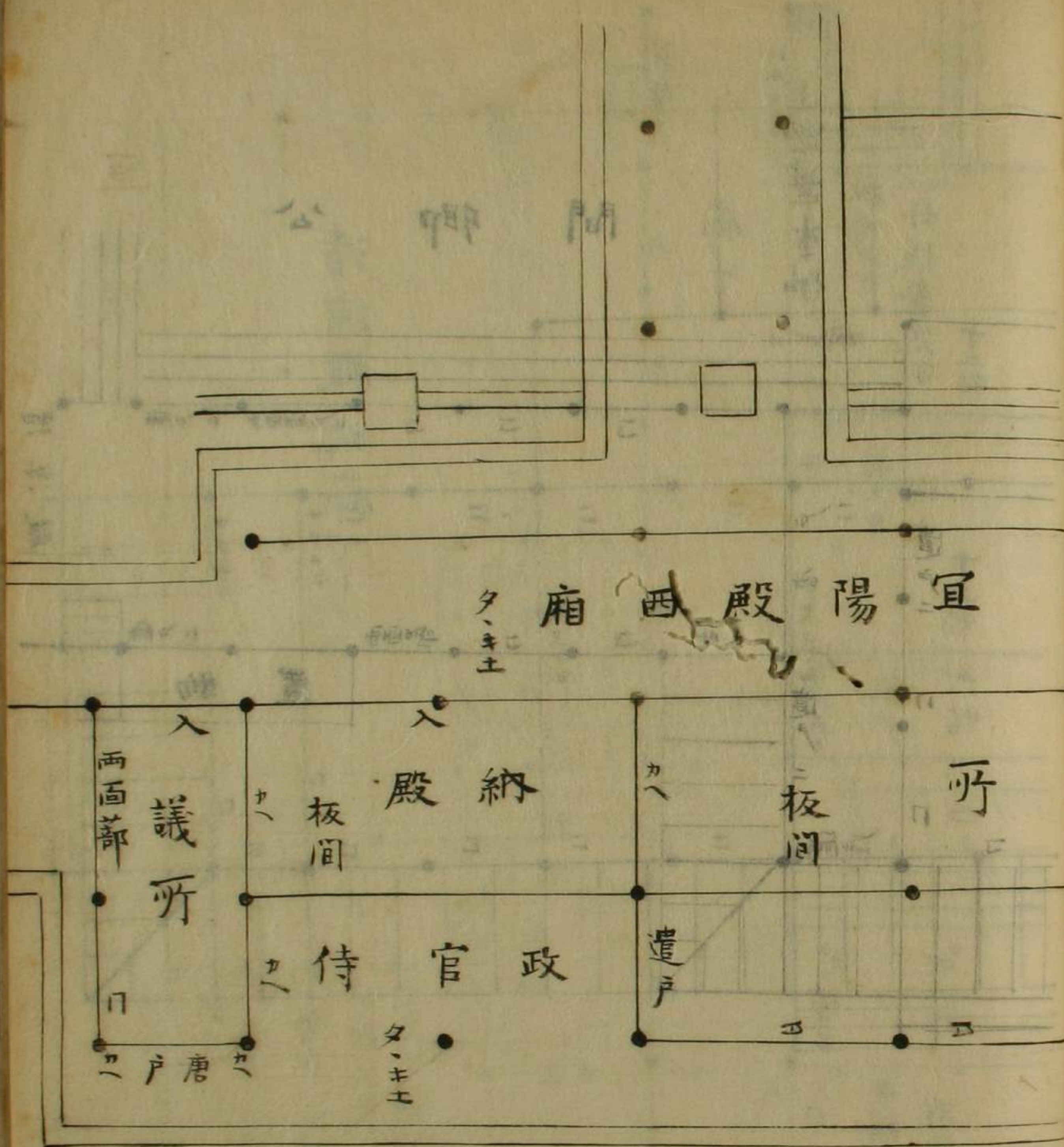


清涼殿



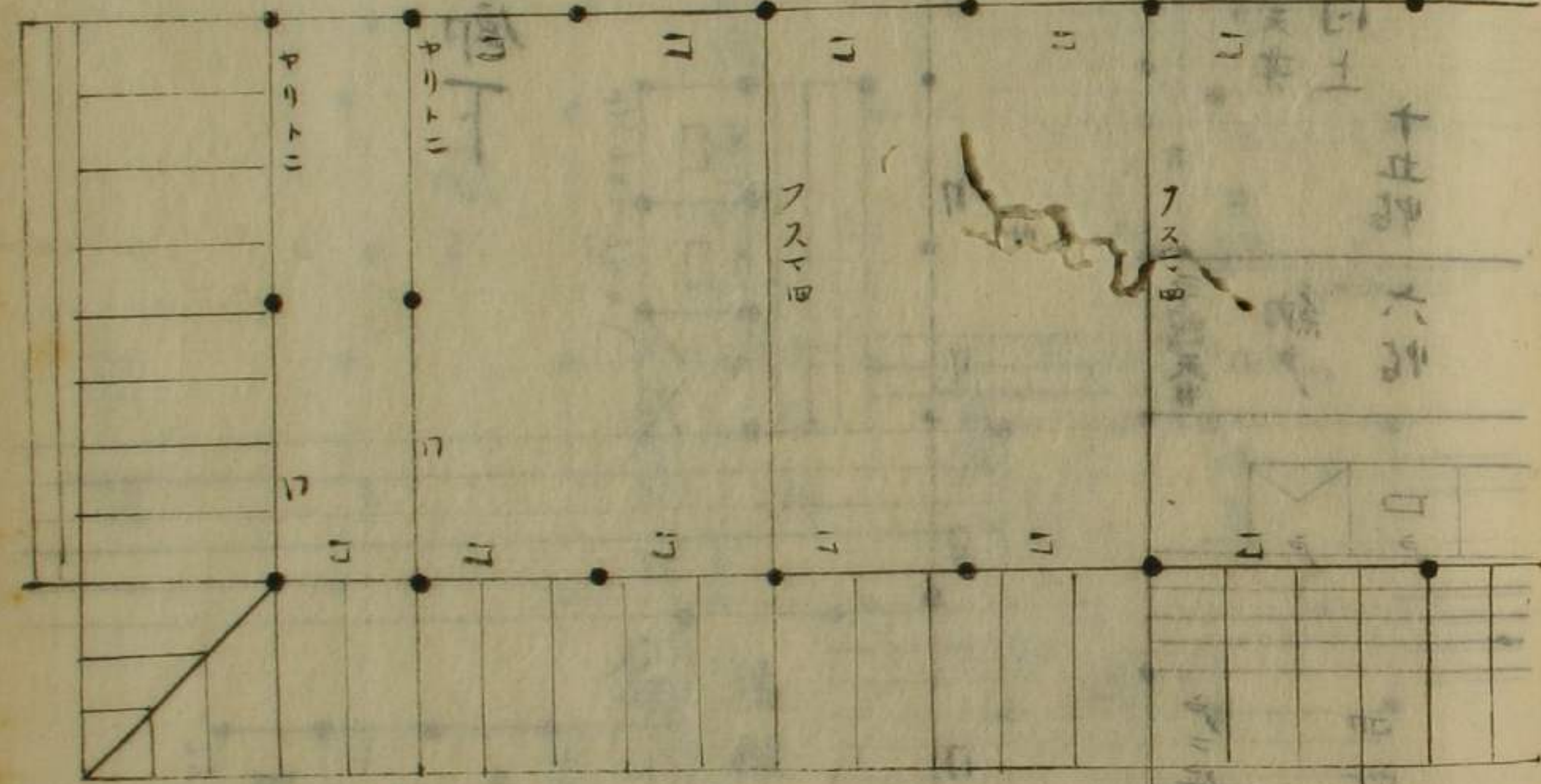
之圖西







新嘉坡



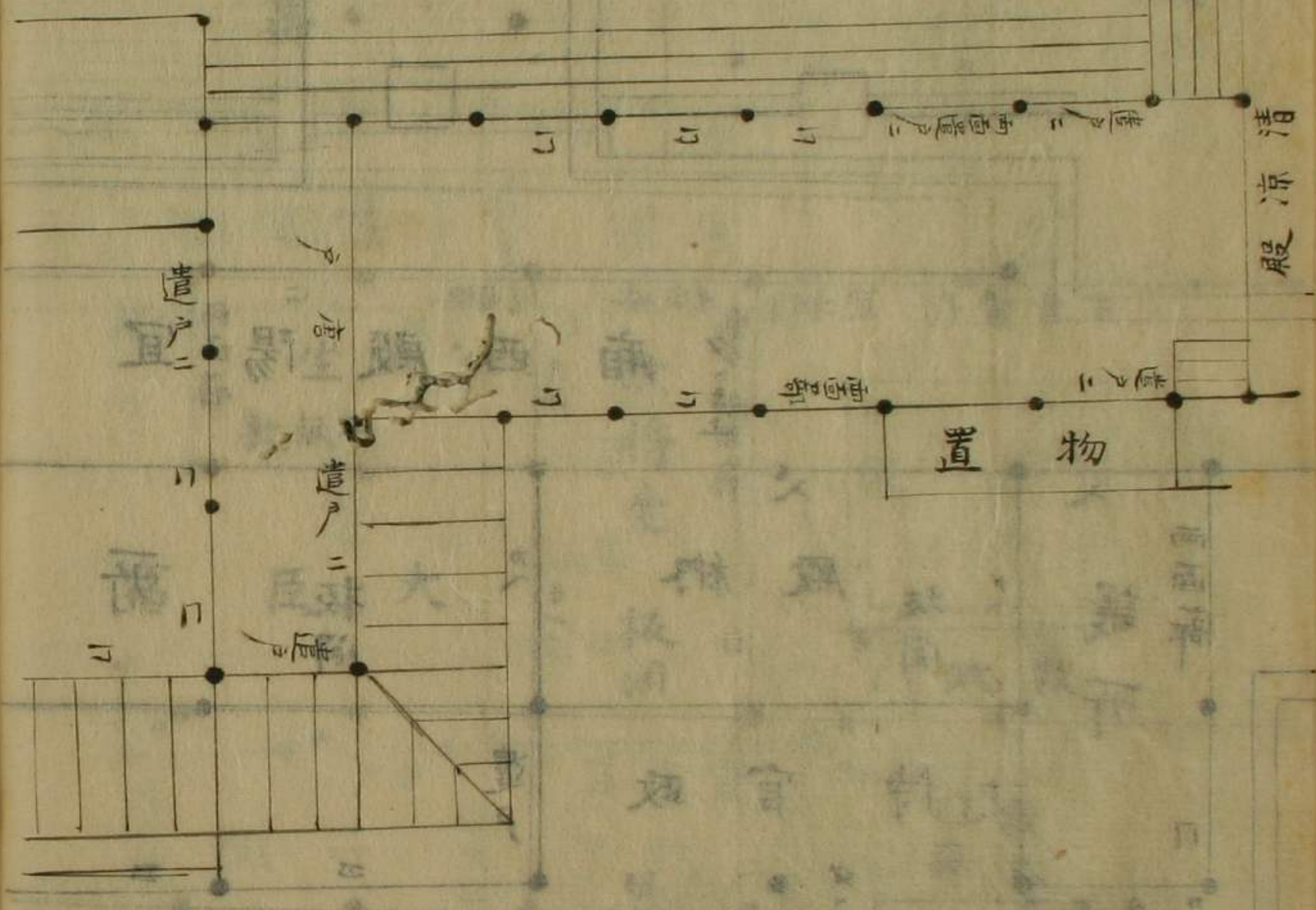
新嘉坡

新嘉坡

新嘉坡

新嘉坡

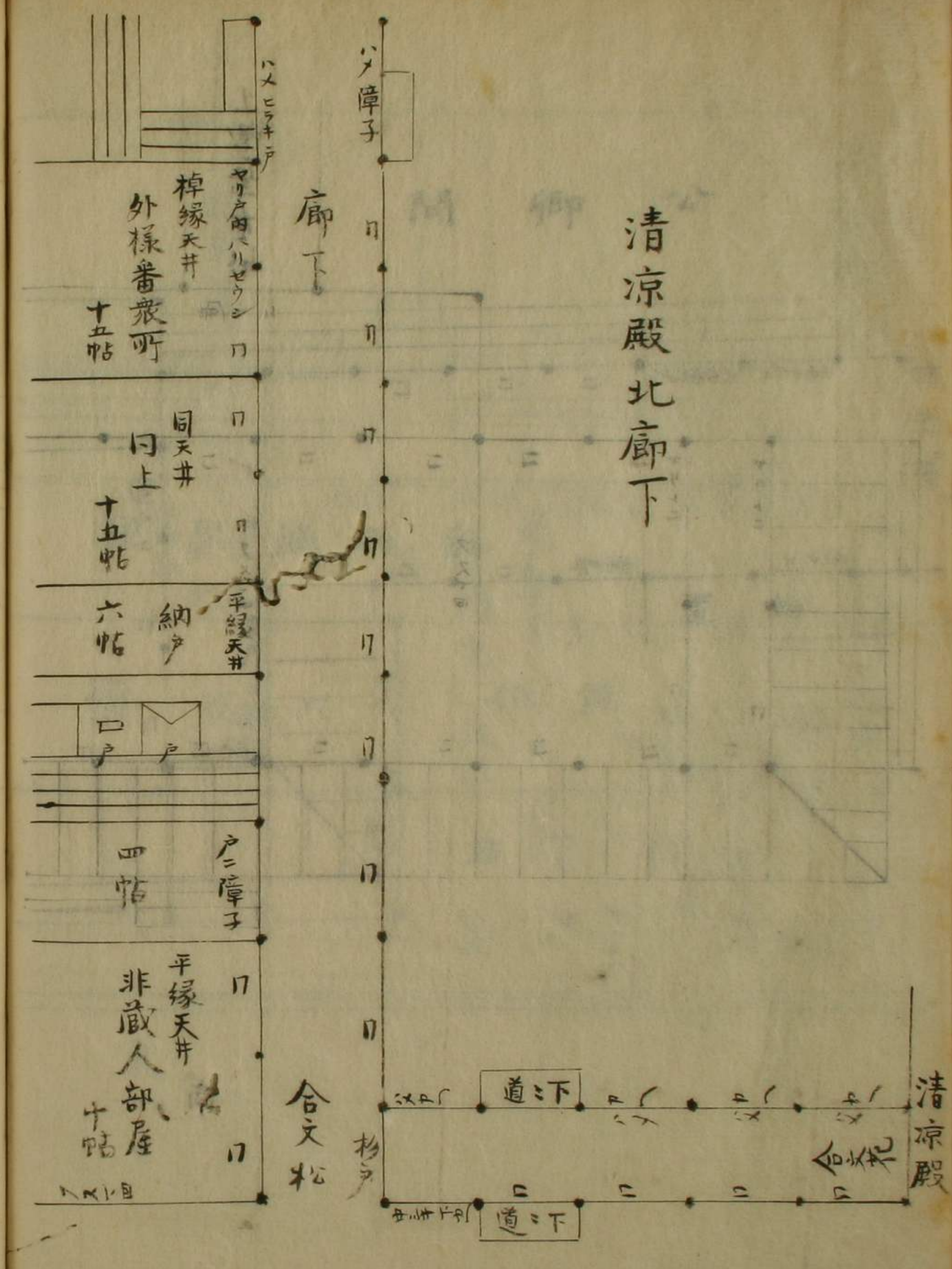
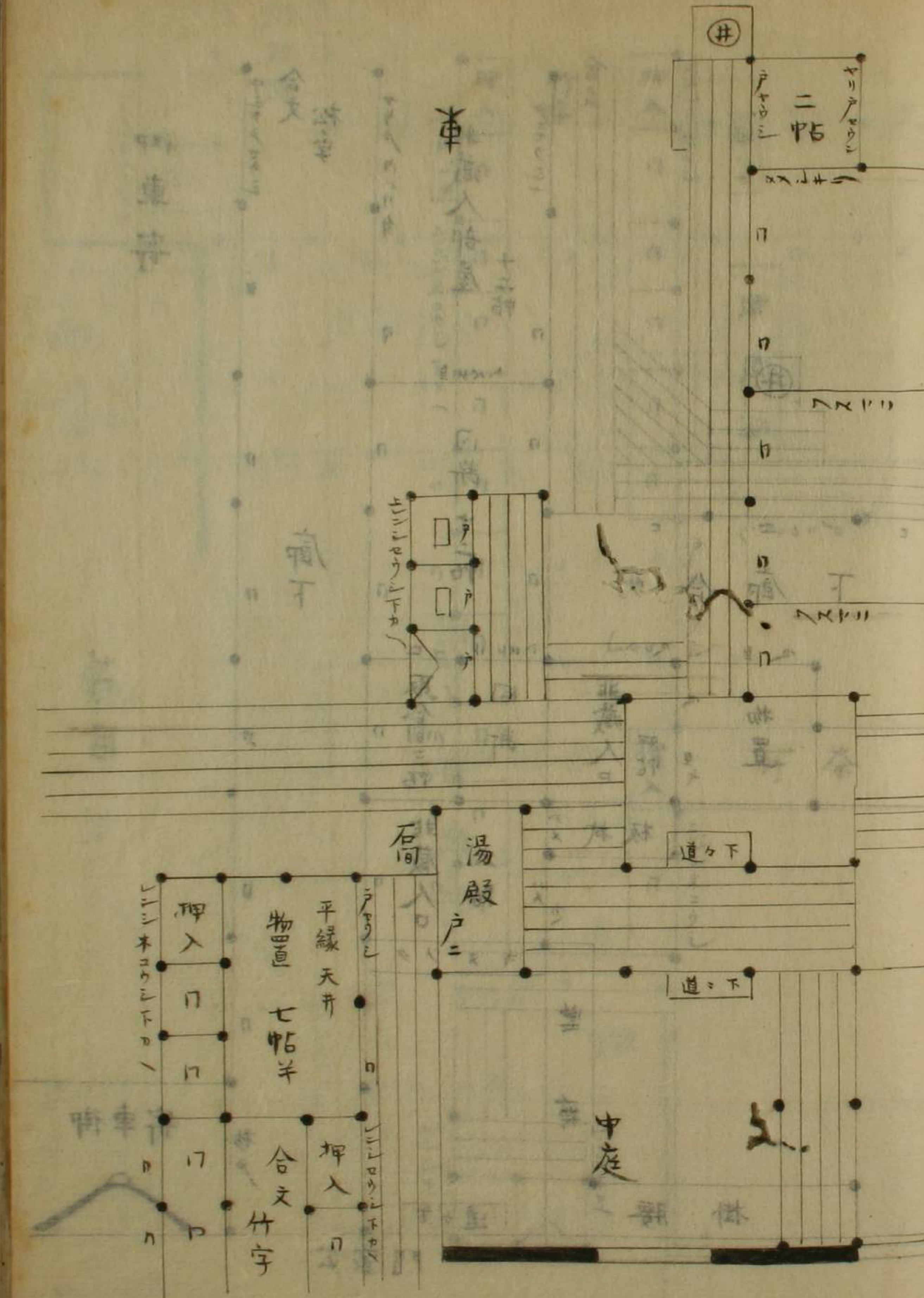
公卿問

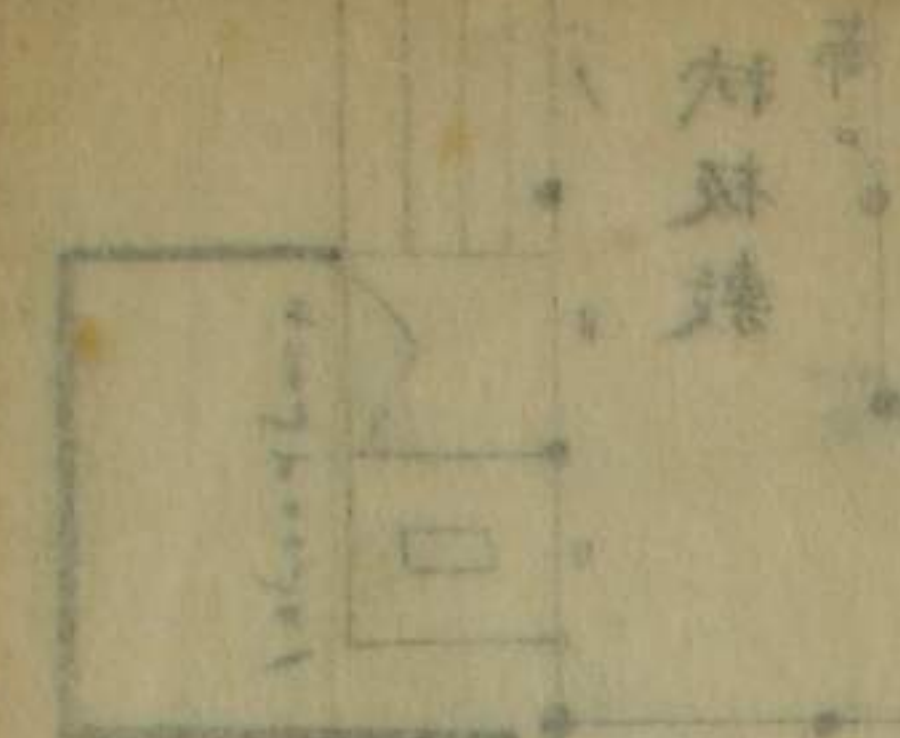


清涼殿

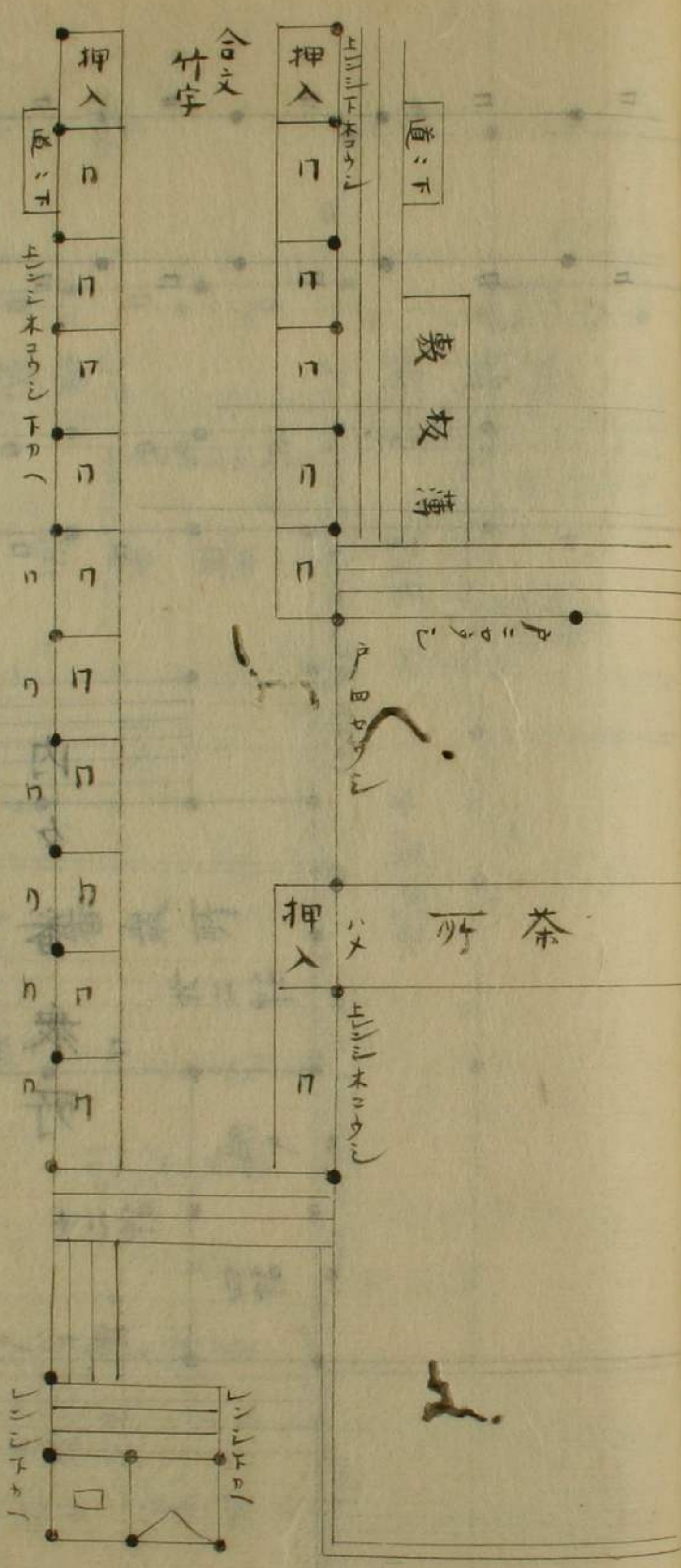
物置

東

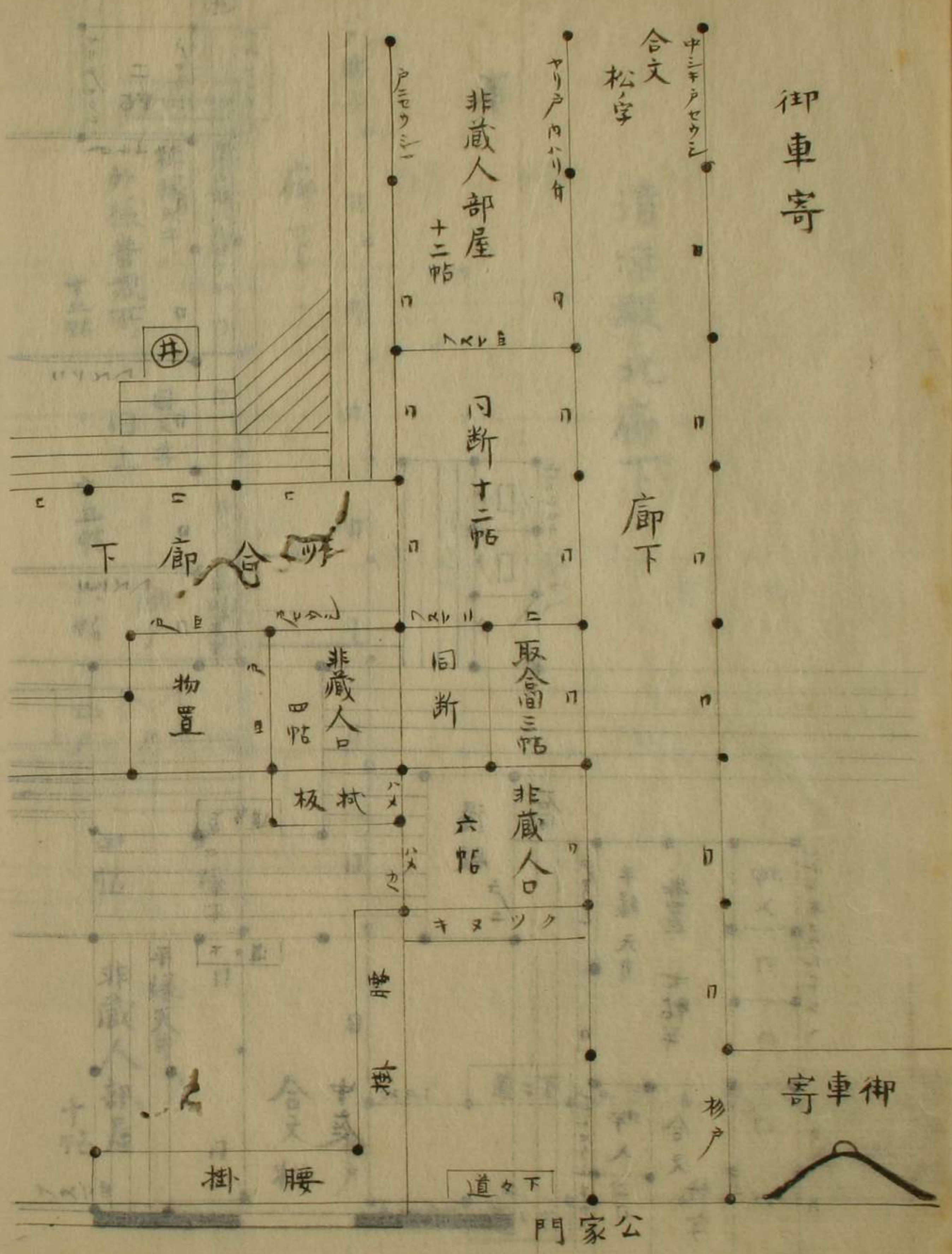




御車寄



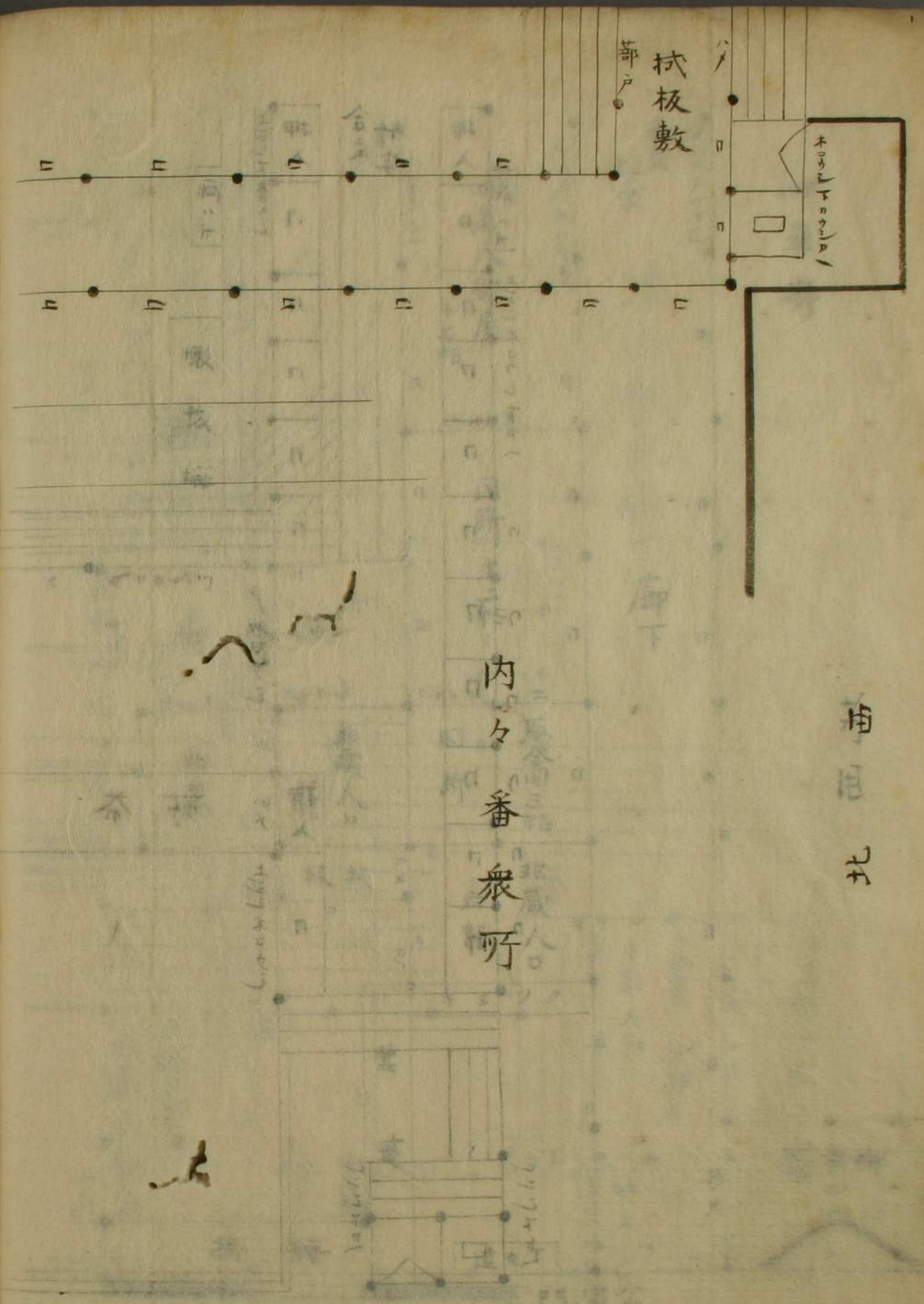
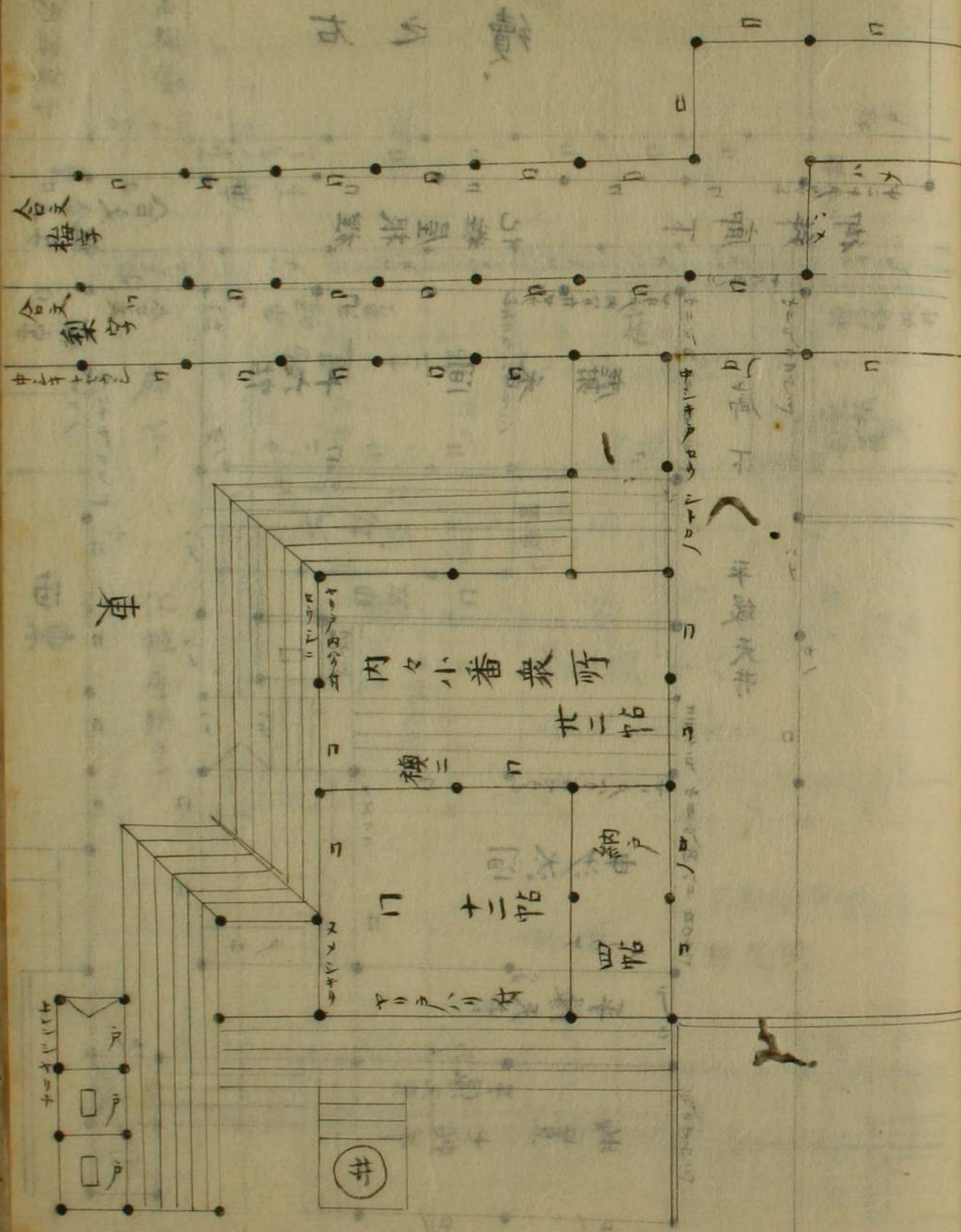
北西

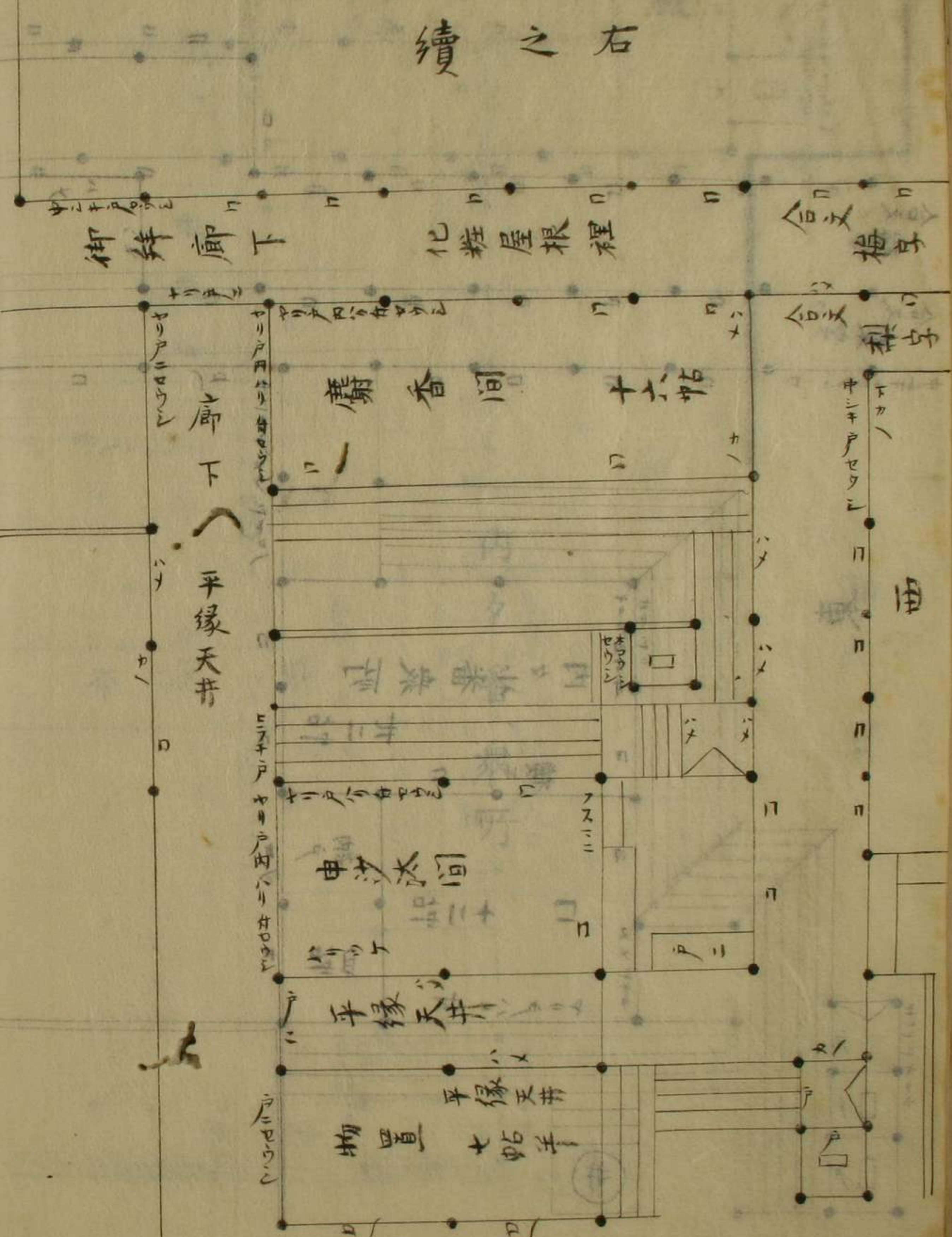
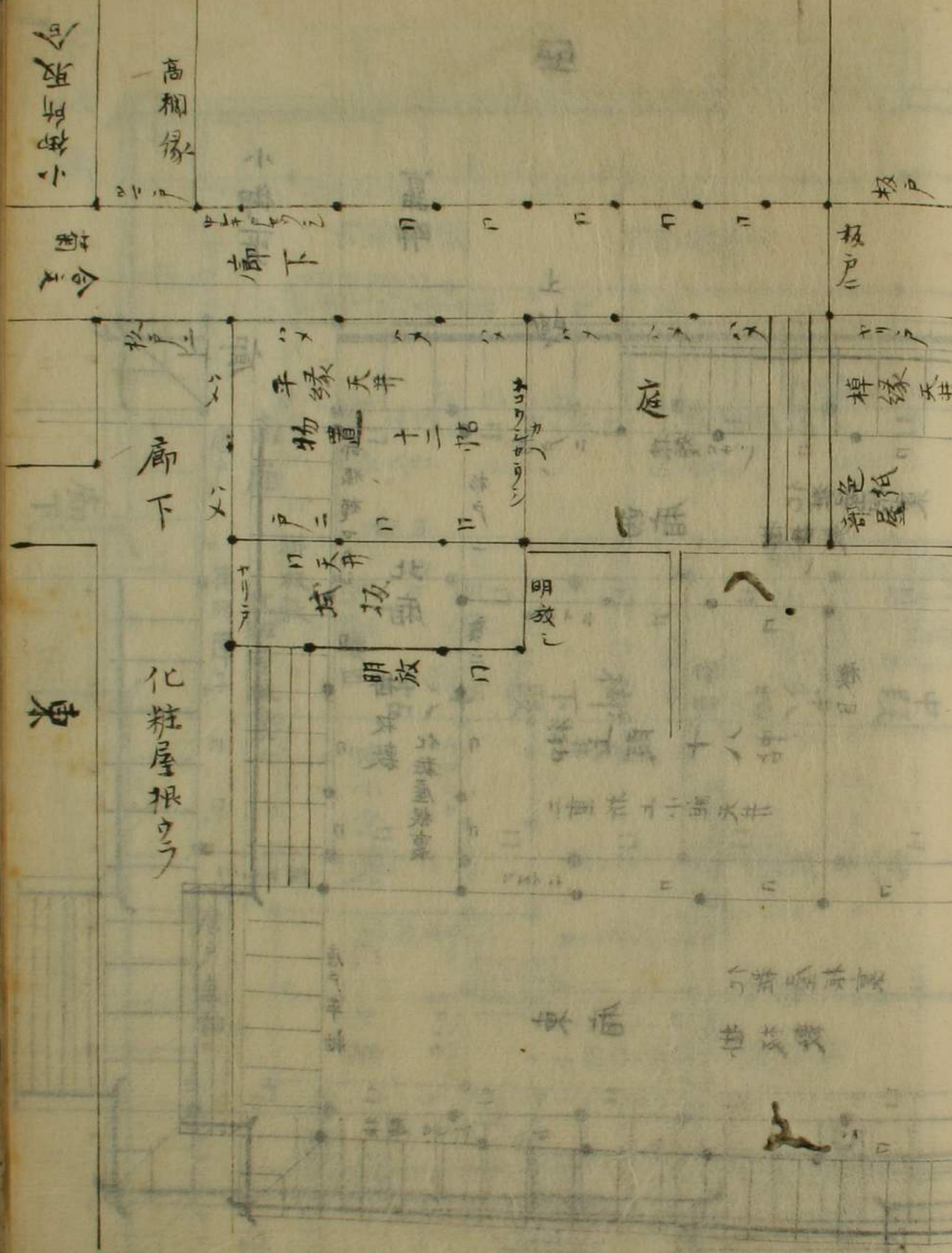


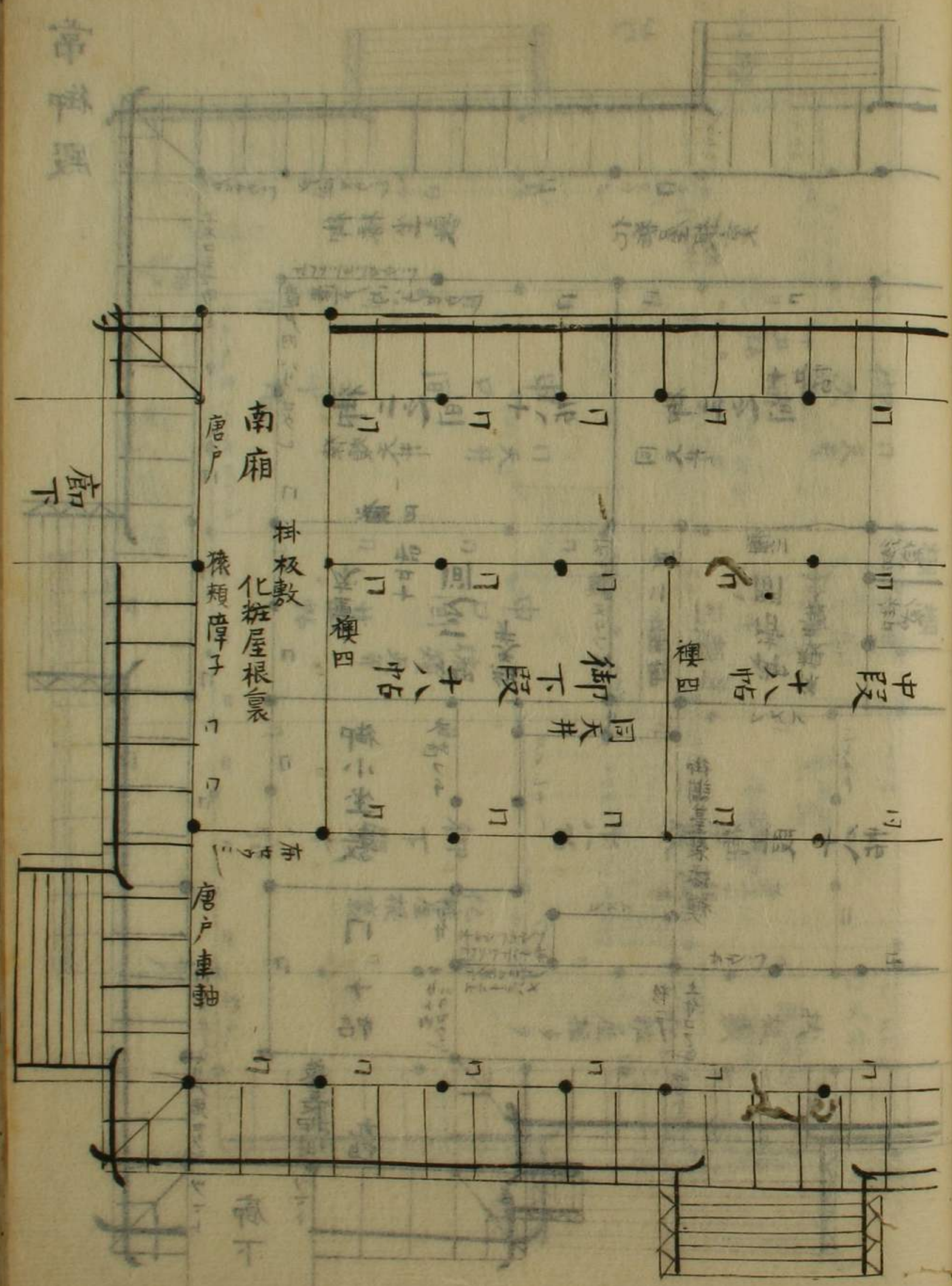
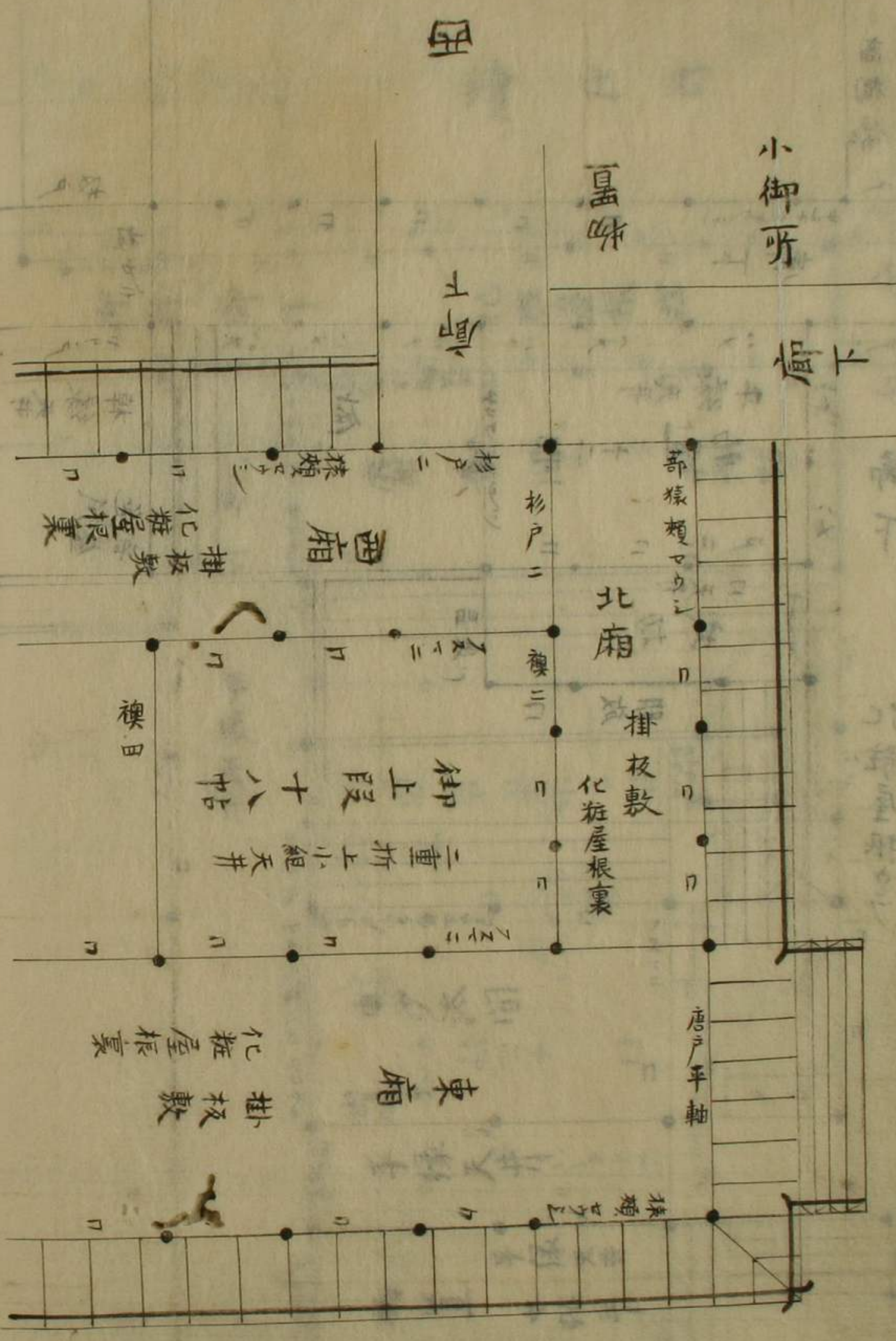
御車寄

御車寄

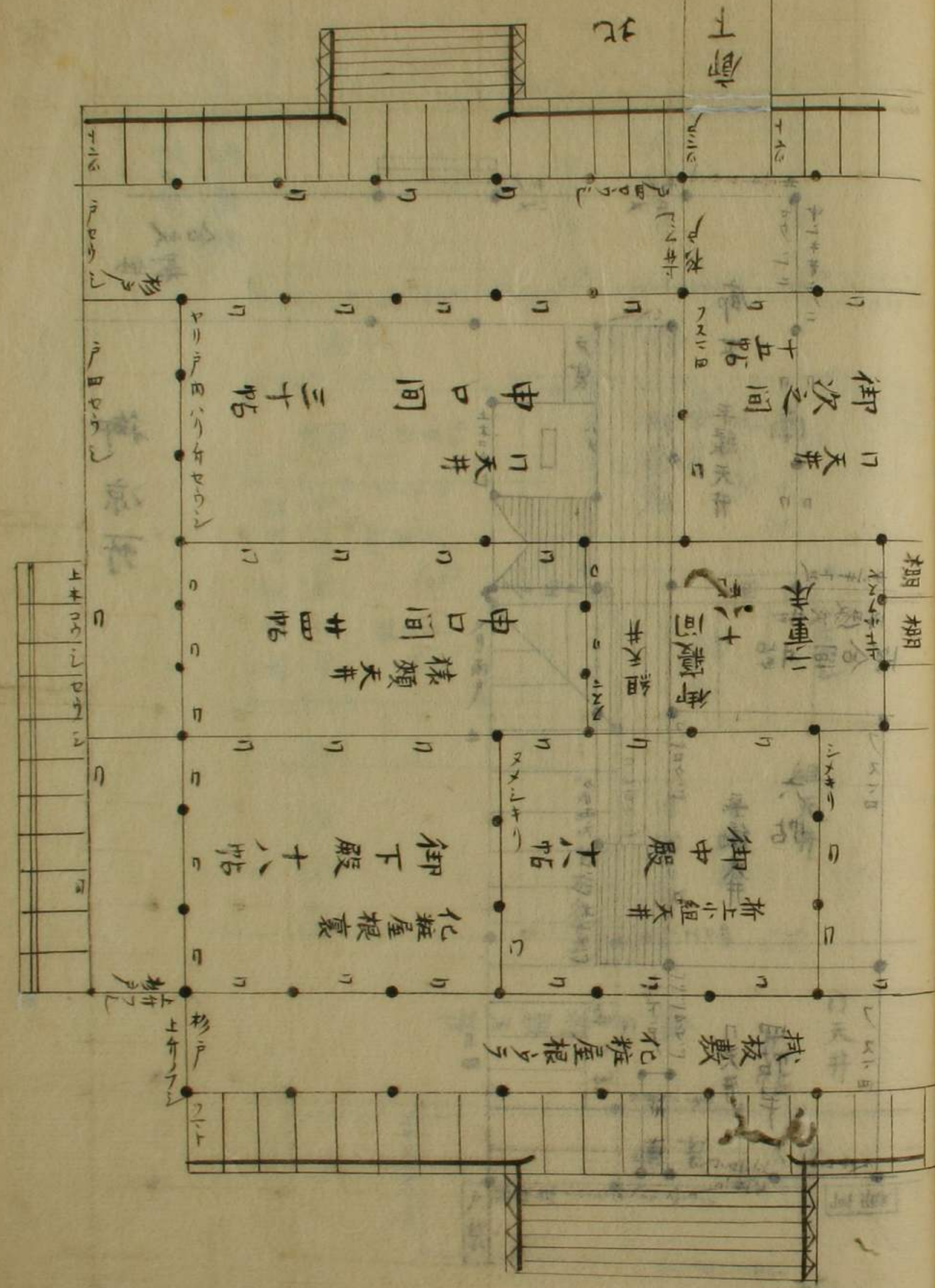
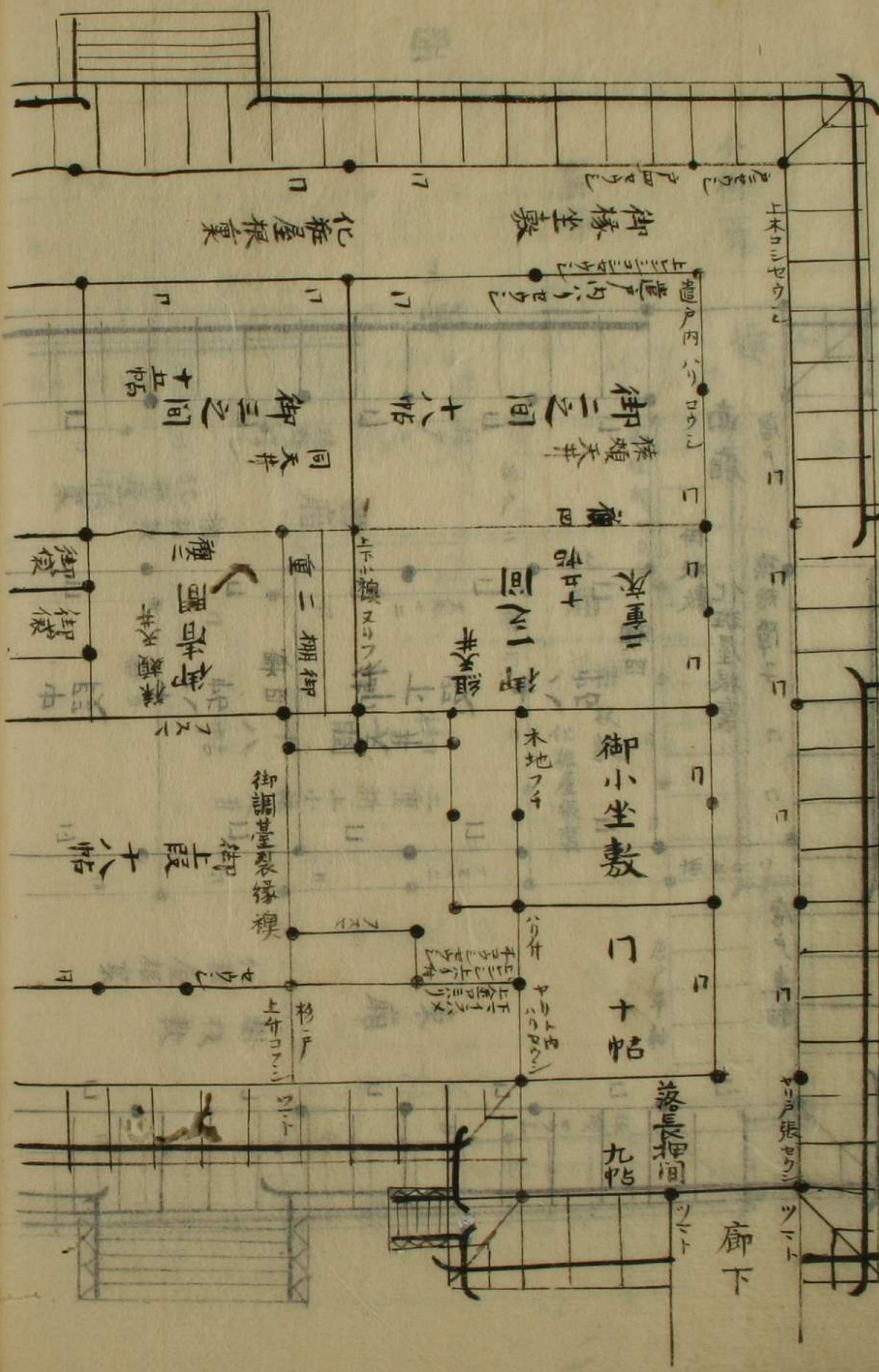
門家公



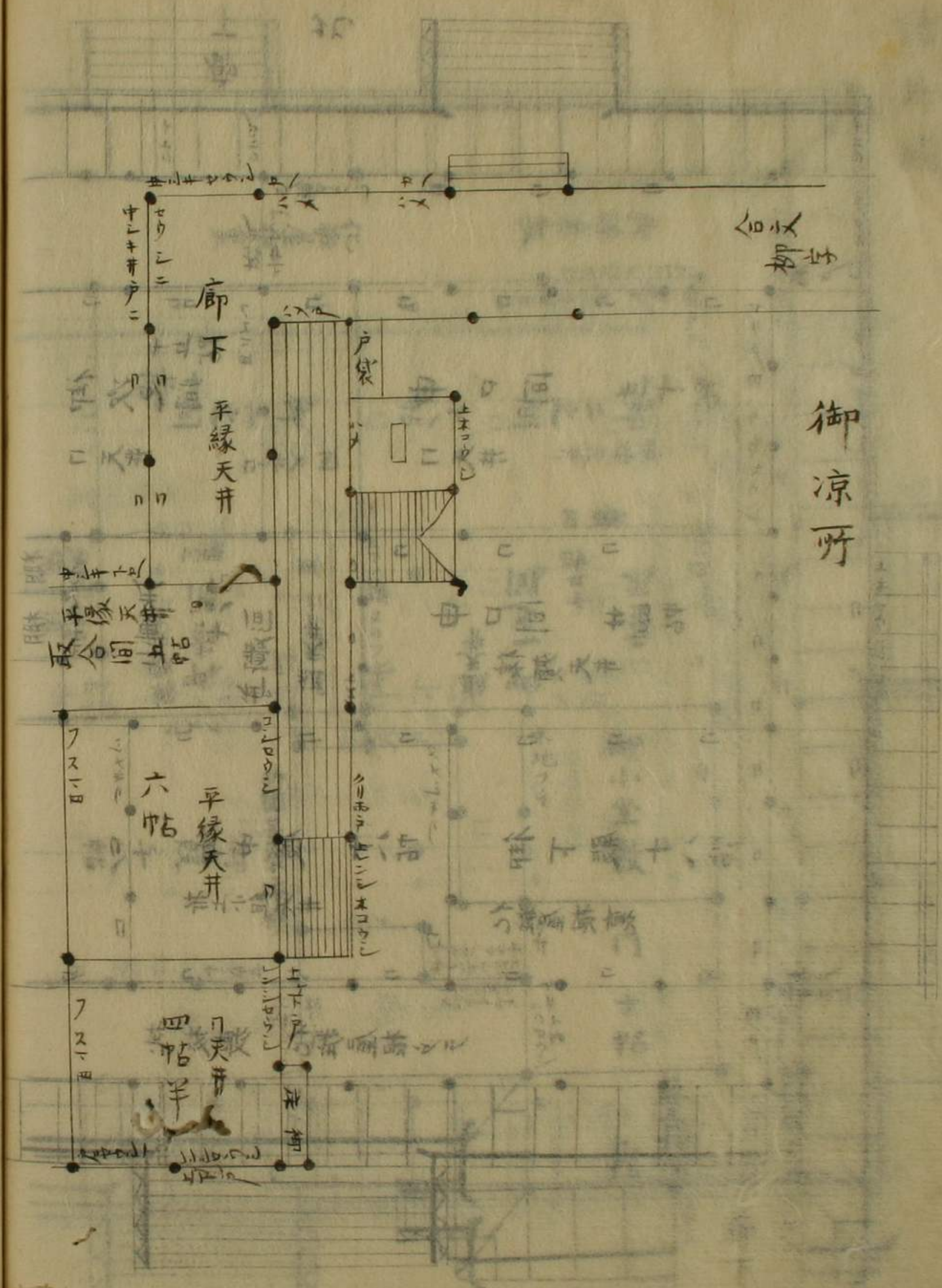
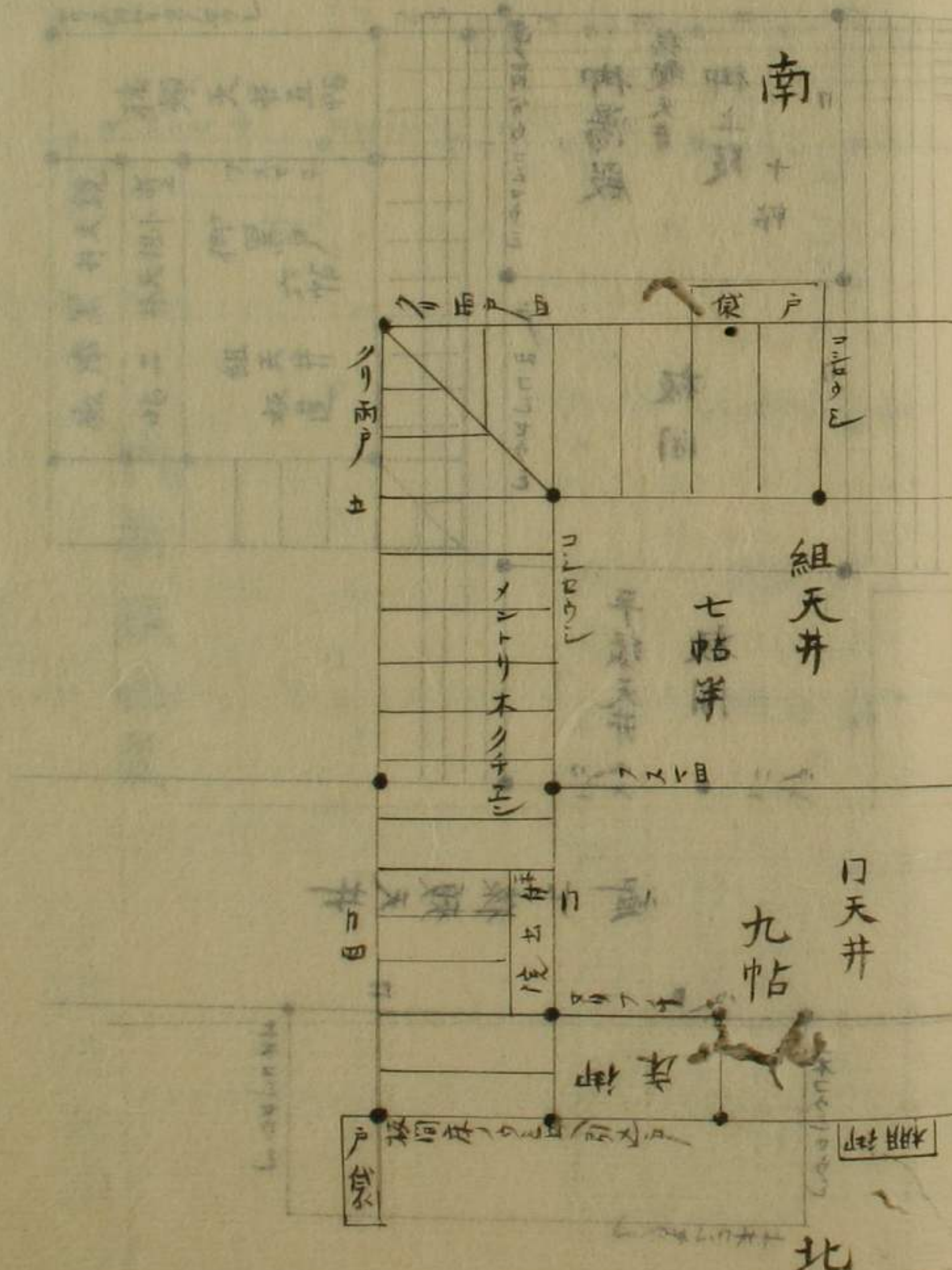




常御殿

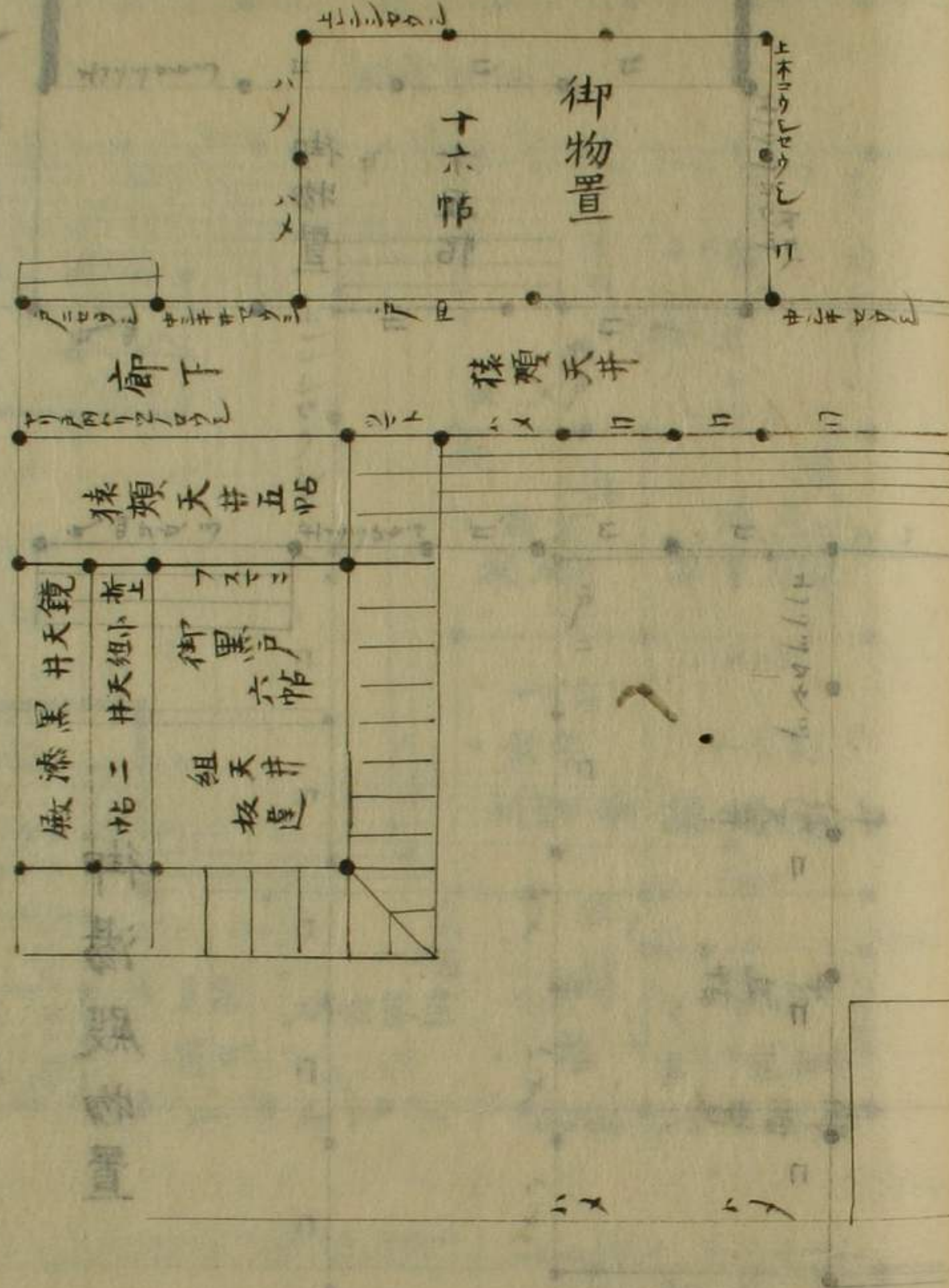


御涼所  
御涼所

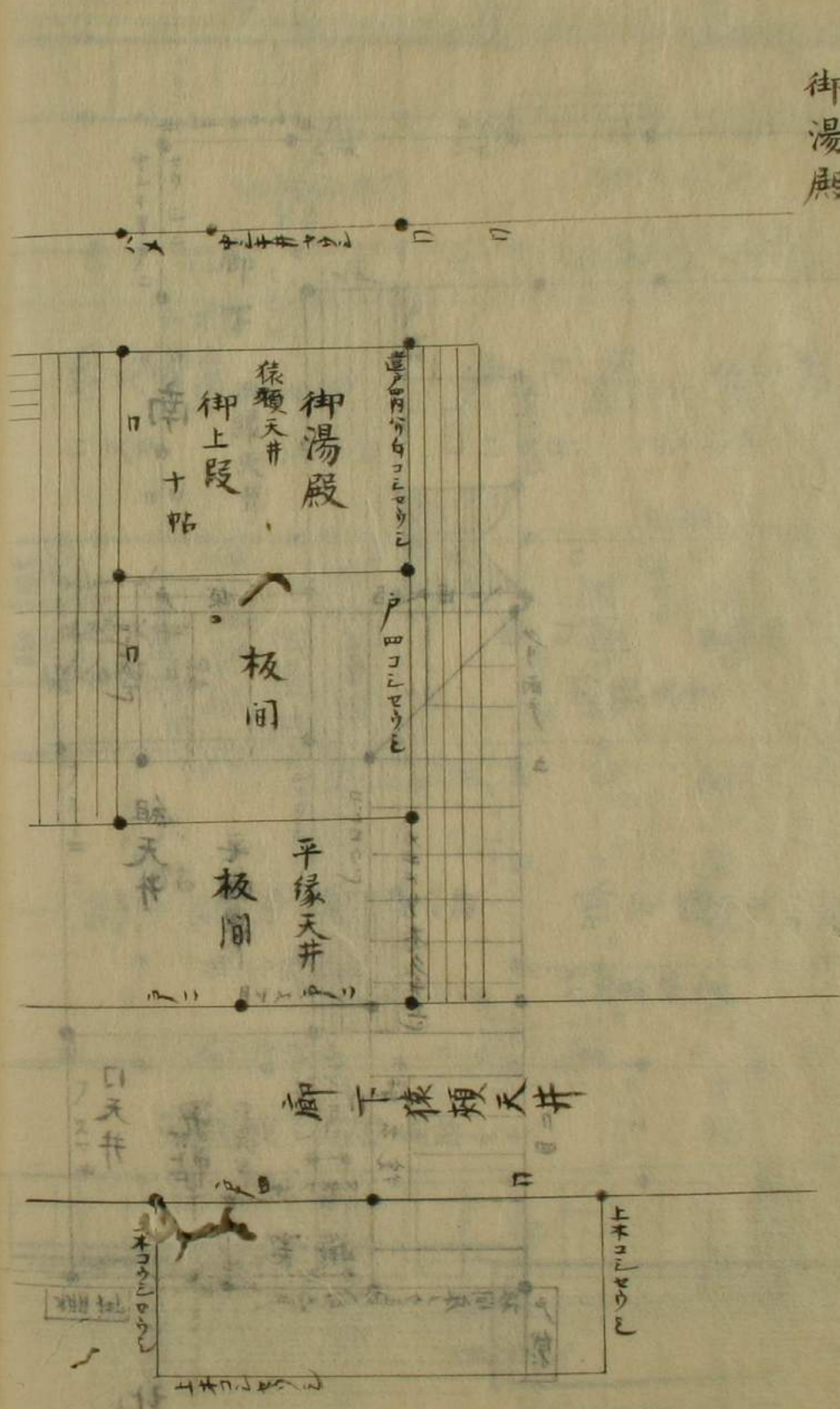


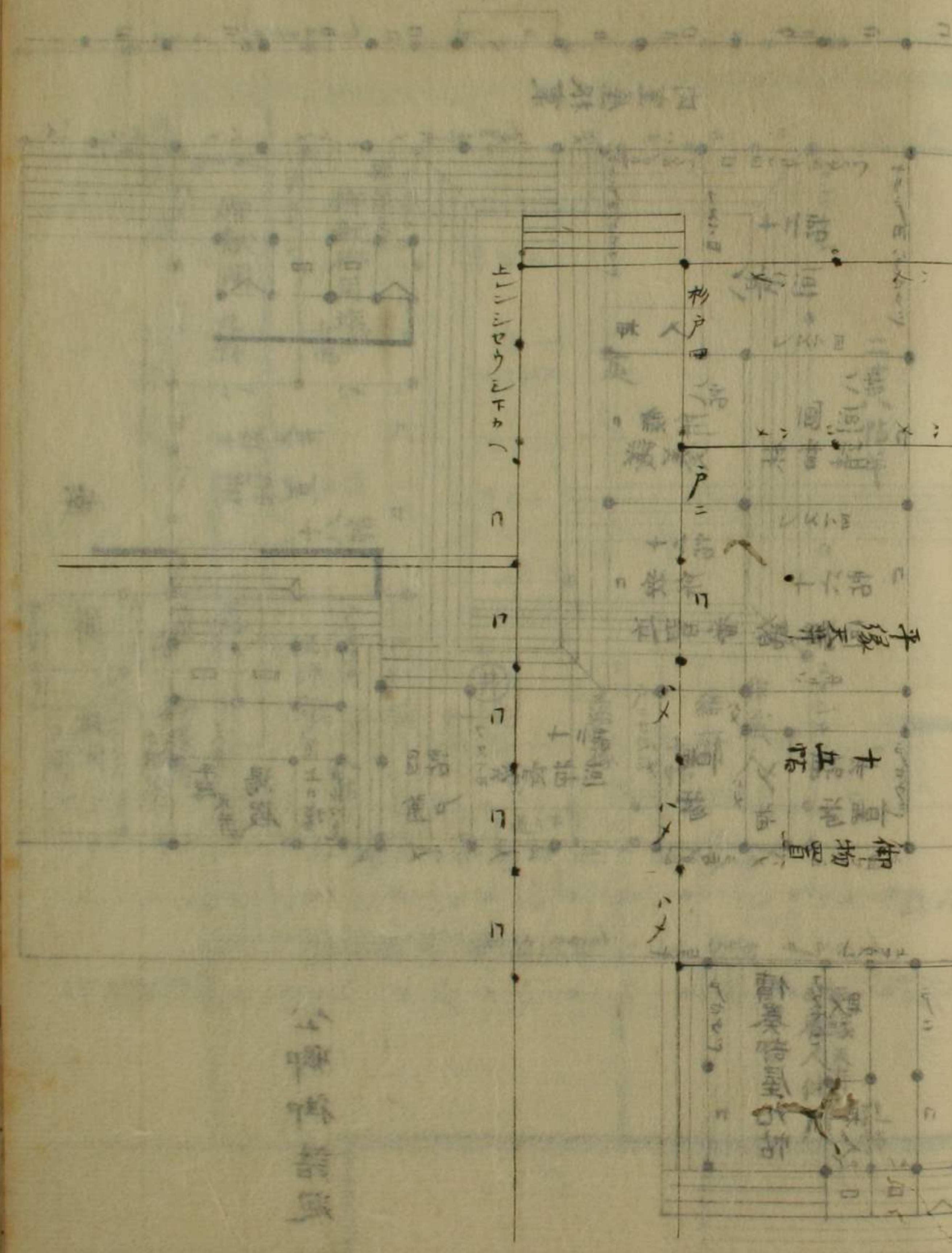


正徳殿

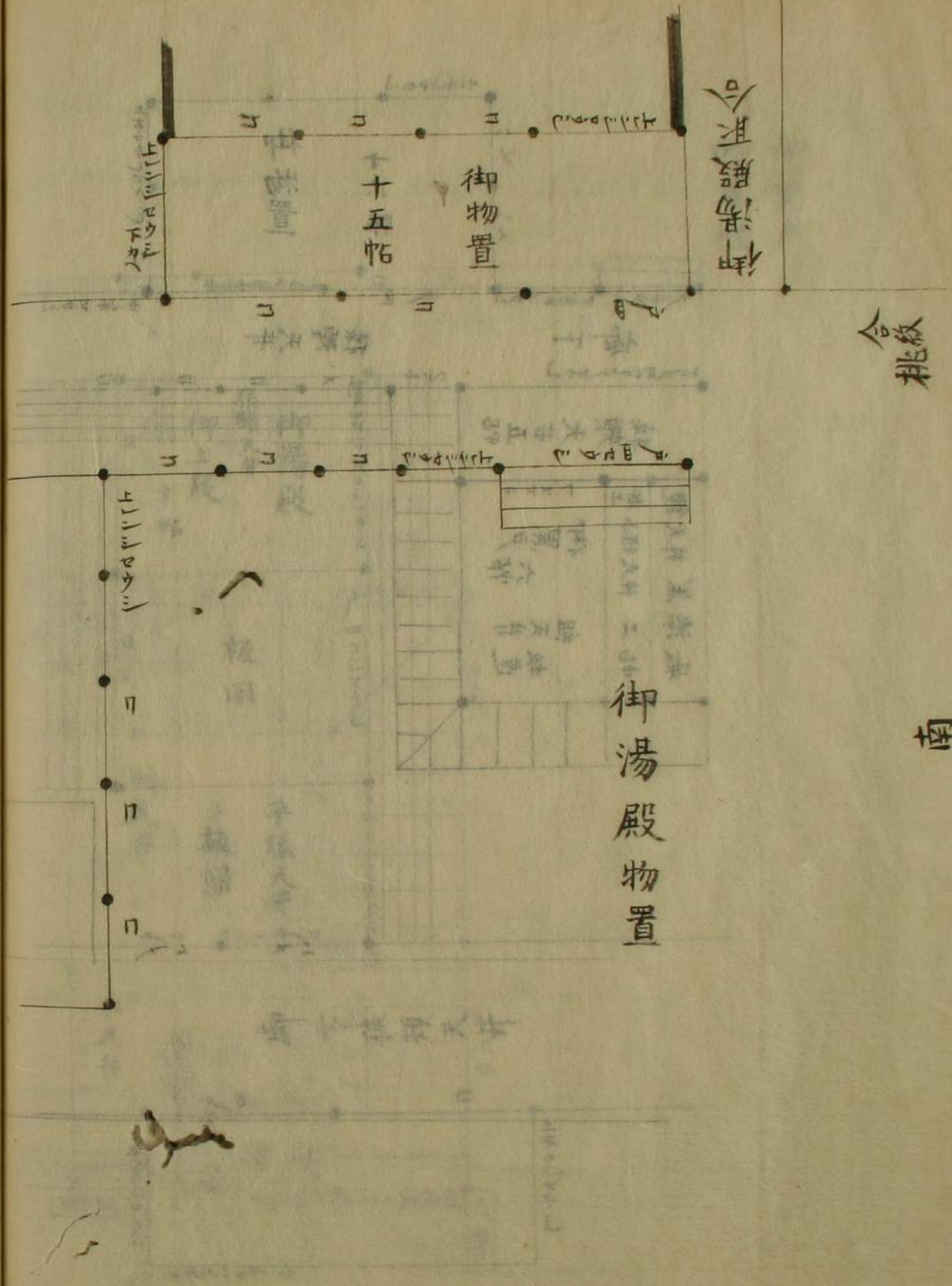


御黒戸  
御湯殿



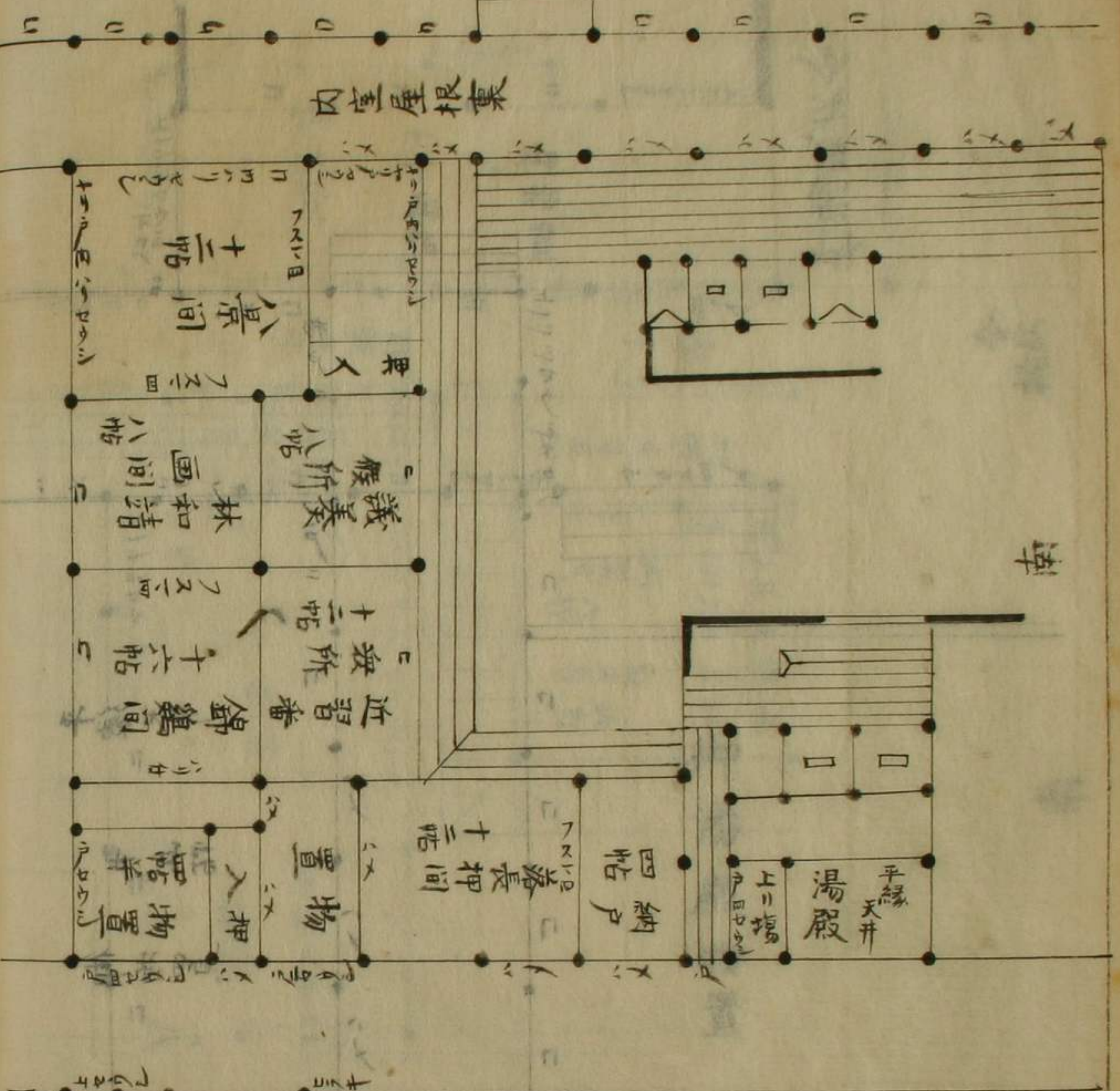
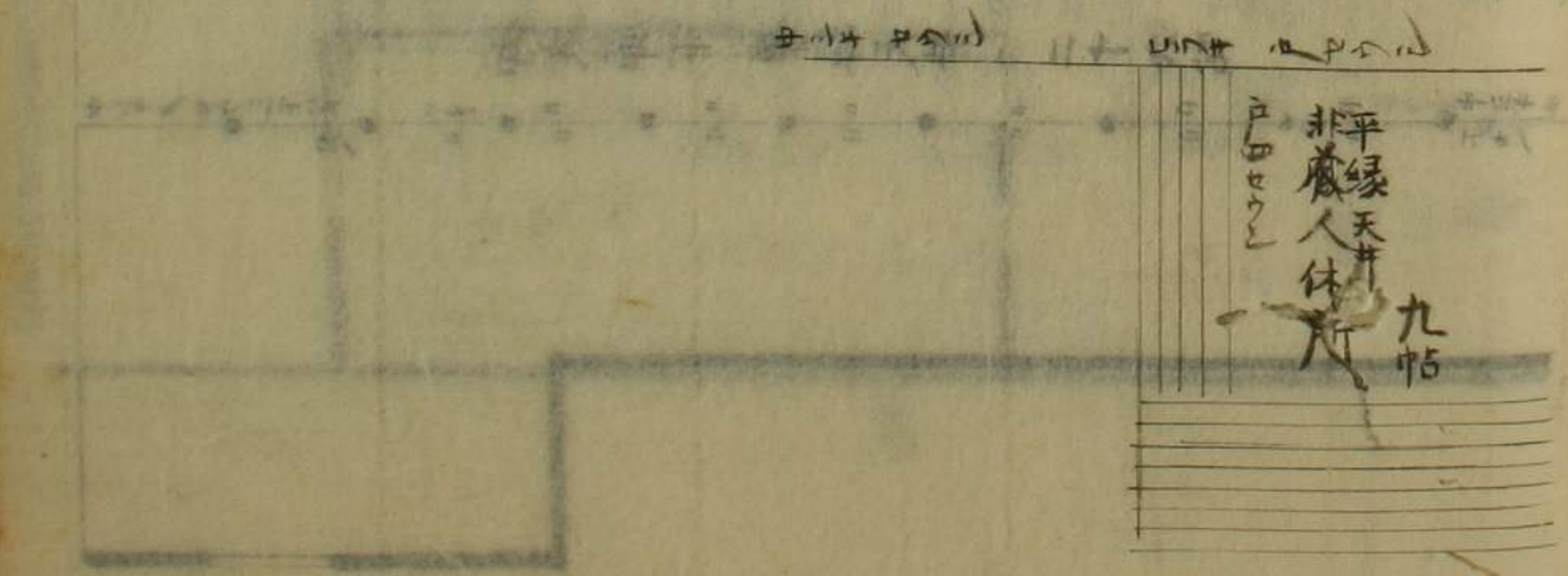
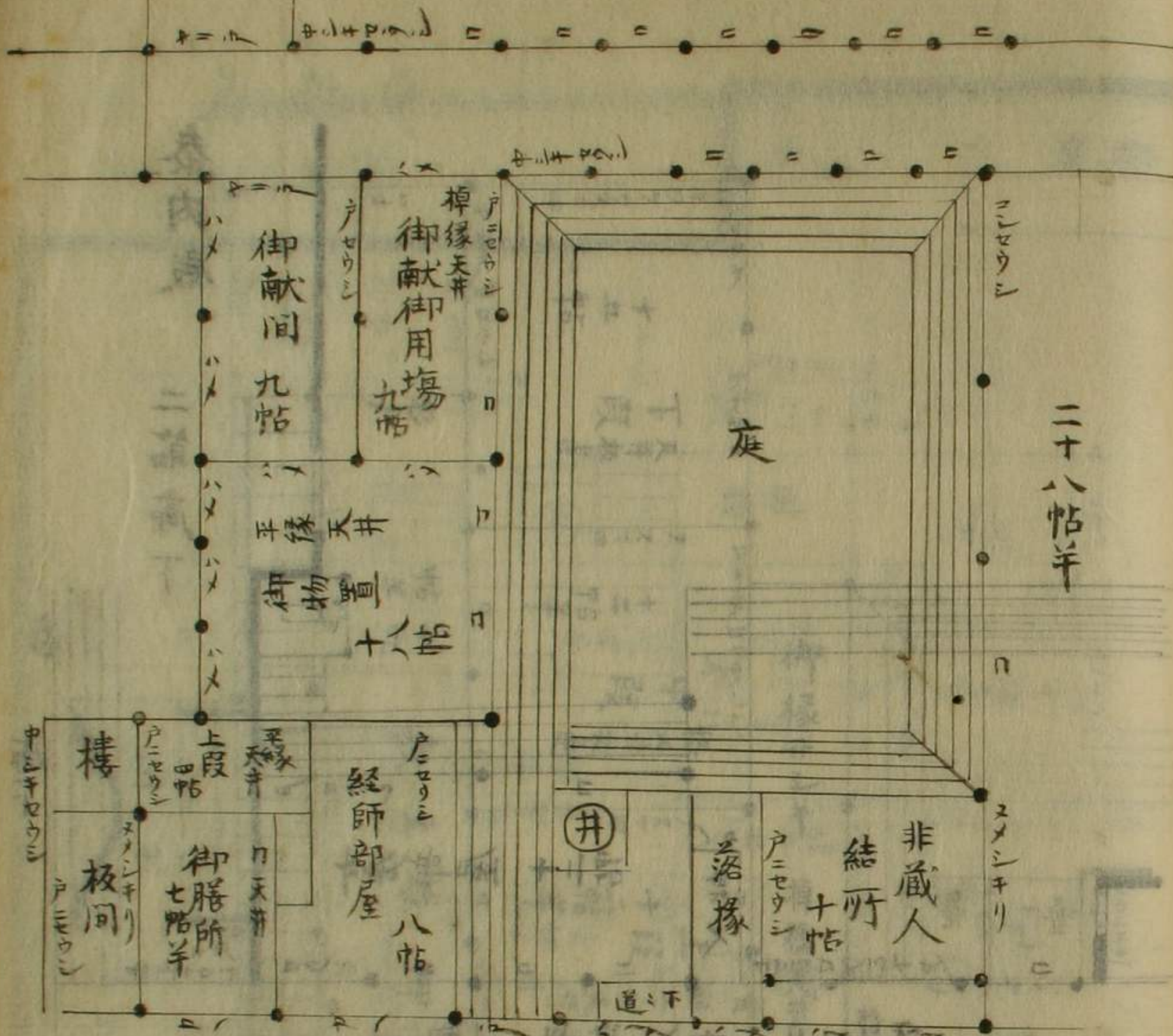


公卿御書



合桃紋

南

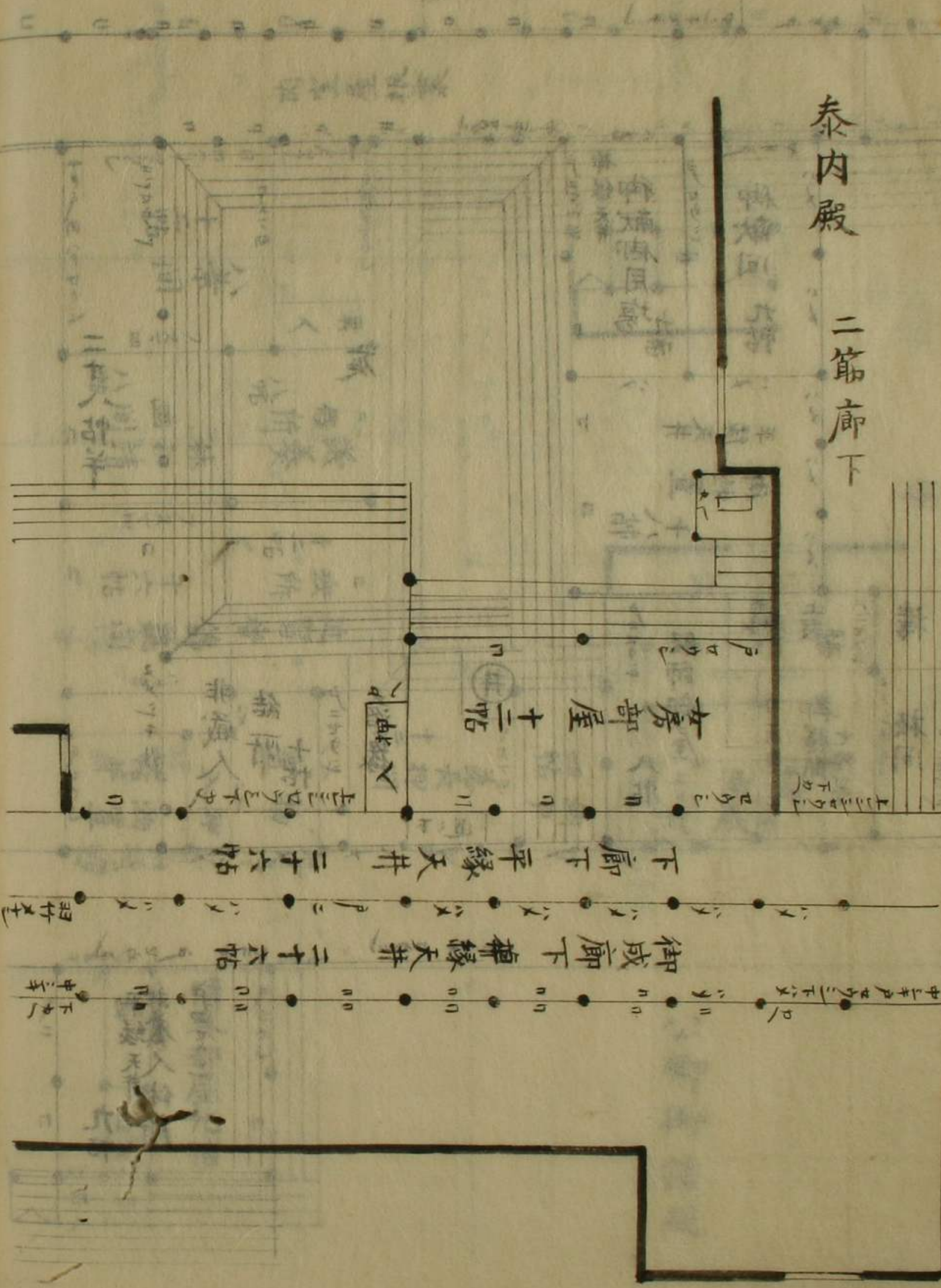


公卿御誥廻

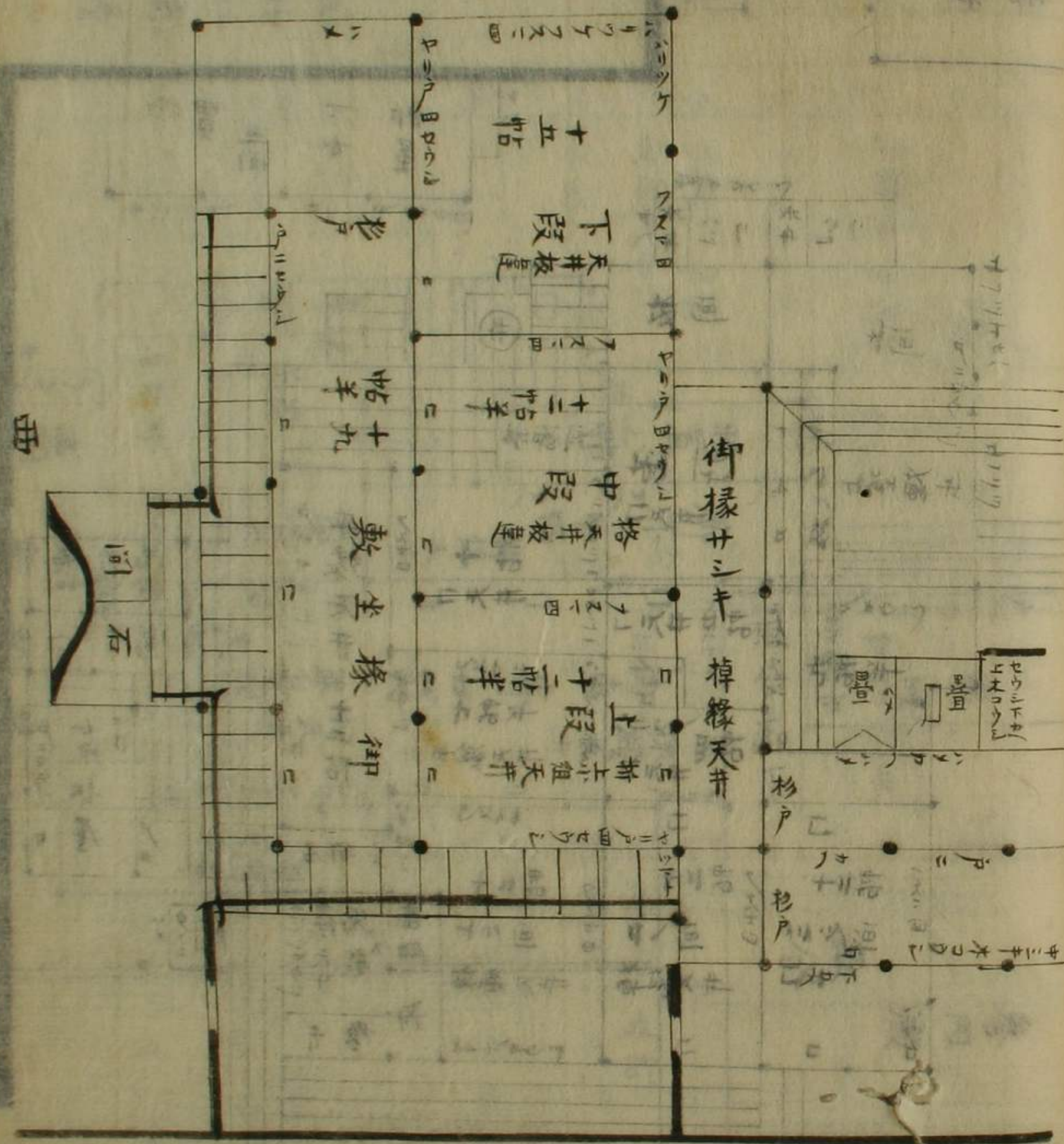
廊下

泰内殿

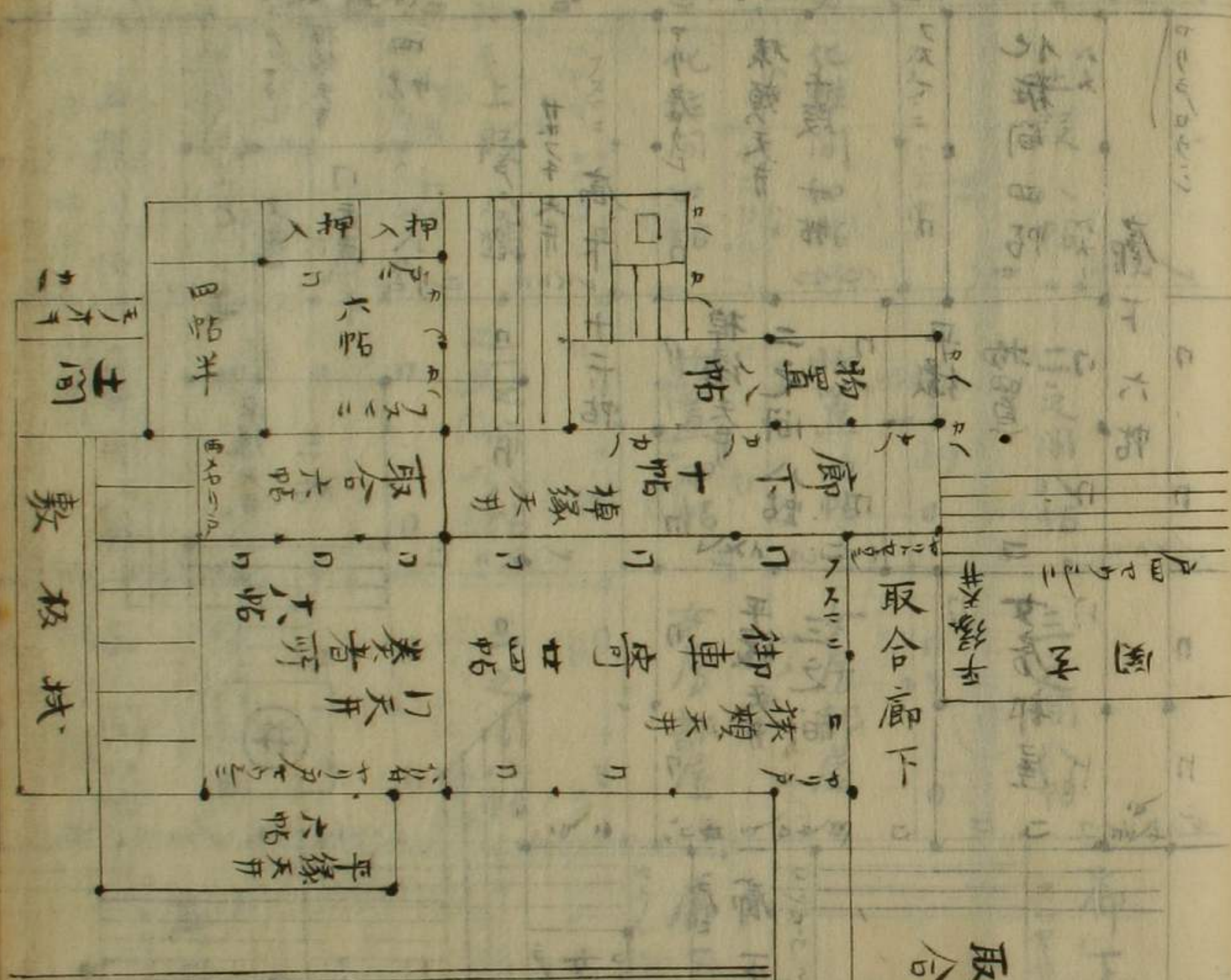
二筋廊下



西



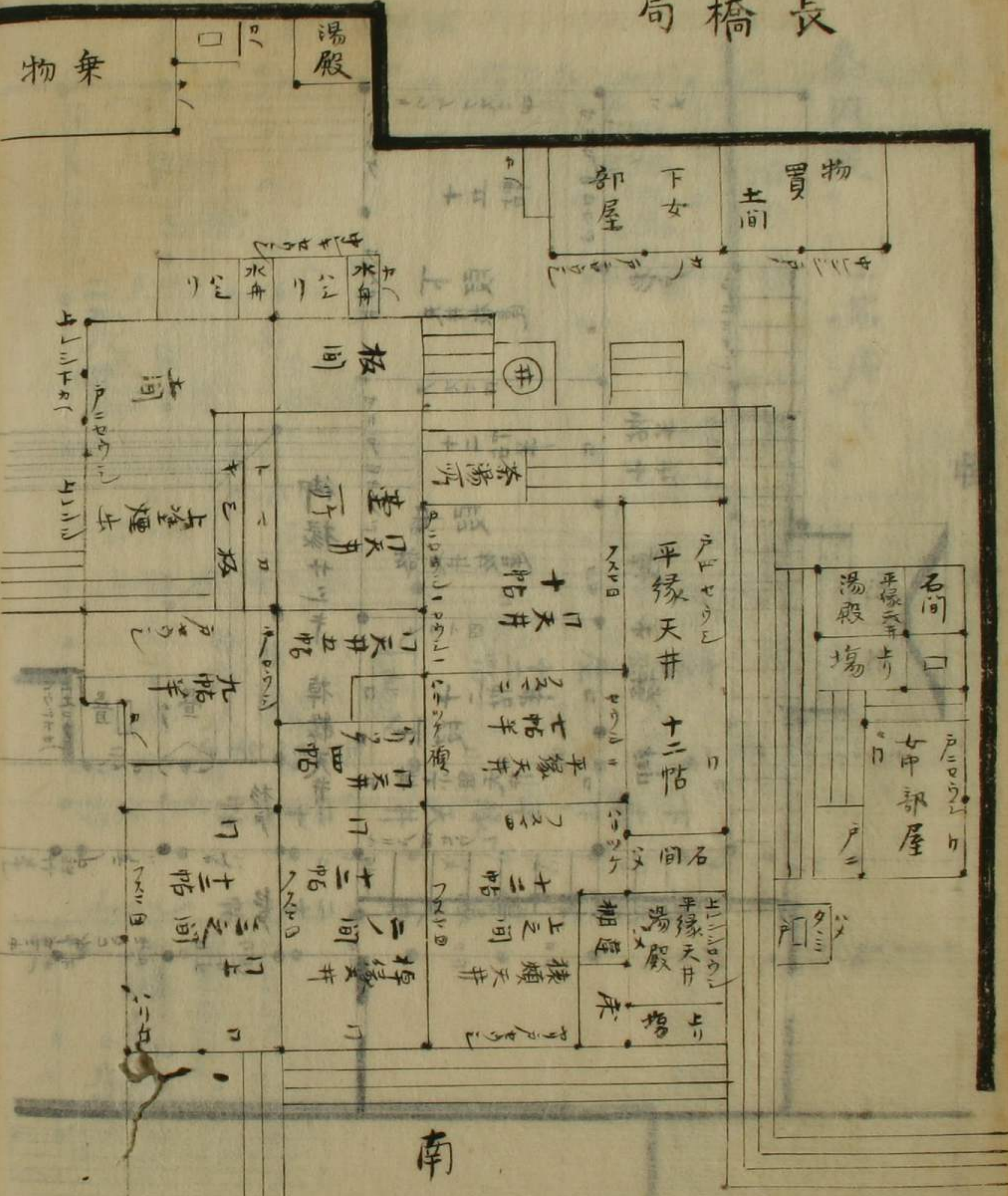
御物仕部屋  
取合



取合

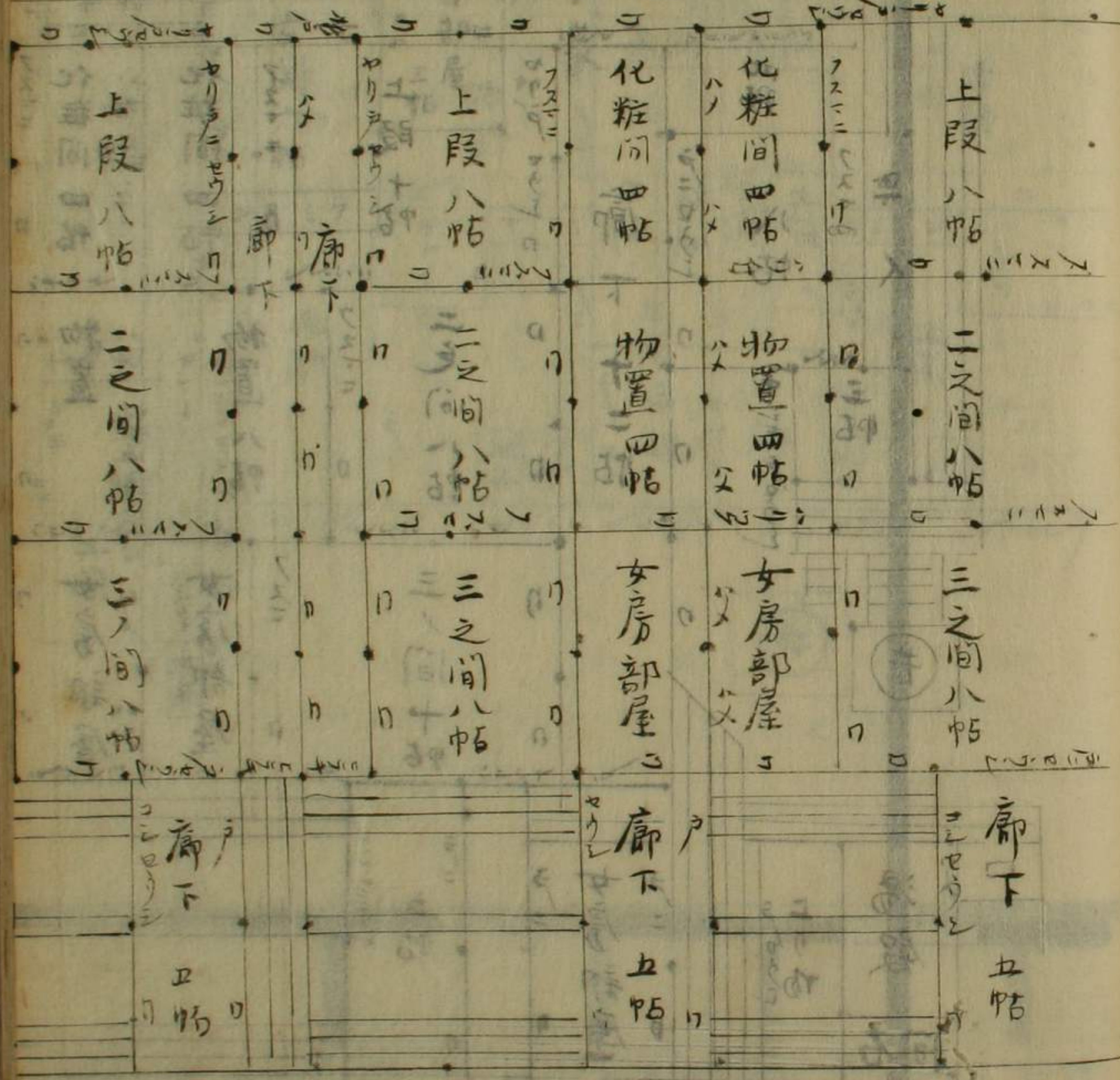
参内殿

# 長橋局



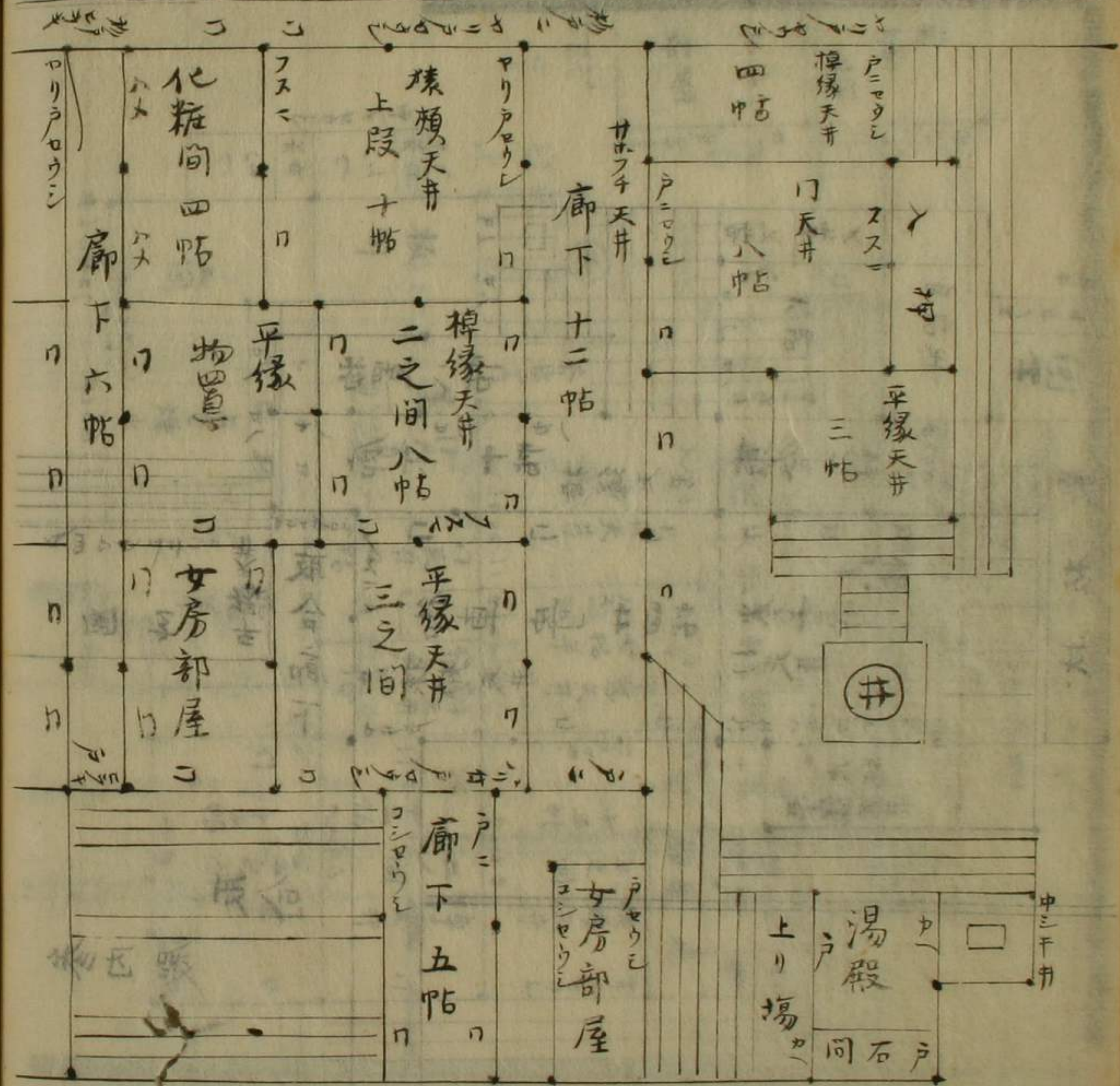
南

式三齋學

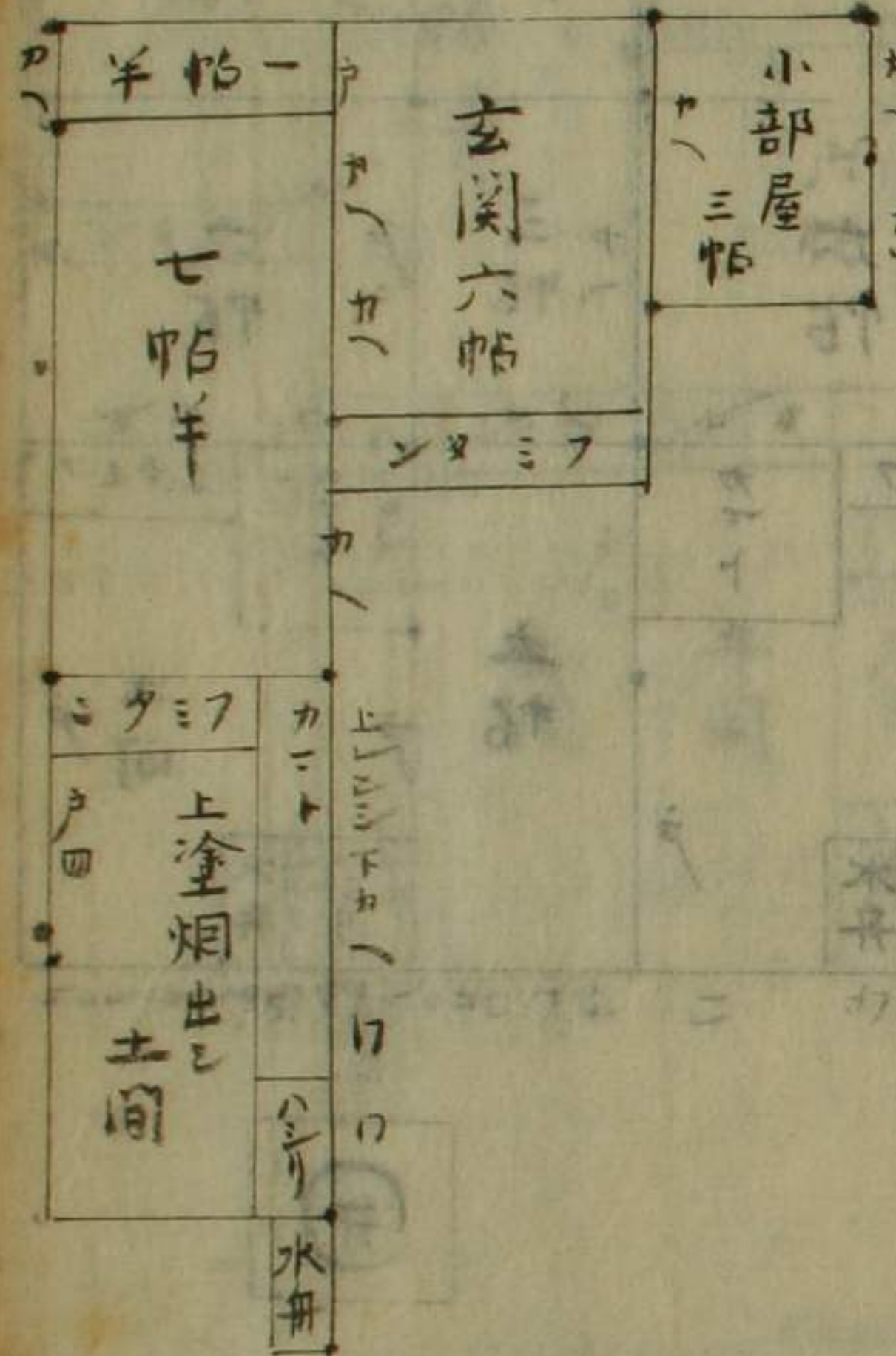


家上屋之對東

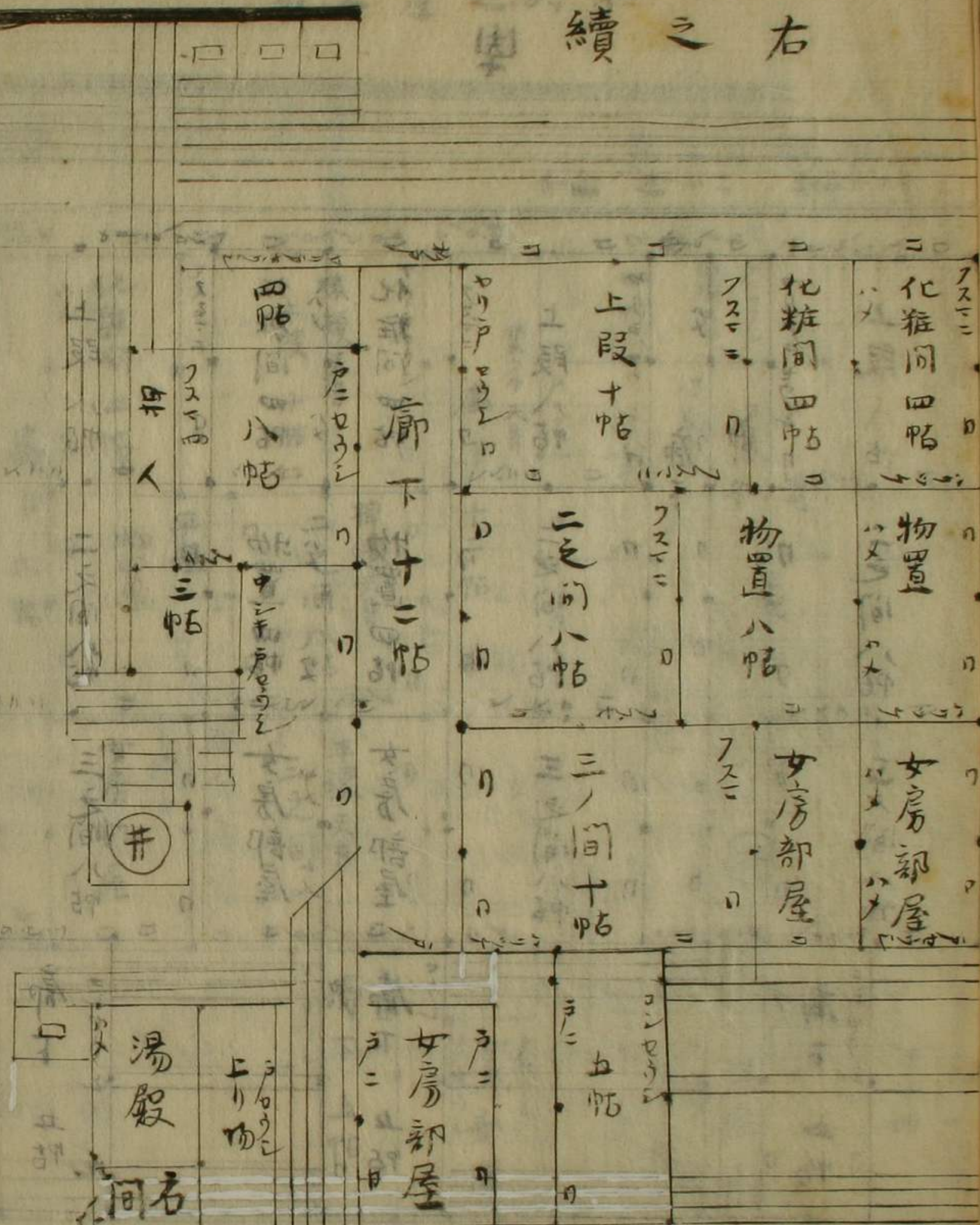
東之對上家



同町下家



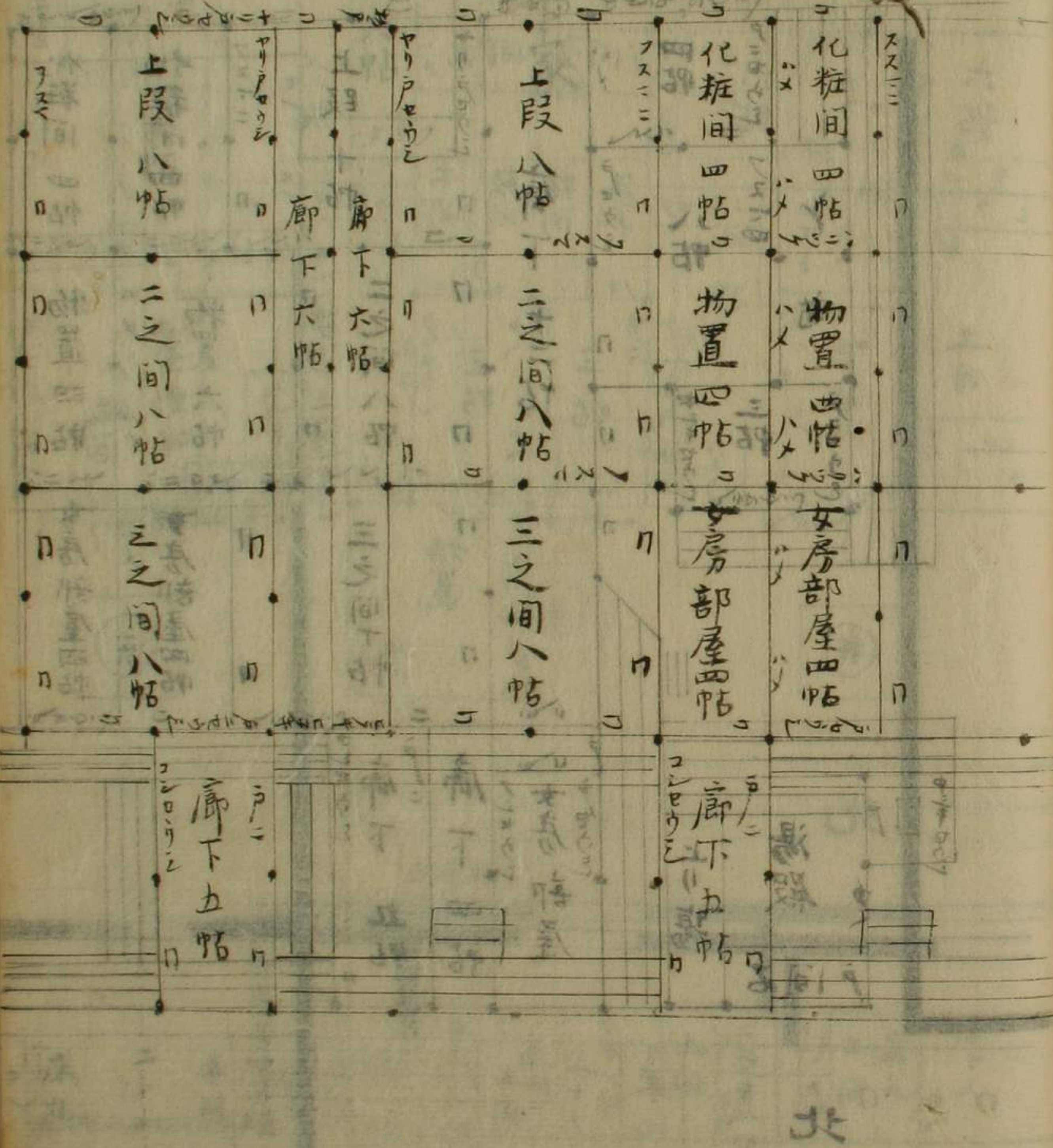
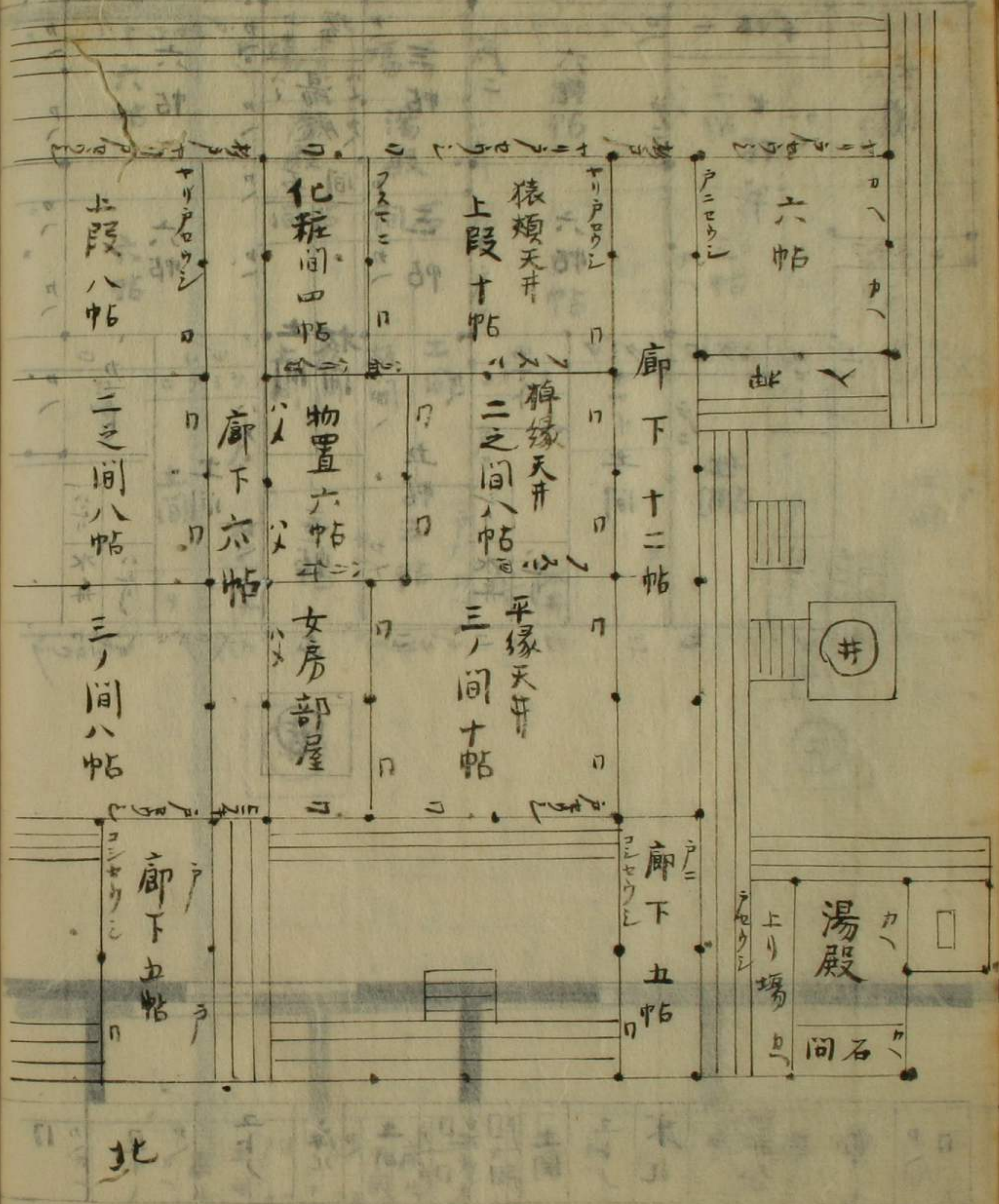
右之續



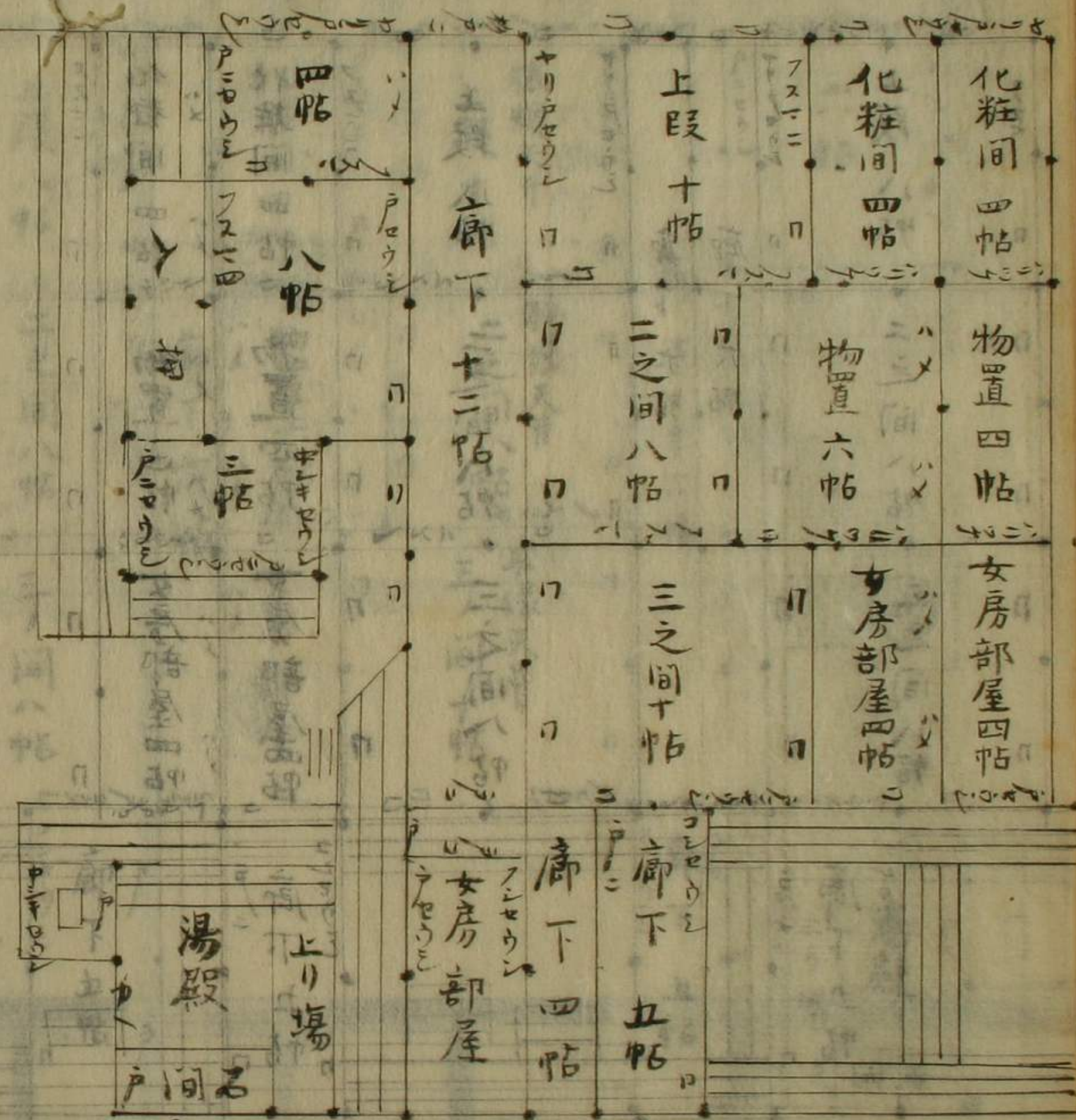
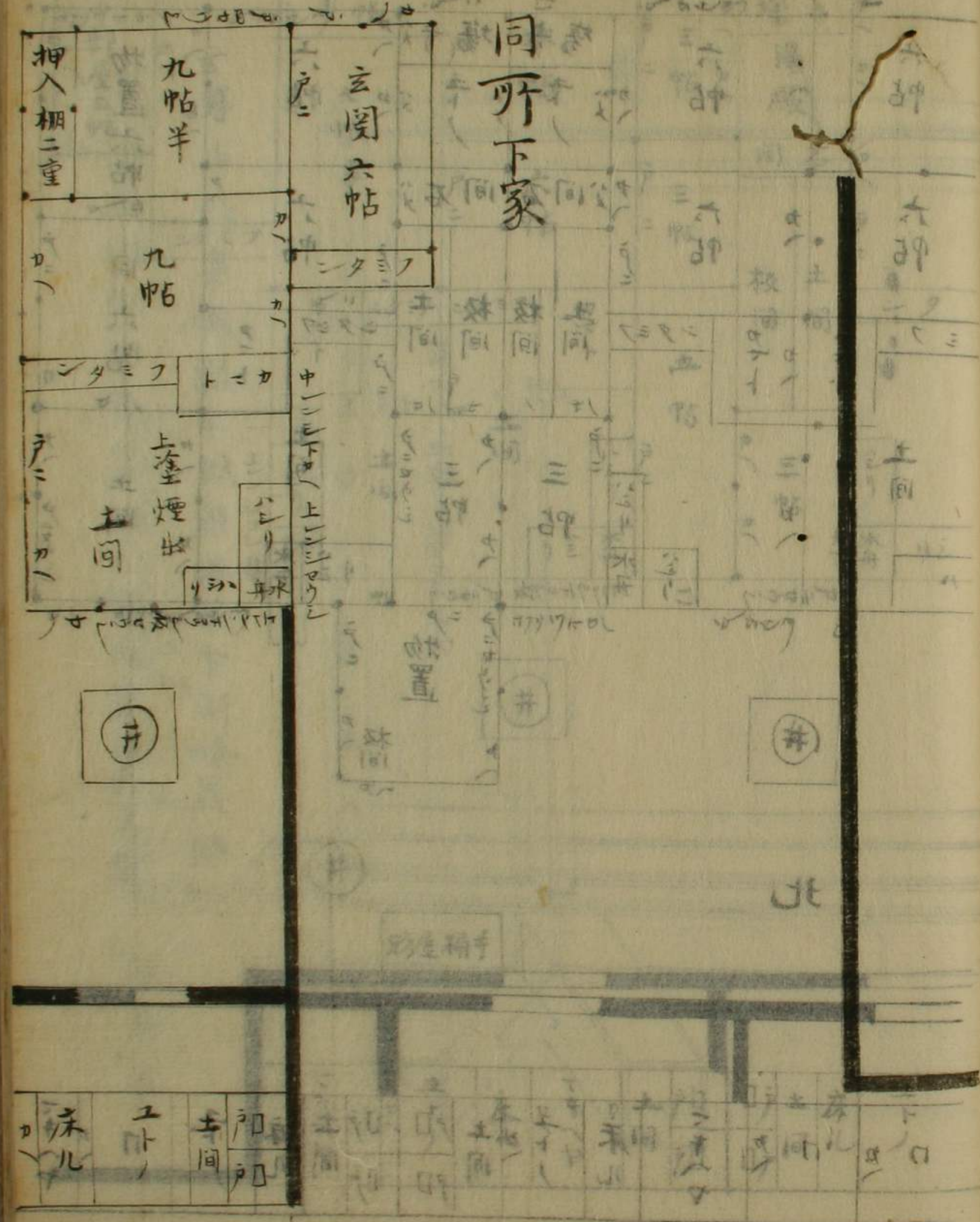


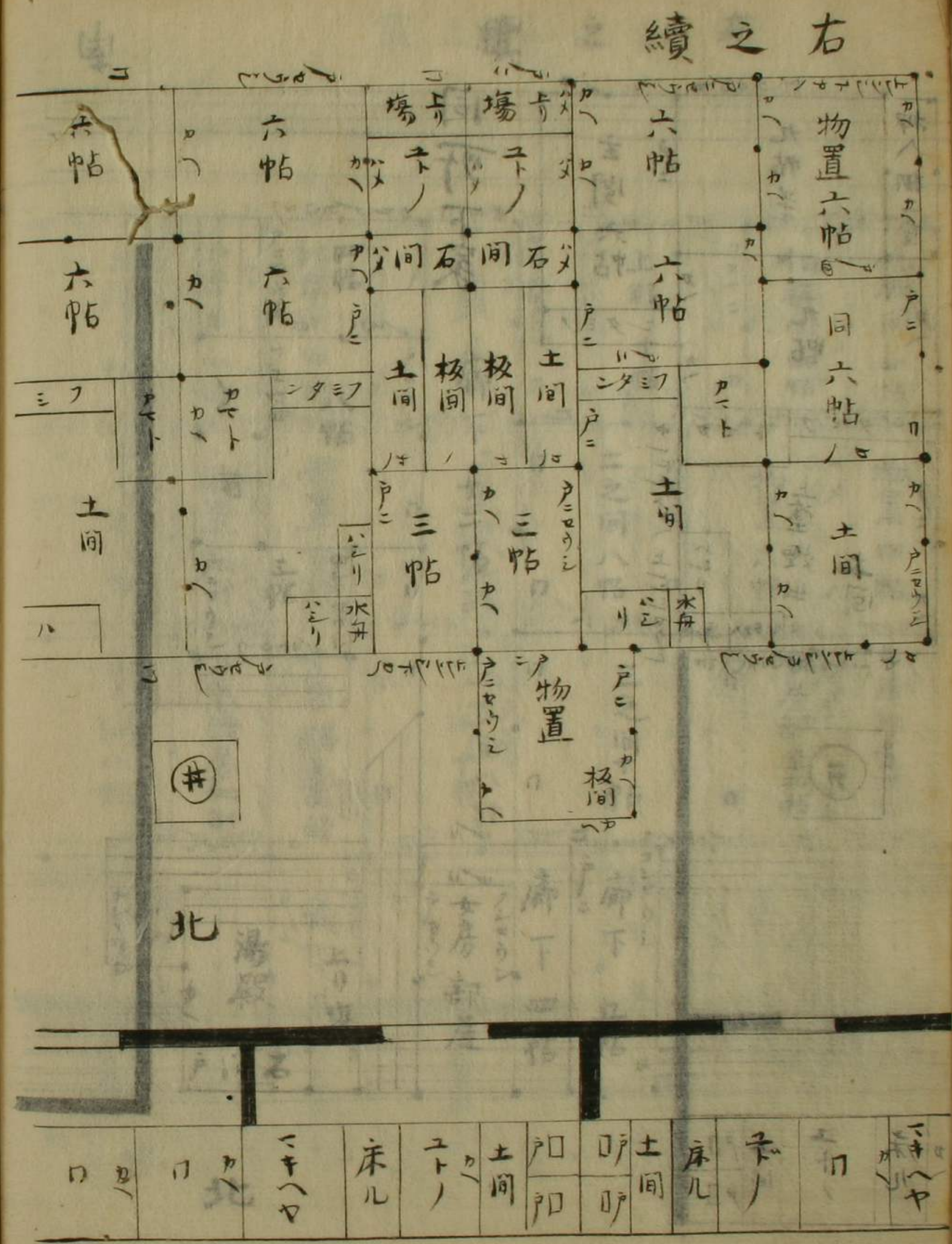
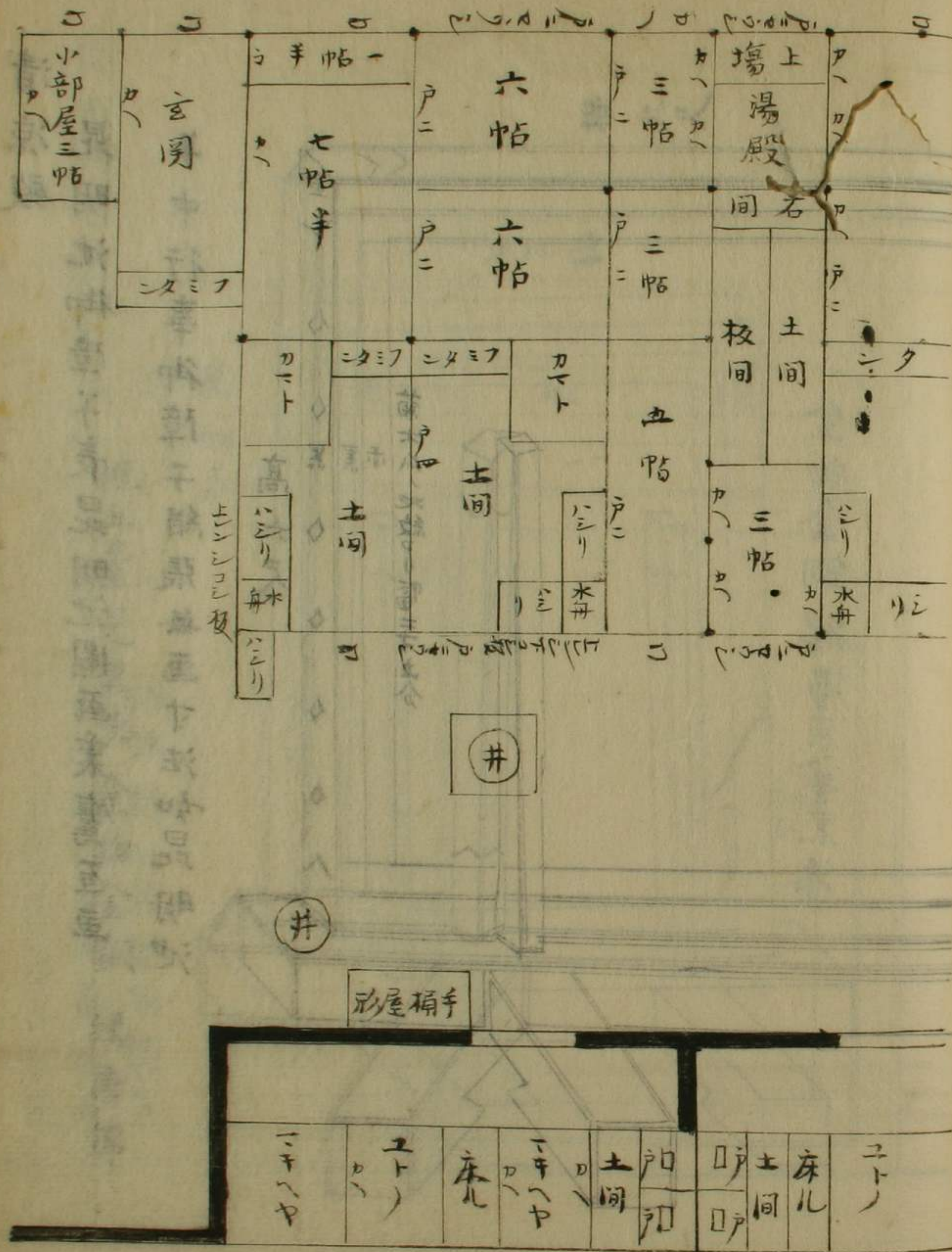


西對之屋上家



同所下家





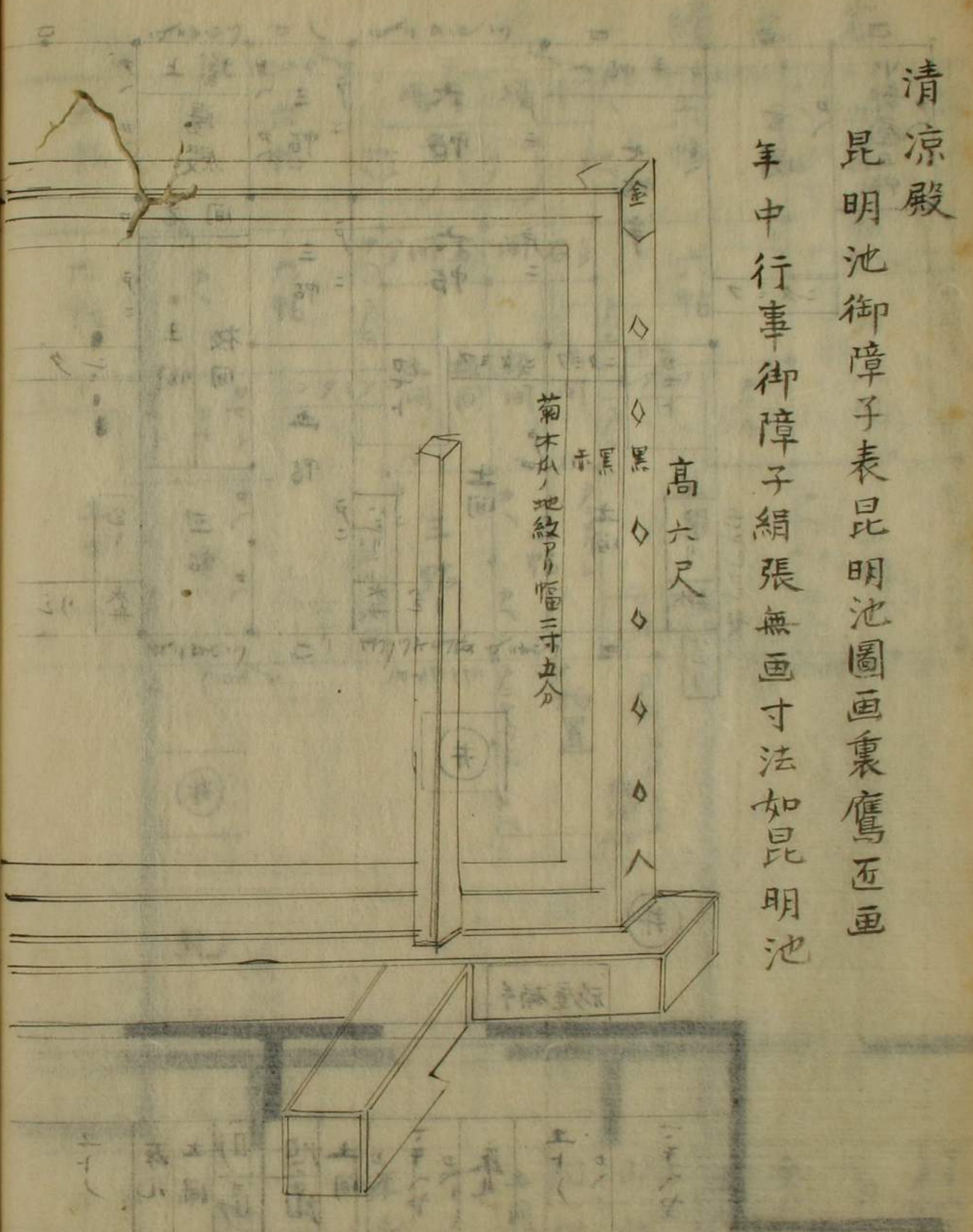
清涼殿

昆明池御障子表昆明池圖画裏鷹匠画

年中行事御障子絹張無画寸法如昆明池

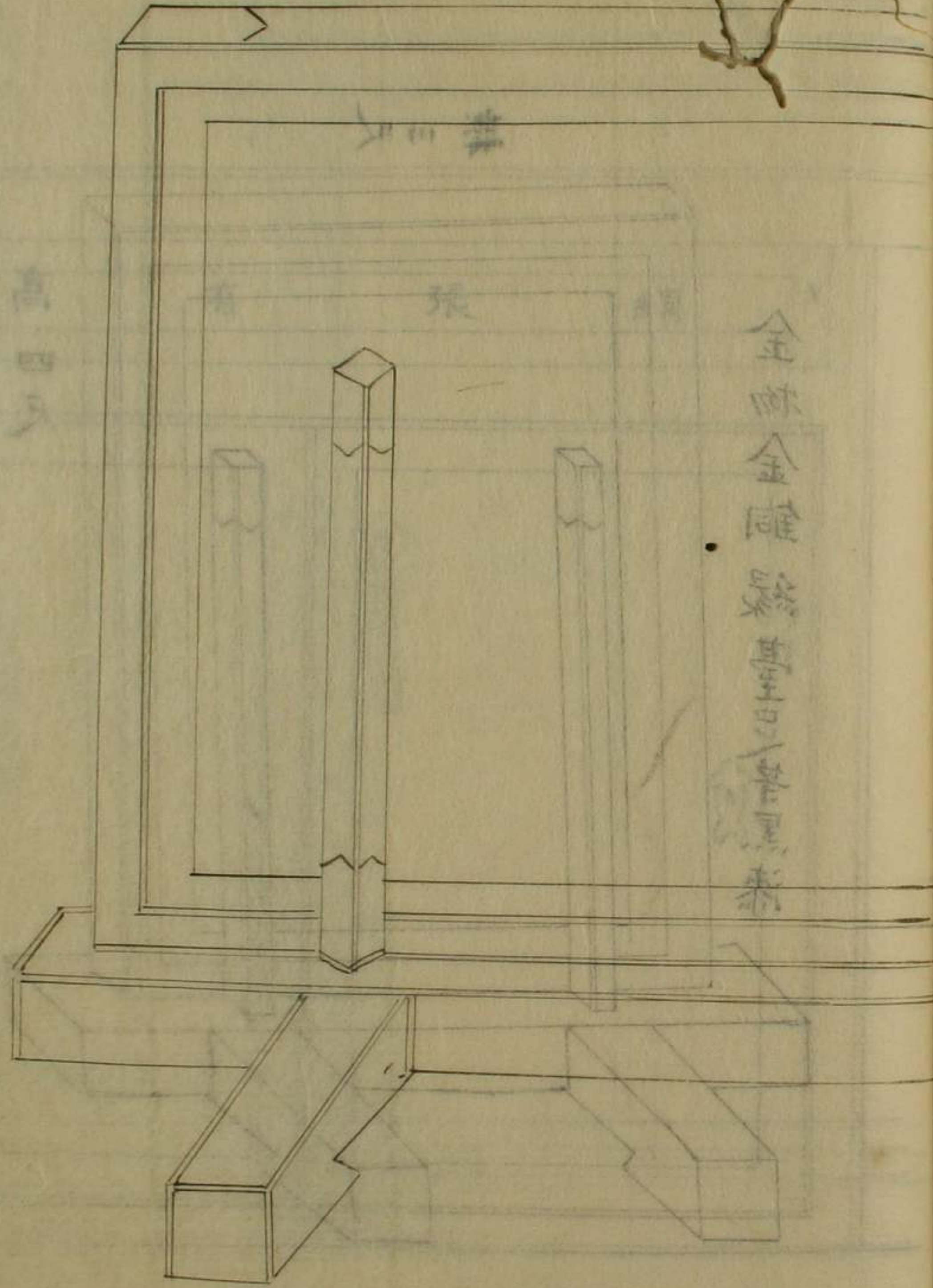
高六尺

菊木瓜地紋幅三寸五分



横九尺

全飾金陸臺上白漆黒漆



框土臺足黒漆金物金銅縁唐錦

前京御小御

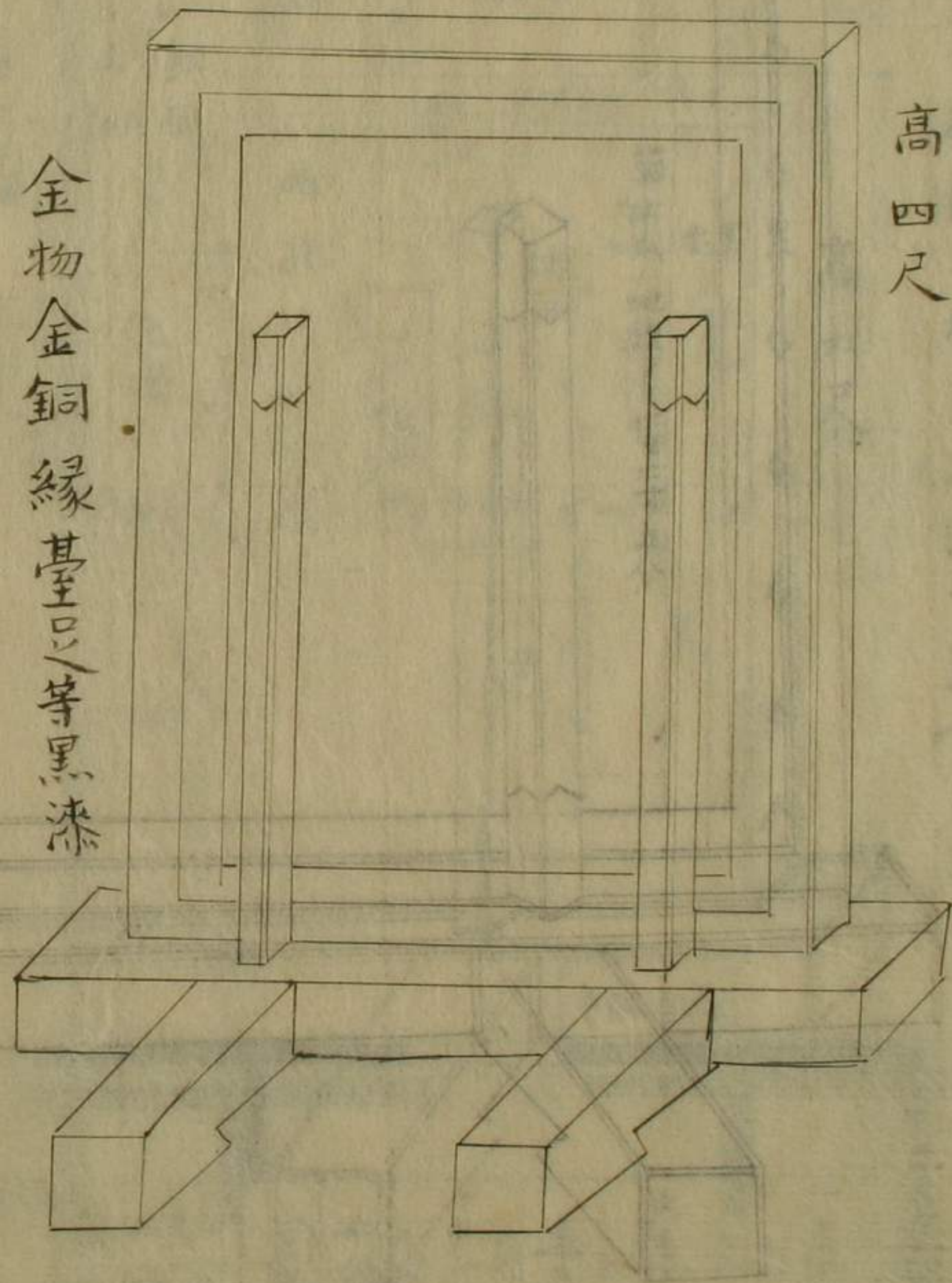
高四尺

清涼殿小障子十分一之圖

高四尺

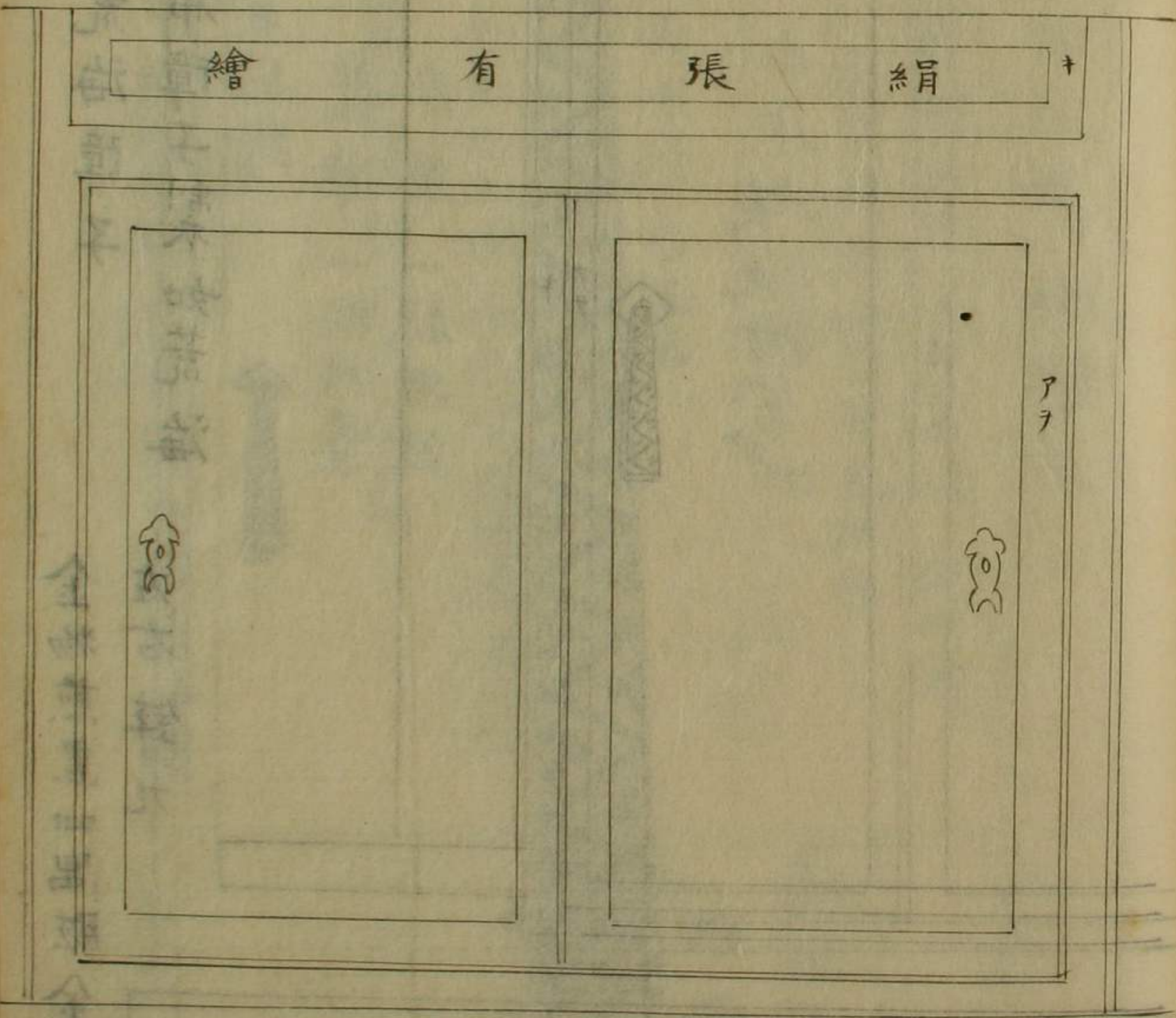
絹張表竹雀画裏猫画  
縁軟錦如昆明池障子

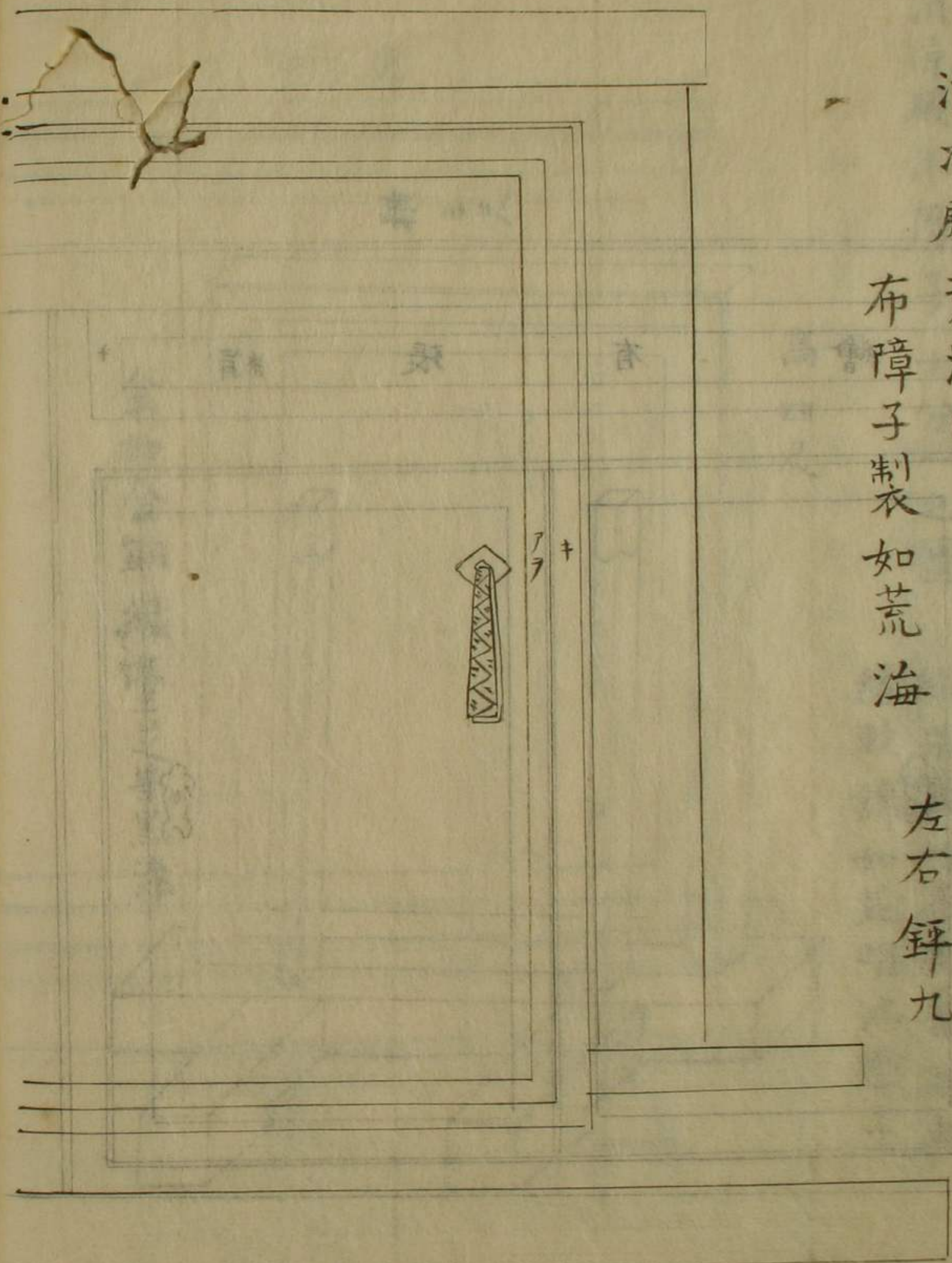
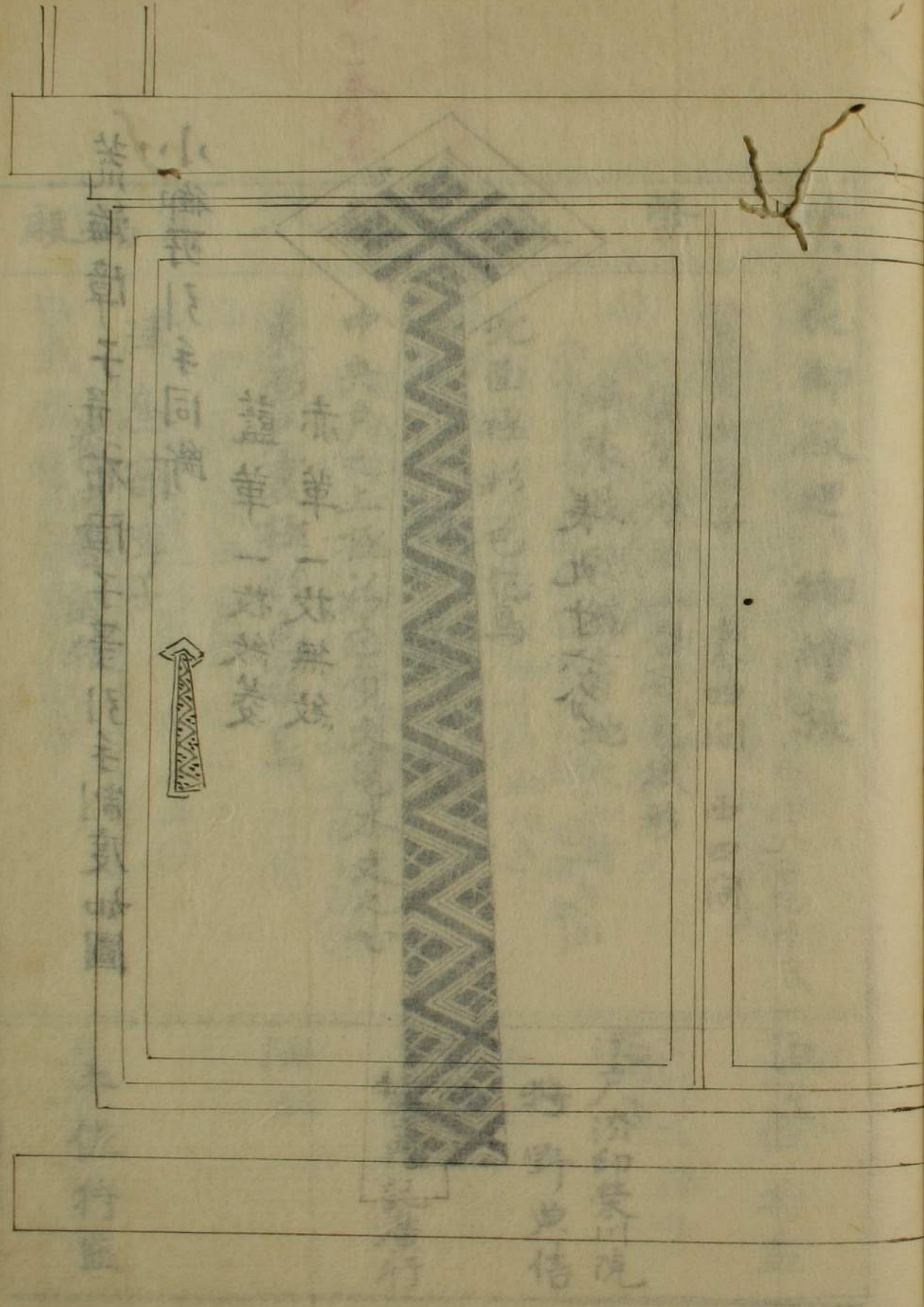
横三尺



金物金銅縁臺是等黒漆

絹張有繪





清凉殿

荒海障子  
布障子制衣如荒海

金物煎黑四隅肱金  
左右鉦九

之心一本作志

紫宸殿 宣陽殿

禁裏御殿廻り御繪様

賢聖御障子 東四間 西四間

賢聖像之上各有色紙形  
絹張縁軟錦青地

北面極彩色花鳥

中央門戶極彩色獅子狗犬

中央戸之上極彩色負文龜木文之心

東西戸裏極彩色萃鳥

陣座寄障子

養田基射張

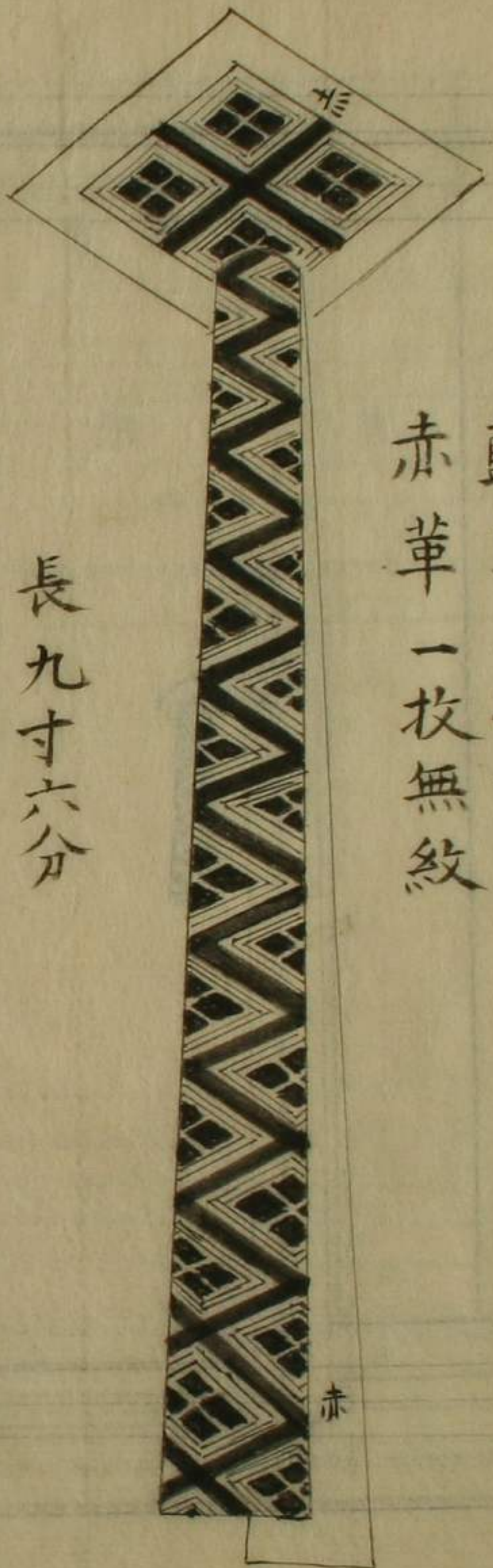
江戸法印榮川院  
狩野典信

故障音  
住吉内記廣行

土佐狩監

荒海障子并布障子等引手制度如圖  
小御所引手同斷

藍革一枚紋菱  
赤革一枚無紋



長九寸六分

清涼殿

母屋東西鳥居障子五間

各絹張組青引極彩色本文之通

北一之間 同二之間 同三之間

同四之間 同五之間

東廂南面 大唐戶裏也

鳥居障子一間極彩色各画之上有色紙形

鳥居障子上小登張付各絹張組青引

夜御殿 東面一之間 西面絹白張

二之間 三之間 絹張組青引極彩色

北南面 西東面 大和繪 南北面 戶尾一之間

弘徽殿 上御壺禰

三之間 同上 極彩色 大和繪

西東北 同南方 南北方

欽戸 四間 東西西北方 同南方 西東北方 同南方

大和繪

土佐土佐守光貞

同上

同上

同上

同上

藤臺 上御壺 禰 四間

東西面 北方 同南方 西東 北方 同南方

鬼間 三間 中一間

布障子 絹張組青引極彩色

東西面 北方 同南方 大和繪

北布障子 南面 布張墨画 南座画

臺盤所 五間 中一間

布障子 絹張組青引極彩色

東西面 北之間 同中之間 同南之間

北南面 南布障子 北面 布障子 墨画

朝餉間 御午水間 四間

中布障子 漆障子 一間

一間 絹張

南北面 東西面 大和画

紺青引極彩色

土佐將監

同上

同上

同上



所待内

北布障子南面布張墨画

画

添障子絹張紺青引極彩色

画

北之間二間 中一間布障子

画

添障子絹張紺青引極彩色

南布障子北面布張墨画

画

已上絹障子布障子共有色紙形

弘廂北荒海障子 布張墨画

画

西面有色紙形 西東北式障子

昆明池障子 絹張縁軟錦極彩色

同上

同上

土佐虎若丸

土佐土佐守

同上

画 表 昆明池之圖  
裏 嵯峨野小鷹狩  
画之上西面有色紙形絹張

小障子

仕立同上

画 表 猫  
裏 竹雀

年中行事障子

画 年中行事

絹張縁軟錦  
襖書之

土佐時監

狩野藏之進

座田左京大属

座田中將少掾

十二帖間 總金

画 東方朔 西王母

十帖間 總金

画 芦鶴

刀自語所 十五帖間總金

画 四季華鳥

小御所

上段

内宴

紺青引極彩色

鶴澤探宗

中段

画 左近衛右近衛騎射

仕立同上

吉田元陳

下段

画 九月九日平坐

同上

勝山琢眼

五節翔平門入之所

同上

海北齊之助

画 東面

朝賀

同上

大岡金吾

画 西面

駒牽

同上

狩野宗三

画 南面

賀茂祭

同上

狩野宗三

御所

北面

画 追儼

同上

狩野正榮

東廂南方布障子

画 東面

止筆受言

同上

鶴澤式部

画 西面

詔孺講經

同上

島田主計頭

同北方布障子

同上

島田主計頭

画 東面

揚言求言

同上

島田主計頭

画 西面

解納施仁

同上

島田主計頭

杉戸西廂南方極彩色

画 南面

岩金雞

同上

三谷逸記

画 北面

栗核

同上

三谷逸記

杉戸北方極彩色

画 南面

紅梅

同上

柏半兵衛

画 北面

白梅

同上

柏半兵衛

常御殿

杉戸西方中彩色

画 東面 土質 西面 象牙 鐘子期

杉戸西方中彩色

画 東面 初平 西面 昇利 劍

杉戸北取合廊下南方薄彩色

画 南面 松鷲 北面 雪竹

御帳臺障子西面

画 桐升 鳳凰

總云取砂子泥引極彩色

岸推樂之助

井止大學

村上東洲

狩野縫殿之助

上段

堯仕賢國台

同上

中段

大禹戒酒 務微

鶴澤式部

下段

高宗論長衛

狩野藏之進

劍壘御間

四季花鳥

鶴澤探索

絹張御床張附

錦華鳥

御小襖 砂子泥引

上四枚 春夏花鳥

下四枚 秋冬花鳥

御寢間

真四季山水

雲取砂子泥引中彩色

南方御小襖絹張

上四枚

画八代集卷頭和歌之心

下四枚

砂子泥引

北方御小襖

上四枚

画六歌仙和歌之心

一之御間

獨有宮遊人偏警物候新

雲霞出海曙梅柳渡江春

淑氣催黃鳥鳴光轉綠蘋

忽聞歌古調歸思欲泊中

石田遊汀守善

圓山主水應舉

右詩之心

御床張附

画松竹

御袋棚張附

絹張羣青引極彩色

二之御間

林塘夜汎舟與響菰穗禮萬影

皆因月子聲各為秋歲華空

復晚卿思不堪愁西北浮雲外

伊川何處流 右詩之心

島田主計頭

三之御間

画四季梅邊

薄彩色

清御間

画位苔之景

中彩色

御小襖画

上二枚 春野雲雀  
下二枚 秋野鶉

砂子泥引

圓山右近應瑞

吉田大炊

花疑  
作  
苑

次之御間

画 四季草花 中彩色

申口二十四帖之間

画 牡丹 薄彩色

申口三十帖之間

画 竹菊 薄彩色

御小坐敷

上御間 墨画

画 梁花雪

御床張附

画 同上

御遣棚張附

画 同上

言田大  
杉山元春

江村春甫

恒枝專藏

圓山應舉

御小襖絹張 藥白紙

画 正四枚 小鳥

画 同下四枚 雉

砂子泥引

下御間

画 庚樓月

落長 神間 同上

画 梅

杉戸 東御椽坐敷南方

画 南面 敬牛 貴德  
北面 拔頭 還城樂

杉戸 同上

画 南面 車胤  
北面 孫康

岸堆樂之助

中村平右衛門

佐久間草履

佐野龍

御涼所

杉戸南廂東方極彩色

画 西 海棠 瑠璃鳥

杉戸同 東 戴安道

画 西 歸去來之辭

杉戸北御椽堅敷 東 竹雞 中彩色

杉戸西御椽堅敷北方

画 南 東坡 中彩色

杉戸同中仕切

画 北 山鶴 中彩色

田中綱吉

奥源次郎

谷川元庫

笹川遊泉

狩野内通

杉戸同南方 華山鳥 中彩色

画 南 桃林牛

上御間

御床御違棚御附書院院邊

張附 墨繪仕立泥引

画 小壁 春夏花鳥 仕立同立

画 次御間 秋冬花鳥

画 小壁 秋冬山

画 裏御間 御床張附 春夏草花

山水右近

長澤芦雪

駒井幸之助

原在

弄玉一本  
華並

身 蘇 之 宿 西 東 博 六 卷

<p>松戸西御榻坐敷北方 画 弄玉 松戸東御榻坐敷南方 画 張鸞 松戸同所北方 画 花籠 松戸對屋廊下北行當 画 常盤木猿 松戸二筋廊下西行當南方 画 若松 松戸同所北方 画 雪南天 画 秋野卧猪 画 柏鷺 画 紅葉百舌鳥</p>	<p>松戸西御榻坐敷北方 画 弄玉 松戸東御榻坐敷南方 画 張鸞 松戸同所北方 画 花籠 松戸對屋廊下北行當 画 常盤木猿 松戸二筋廊下西行當南方 画 若松 松戸同所北方 画 雪南天 画 秋野卧猪 画 柏鷺 画 紅葉百舌鳥</p>
---	---

<p>大岡春山</p>	<p>大村豊泉</p>	<p>鶴飼大之進</p>	<p>吉城元凌</p>	<p>富田立徳</p>	<p>笹井源太郎</p>
-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------

殿内参	御里戸	御湯殿	次御間
<p>上段 琴瑟書畫 中段 高山四皓 下段 九老 中彩色薄砂子</p>	<p>上段 蓮 中彩色 蹴込 牡丹獅子</p>	<p>上段 桐 中彩色</p>	<p>取合御間 竹 小壁雀 次御間 秋冬草花 小壁蜻蛉</p>
<p>吉田元陳 勝山琢眼 狩野縫殿之助</p>	<p>木村了琢</p>	<p>狩野正榮</p>	<p>奥源治郎 秀雪亭</p>

華  
五  
一  
本

長橋局東對之屋

上之間 画 櫻雉子 床張附 邊棚張附 同小襖 画 花鳴鶯水榭柱 二之間 画 紅葉小鳥 三之間 画 雪中鷹狩	画 東論列女傳 上段 上段 上段 上段	薄彩色 薄彩色 薄彩色
--	---------------------------------	-------------------

山田宗景 島田内通權助 恒枝專藏	堀 索道 山田王討 橋本佐内 山根圖書 椎田榮雲
------------------------	--------------------------------------

西對之屋

一 画 上段 二 画 上段 三 画 上段 四 画 上段 五 画 上段	松戸東對之屋廊下東方 松戸同河廊下西方 松戸西對之屋廊下東方	薄彩色 薄彩色 薄彩色 薄彩色 薄彩色
--	--------------------------------------	---------------------------------

佐野龍雲 三澤右近將監 吉村周圭 勝山圖書 江村主稅 竹内由右工門 鶴飼大之進 服部一榮
---



杉戸同所廊下西方  
画北南 同上

木鳥元常

杉戸從清涼殿小御所迄廊下

西尾元精

画北南 梅鶯鴨 鴨一本 薄彩色

杉戸同所中仕切東方

渡邊周藏

一画西東 松鶴 薄彩色

杉戸同所南方

林長洲

画北南 牧馬 水鳥

杉戸從清涼殿西廊下北行當

林画北南 牡丹蝶 松鶴 薄彩色

川島賴母

杉戸御車寄

伊庭内膳

画北南 系櫻 唐子遊

狩野正榮

東前 白雲

臺盤 白雲

中題

上題

山岡時之助會

仙洞御所御繪様

弘御所

上段  
中段

名所

紺青引極彩色 縁軟錦

土佐土佐守  
土佐 将監

朝餉間

狩野縫殿之助

臺盤所

東廂

錦花鳥

縁軟錦

小御所

上段

五嶽圖

下段

五湖圖

總雲取砂子泥引  
極彩色

鶴澤探索  
同式部

常御殿

上段

中段

御賀宴圖

總雲取砂子  
泥引極彩色

吉田元陳  
勝山琢眼  
狩野正榮

下段中之間

催馬樂之心

白張薄彩色

佐久間草偃

席田 但勢海

夜御殿

總雲取砂子  
泥引極彩色

島田主計頭

御小書院

一之間

耕作圖

唐画春夏

仕立同上

圓山主水

御床張附

御袋棚小襖

上四枚

花尾長鳥

土佐京麩

下四枚

花蝶

雲一本在  
簿字上

牡丹一本作  
牡丹  
牡丹

小四方間申口常

二之間

耕作圖

唐画秋冬

仕立同上

北一之間

御床張附

春草木

泥引白張  
薄彩色

同二之間

夏草木

同三之間

秋草木

同四之間

冬草木

大和画女工圖

白張薄彩色

濱松子鳥

圓山主水

堀索道

山田索隱

狩野宗三

北畠洞月

狩野藏之進

石田遊汀

御黒戸一対屋

蓮雲

薄中彩色

御違棚小襖

華鳥

松戸小御所東廂北西方

東表

春野

松戸同殿東廂南西方

東表

胡蝶

松戸同殿東廂北方

南表

牡丹

松戸同殿北廂西方

東表

夏野

吉村了疎

三谷逸記

狩野縫殿之助

吉田元陳

狩野藏之進

大村景泉

一本

杉戸同殿  
西廂  
北表唐子遊  
裏表唐子遊  
又園亭山

一本

杉戸一西西方  
東表柏鷹  
裏表  
江村春甫  
杉戸北西方  
東表園雞  
花車  
杉山元春  
他本如次

一

杉戸同殿南廂西方  
裏 麒麟

東表 冬野  
裏 鳳凰

杉戸同殿西廂北方  
南表 唐子遊  
裏 桂 鴛

杉戸弘即所小即所取合廊下中程  
東表 老松  
裏 鳴門

杉戸常御殿御小書院東御掾坐敷北方  
南表 公衛朝臣文野歌之心  
裏 松藤

杉戸同殿御上段南御掾坐敷東方

机田米春

勝山琢眼

大園金吾

吉田大炊

吉村周圭

西表 桃源圖  
裏 田子浦

杉戸同殿御掾坐敷北西方  
東表 王質觀碁圖  
裏 山吹流水

杉戸同殿御下段御掾坐敷南西方  
東表 園雞  
裏 花車

杉戸同殿北御掾坐敷北西方  
東表 柏鷹  
裏 藻 鯉

杉戸同殿北御掾坐敷中裡北方  
西表 木芙蓉  
裏 養老龍

富左近將監

杉山元春

江村春甫

原在仲

杉戸同殿御掾坐敷西北方

南表

野馬

裏

林雪

杉戸車寄廊下北東方

西表

唐松孔雀

裏

栗猿

杉戸竹間弘廂西方

南表

巖虎

裏

芦雁

繪捕間小御所東廂西方

波

同 同殿北西方

雲

同 常御殿御上段東御掾坐敷東方

山根圖書

栗 周峰

圓山右近應瑞

吉村周主

同 同殿御掾坐敷西方

紅葉籠

高島梅月

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names like 高島梅月 and 紅葉籠.

内裡御造管御用掛

議奏 中山前大納言  
廣橋前大納言  
勸修寺中納言  
修理職奉行 日野中納言  
堤 前宰相  
大原 三位  
豐岡中務大輔  
同加勢 勢多大判事  
即取次 土山淡路守  
御勘定 市野伴之進  
修理職由合 岡田權大夫  
修理職 松宮主水  
高島監物

御所煎  
非常洵

大原前中納言  
中山中納言  
四條 三位  
廣頼石見守  
庄林壹岐守  
水口右進將監  
同本 主馬  
如生 主水  
五十川 東馬  
藤木甚助  
松平越中守  
久世丹後守  
禁裡御所之共御造管御用掛

仙河御所御造管御用掛

評定 以數中納言  
六條宰相中將  
修理職奉行 西洞院三位  
樋口彈正少弼  
外山勘解由次官  
御取次 渡邊河内守  
出鹿三河守  
修理職 伊地知主殿  
山田兵部掾  
固本造酒  
女院御所御造管御用掛  
甘露寺中納言  
修理職奉行 高直 三位

御用掛  
御勘定奉行

平岩次郎兵衛  
福島又四郎  
石尾喜右衛門  
柳生主膳正  
安藤越前守  
池田筑後守  
菅沼下野守  
村垣九太夫  
鈴木門三郎  
浦野新九郎  
加藤佐市  
服部又三郎  
勝樂八郎  
高橋八郎左衛門

一本  
中嶋与九郎  
川島藤八

御代官  
小堀縫殿  
御大工頭 中井藤三郎  
御作事 細井理右三門  
橋本忠右三門  
竹内半十郎  
支配助定 中嶋藤八  
川島與九郎  
大田備中守組與力  
小菅忠左三門  
頭屋敷 戸田傳兵衛  
池田統後守組與力  
西尾新太郎  
真野嘉右三門  
喜木市之進  
田中七右三門  
井上美濃守組與力  
真野八郎兵衛  
入江吉兵衛  
水原撰津守組與力  
根川与右三門  
山田儀平治

山田忠治郎  
岡本勇助  
大田備中守組同心  
石田伴右三門  
大野与一兵衛  
小野嘉十郎  
佐木嘉右三門  
池田統後守組同心  
中川左右三門  
藤井源之進  
中川近右三門  
中尾彦兵衛  
平尾安右三門  
水多尾安兵衛  
田村此右三門  
榑橋能三郎  
井上美濃守組同心  
成賀卯兵衛  
中江与右三門  
芝八郎助  
吉田陽五郎

拒川惣藏  
和田喜藤太  
大浦直右三門  
湯口唯五郎  
江戶大工棟梁  
石丸讚岐  
御扶持大工棟梁  
池上五右三門  
辨度仁右三門  
矢倉直之丞  
江戸所棟梁  
兒玉新八  
小森九兵衛  
大野清兵衛  
京頭棟梁  
前井憲政棟  
今村出代棟  
岡崎上野棟  
前井志之棟  
乾長八棟  
堀内若棟  
山本近江棟  
塚本石見棟

建部大和守組与力  
右松權之進  
御從士定俊  
河久澤平治郎  
村田祿之丞  
佐久間源左三門  
御普請元  
松島大五郎  
川島藤八  
御普請役  
立田安路右三門  
落入文五郎  
山田鉄五郎  
田村七郎治  
中田藤太郎  
関野龍四郎  
秋野大八  
中村鑑四郎  
御作事勘定  
青木團七  
長島平五郎  
飯村次郎吉  
御小代  
池田源治郎

水原撰津守組同心  
清水与三郎  
井上貞治郎  
川島喜右三門  
建部大和守組同心  
鳥井要助  
荻木勝五郎  
御作事方普請同心頭  
赤城十四郎  
飛田幸八  
山田吉太郎  
細川吉藏  
小堀与代  
堀井儀三門  
元山  
小田孫太郎  
平代  
塚原火助  
大村久九郎  
多久茂右三門  
多岐源左三門  
新谷武右三門  
藤田半九郎  
富田東市  
廣右三門

石井出雲棟  
西村八太  
今村七郎治  
福本茂右三門  
角井佐三郎  
山本善藏  
今村善右三門  
大東治郎左三門  
長谷川指藏  
御普請御用場勤審諾  
和州郡山  
和乎甲斐守家来  
御普請御用場勤審諾  
長谷川指藏  
城川後  
稻葉丹後守家来  
江州膳所  
本多徳政守家来  
丹州徳山  
青山下野守家来  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引  
右日引

寛政元年酉二月下旬始

大工筒所割

紫宸殿	田邊組	御車寄	御田組	女孺部屋	大坂
内侍所	平松組	長橋局	神尾組	御表使部屋	天満組
清涼殿	水子組	奏者方	四條組	内玄關	
常御所	岩井組	外振御番所		御使番部屋	大津組
小御所	建等組	御時計廊下		取次御所	堺組
御車舎元		麿香間		御物仕部屋	
取明門		取次廊下御所	大坂	申口北廊下	
月華門		御物置	五兵衛組	女中雪隠	
左右陣坐廻り		内侍所勝手廻り		長橋車寄	
回廊	三十郎	刀自部屋	龜尾組	御誥常御殿廊下	八幡組
御車寄	寄合組	紫宸殿外侍所廊下	小山組	取次部屋	何州
非藏人部屋	西六條組	其外讀廊下		修理職部屋	新臺組
公々間		清涼殿廊下	智恩院組	對屋中	寄合組
園於裏間		外振番衆所	一之橋組	御使番部屋	豊江
鎌番所	々水組	非藏人部屋物置	大坂	仕下部屋	長州
伺候間		東西對之屋	三十三組	御車寄前腰掛	兵庫組
女孺詰所		御臺所清所		唐人御番所	尾崎組
男孺詰所	東福寺組	御頭御勝手	部屋一本	伶人樂屋	田舎組
		板本吟味役所		樂器藏	
				參内殿前中門	
				御茶藏	

對屋會可

松平越中守殿被命趣柳生主膳正被仰渡

酉十一月十六日銀一十貫目、廿七十貫目割増

戌十一月廿日米一十石金一萬五十九兩

御褒美 右御用掛諸職人一統賜

從 御所被仰出趣所司代太田備中守殿御用掛役人中被為通達

新造 内裏御造營諸事丁寧奇麗早速御造畢御用掛面

出精之段 右之趣兩脚ヨリ被申越候

同呂御様娘之御事候 致通達候

禁裏御所 戊八月廿六日 御上棟 九月廿六日ヨリ 御安鎮

仙洞御所 戊九月廿二日 御遷幸 十月十日ヨリ 御安鎮

女院御所 戊九月廿六日 御遷幸 右同日ヨリ 御安鎮

十二月四日 御遷幸



同...  
 出...  
 同...  
 出...  
 同...  
 出...  
 同...  
 出...  
 同...  
 出...

賢聖子名臣冠服考證上

東第 一 間

馬周

衫作袴  
下並同

官階

中書令 三品

年貌

袁天綱曰馬君伏犀貫腦背若有負貫驗也然面澤赤而耳無根岑文本曰鸞肩火

色騰上必速 年四十八

章服

烏紗幘頭 綠紗四襖衫 金玉帶 烏皮靴

金魚袋

執笏

右謂之公服又曰從省服五品以上從公事服也事物紀原曰中國衣服自北齊以來全用胡服官袖非綠唐武德貞觀時猶爾古今注曰貞觀二年三品以上金為錢服綠周又嘗上議而論深衣

錢作鑄

唐一作履

及決袴四襪之事則此圖綠色四襪衫與諸說合矣其金魚金玉帶則固三品之章矣又隋志大唐新詔有公服用靴以代屨便於軍旅之說則隨唐公服不用履也

房玄齡

依彩本舊圖

官階

尚書左僕射一品

年貌

相者曰龍目鳳睛位及公卿

年七十一

章服

進賢三梁冠

皂紗袍青笏

金魚袋

右舊圖半面以上断裂其冠不可識也以其垂青笏而佩金魚今定為二品朝服而為補進賢三梁冠其衣下至跗連上下四起施緣則蓋袍矣北齊以來百官士庶同服袍唐初不在軍者服長袍云但玄齡位二品則宣紫或綠而今服皂是可疑也唐初服制未定尚從北齊之俗朱紫玄

黃各從所好者款魚袋左右各一左者進內此圖是也右者隨身馬圖是也

杜如晦

依彩本舊圖

官階

尚書右僕射二品

年貌

年四十六

章服

烏紗幘頭

皂紗襪衫

草帶

烏皮鞋

右杜亦僕射二品而皂服可疑也亦服制未立從好者歟抑彩本草畧失傳也馬房所帶方而金采則為魚袋矣杜所帶其形圖蓋印囊也舊圖無設色今以青飾之

魏徵

官階

門下侍中二品

年貌

狀貌不逾中人

年六十四

今考定新圖

一本七下年

章服

烏紗僕頭

紫衫

草帶

烏皮靴

佩印及悅

楮笏

右據唐車服志貞觀四年以後制參照十八學士圖

東第 二回

諸葛亮

丞相武御族

今考定新圖

官階

身尺八尺容貌甚偉

壽五十四

進賢三梁冠

綠組纓

皂紗單衣

絳

綠中衣

絳袴祿

白帶

方心曲領

右丞相朝服也。三國暨擾服制並所聞焉。今一依後漢志立圖。按進賢以梁數別貴賤者始見平

初一作初

帝元始五年。歷東京六朝。至于隋唐。皆沿之。其纏

各如其綫色。其衣則馬。端臨曰。東漢百官之服皆

初玄如淳注。雖五時服。至朝皆服皂衣。又獨斷曰。

公卿侍中高書皂衣入朝者。曰朝者。曰朝臣。則後漢朝服

專用皂矣。又案方心曲領。隋志。梁陳以後始載之。

然釋名。粗言其制。則漢末已有之矣。

季作季

蓬

官階 衛大夫

依宋李公麟孔子圖

年貌 不詳

章服 玄冠 白布深衣

執竹簡

絹一作緞

按原圖執書卷。蓋書卷以絹帛者。漢以後之制矣。周豈有此哉。今易以竹簡。

張良

今考定新圖

官階

留侯

車貌  
章服

性多疾道引不食穀其親如婦人女子  
黑幘 絳紗草衣 絳綠中衣 白帶

絳袴祿 紫綬 執笏 帶劍

右按西漢二百餘年服制未立其別貴賤者唯以印綬而已其他章服史無所載今據漢舊儀獨斷等書三五索之雖有五時迎氣服各隨其方色然每時服之止三日其他常服者蓋西京人則以絳若皂東都人則專以皂而已其中衣袴祿以絳者東西京蓋同焉其首服則雖冠有劉氏樊噲惠文等之名幘有青紺霜赤等之別然其田各有弁焉貴賤通常服者蓋獨皂幘幘耳幘制本出于緇布冠頭項及絳帕以一條帛包額繞項結之後施顏題及屋至于文帝又高其屋而續之耳儼成首飾官民通服焉進賢以梁敷別貴賤者

雖上本有字

說上本有制其二字

第五倫

官階

年貌

進賢三梁冠 皂紗草衣 絳綠中衣

絳袴祿 白帶 紫綬

右按後漢至明帝初服旒冕祠天地定王公卿士服制詳見輿服志今皆據之以立圖

東第三間

章帝前無聞也今定西漢人以皂幘絳衣立圖其間

又按漢魏有佩雙印及金印銀印等之說雖詳後志及三國晉梁之書然其為體今不可知也不敢妄作

今考定新圖

管夷吾

官階

年貌  
章服

今考定新圖

齊大夫

不詳

皮弁

素鞞

三玉  
二采

朱紘

素衣

素裳

素裳

白履

佩水蒼玉

純組綬

積一作積下  
並同

右謂之皮弁素積侯國大夫以聘隣國及待聘  
賓還王之服也君在屈結其佩之綬木使有  
聲說詳禮經但其結本當純組管仲僭朱紘  
見干戴記故今朱之

鄧禹

官階

年貌  
章服

大傳高密侯

年五十七

進賢三梁冠

五時服青衣

絳綠中衣

今考定新圖

其下二亦有青  
字

公孫僑

官階

年貌  
章服

右據後漢志及漢舊儀獨斷等書立圖其衣  
者說見干張良下

今考定新圖

鄭大夫

管子曰子產日角

玄冠

純組纓

緇衣

素裳

素鞞

白履

佩水蒼玉

純組綬

右司服既謂冠弁服者又謂之朝服侯國大夫  
朝君及祭於己等服也說詳禮經

蕭何

官階

年貌  
章服

相國鄼侯

年老恭謹

長冠

絳紗單衣

銀領袖

絳綠中衣

國下右御字

絳袴祿 台帶 綠緌綬 帶劍  
右長冠一名齊冠所謂劉氏冠也高祖徵時所  
冠後尊敬之以為祭服玄綠緌乃固相國之章  
也其他說詳于張良下

東筭四間

今考定新圖

伊尹

官階

阿衡

年貌

荀子曰面無鬚麋

同眉

晏子曰伊尹倨身

章服

章甫冠

丹組纓

玄衣

素裳

丹朱

中衣

素鞞

白屨

佩山玄玉

朱組

右殷禮文獻不足周時既不可徵也郊特牲曰垂貌  
周道也章甫殷道也孔子宋人冠章甫之冠則

當時其制猶存而周人以與委貌雜用焉弁曠禮  
家圖如覆杯者曰配以玄衣素裳而當之冠弁服  
冠弁服又謂之朝服周制天子之卿從燕諸侯之服  
也雖殷亦或然

傳說

今考定新圖

官階

相

年貌

荀子身如植簪通雅曰謂乾瘦也

章服

章甫冠

丹組纓

玄端

朱裳

丹朱

中衣

朱鞞

鐘履

佩山玄玉

朱組纓

右周又與委貌通冠之玄端所謂端章甫願為小  
相者矣今配以玄端服之裳鞞立此圖玄端服即  
書傳所謂端委也如晉侯端委以武官劉定公  
曰吾端委以治民臨諸侯是也

以下有八字

太公望

今考定新圖

六官階

大師齊侯

章貌

年蓋百有餘

章眼

韋弁

韎衣裳

丹朱中衣

朱鞞

繡履

負劍

楛笏

右司服所謂兵車韋弁服者王及諸侯卿大夫君臣同服其佩玉則經傳無所見矣以軍容不使而不設也

仲山甫

官階

冢宰樊侯

章貌

令儀

令色

小心翼

章眼

皮弁

三采

朱紘

素衣

素裳

丹朱

中衣

主系鞞

白鳥

佩山玄玉

朱組纓

執圭

右所謂皮弁素幘者天子與諸臣同服曰視朝之

眼也

以上東間十六名

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '眼也', '以上東間十六名', and various names.]*

賢聖障子各臣冠服考證下

西第一間

李勣

官階

司空尚書左僕射

今考定新圖

年貌

年八十六

章服

烏紗幘頭

紫衫

革帶

烏皮靴

佩印

執笏

右據

唐書車服志參取十八學士圖

虞世南

官階

弘文學士

依圖立本十八學士圖

年貌

貌儒謹若不勝衣

年八十一

章服

烏紗幘頭

緋衣

革帶

烏皮靴

執笏

佩帨

杜預

官階

持節 荊州都督二品

年貌

其人知預病瘳憚其智計以執繫拘頭示

章服

之擇各廩嬰也左頭嬰喉也 年六十三

章服

烏紗帽

青衣

右杜預

宜持節都督二品章服三梁冠紫綬今

不用者

梅晉志漢末王公名士多委王版以幅中

為雅衷

紹崔鈞之徒雖為持節皆著縑巾魏武

擬古皮弁

戴縑巾以為幅威和九年制聽尚書

八坐

兼即門下三省侍官乘車白帽出入掖門

則雖禁掖

亦中服從事矣由此觀之晉人不著

官服為實錄

今閱王羲之及獻之像其所戴者

此晉志所言合焉是以杜預張華十二圖全用其

猶一作白

威一作威



中服以見當時之風尚也猶羊祐像按年中行  
事圖則其冠彷彿於進賢因據晉志具受後  
以存一代之制

張華

今考定新圖

官階

司空廣武侯

年貌

少自脩謹造次必以禮度多髭頰好以帛纏

章服

白恰 白錦衣

右張華亦不用金紫章服說詳前條按幅又名恰增額之按頭使下曰恰蓋幅本似皮弁按其項使四下也其頂上收者徐爰曰荀文若巾之行觸樹枝成歧謂之為善因而弗改是矣

羊祐

西第 二問

訂補年中行事圖

官階

太傅

年貌

身尺七尺二寸美鬚眉年五十八

章服

進賢三梁冠 皂紗單衣 絳流中衣

絳袴祿

白帶

方心曲領

紅羅綬

紫綬 端笏

右羊祐至倪寬八人見于年中行事畫卷賄射因中但大不盈寸其詳不可知又羊像羊身以下蔽物不見今審定其冠為進賢三梁據晉志補漫按按魏晉以來用絳紗為之故字從糸按晉制太傅當服絳而原圖皂衣者蓋以祐時與服制未立且從漢魏制已

又按晉志有荷紫契裳白華等制其狀不可詳也不敢妄作

楊雄

訂補年中行事圖

官階 給事黃門侍郎六百石  
年貌 祿位容貌不能動人 年七十一  
章服 青幘 青紗單衣 絳緞中衣 絳袴祿  
白帶 黑綾

右原圖亦蔽而不見全像今以其冠彷彿青幘攬後志足成衣裳以為東方迎氣之眼按原圖幘顏塗綠綠幘則厨人服也蓋借以美彩繪已

陳寔

官階 大丘長四百石  
訂補年中行事圖

年貌 年八十四

章服 進賢一梁冠 皂紗單衣 絳緞中衣 絳袴祿 白帶 黃綾

右原圖全像可識皆依之 年七十八

班固

訂補年中行事圖

官階 蘭臺令史六百石  
年貌 年六十一  
章服 進賢兩梁冠 皂紗單衣 絳緞中衣 絳袴祿 白帶 黑綾  
右亦全像依原圖

西第三間

桓榮

官階 大常卿中二千石  
訂補年中行事圖

年貌 被服儒衣溫恭有蘊藉年踰八十

章服 黑幘 皂紗單衣 絳袴祿 白帶 青綾

右亦依原圖

鄭玄

訂補年中行事圖

官階 徵為大司農以病乞還

年貌 身天秀眉明司容儀温偉 年七十四

章服 幅巾 野服 黃裳

右原圖首服蔽物不見腰不垂笏下服又似非  
袴矣按史玄未嘗就官何進設几杖禮待玄不  
受朝服而以幅巾見又其戒子書曰吾雖無笏冕  
之緒頗有讓爵之高然則圖中不著笏極得傳  
文之意亦可見良工用意不苟也今補以幅中黃  
裳以成其志焉

蘇武 訂補年中行事圖

官階 典屬國二千石

年貌 留匈奴十九歲始以壯強出及還須髮

章服 畫白 黑幘 皂絳草衣 絳綠中衣 絳袴祿

章服 黑幘 皂絳草衣 絳綠中衣 絳袴祿

給

右亦頭面蔽物首服不可知今定為黑幘其無笏  
可疑按光祿大夫博士等官不給印笏則典屬國  
而或不給也

倪寬 訂補年中行事圖

官階 御史大夫

年貌 為人温良有廉耻然懦於武

章服 黑幘 皂紗草衣 絳綠中衣 絳袴祿

章服 白帶 青笏

右亦原圖物蔽首服今亦定為幘漢制朝服皆  
帶劍亦以原圖不見揚蘇倪三圖並不敢流

取一作知

西第四間

董仲舒 今考定新圖

官階

膠西王相真二十石

年貌

進退容止非禮不行以壽終於家

章服

赤憤 五時服絳衣 絳綠中衣 絳袴

白帶 青綬 帶劍 執笏

右南方迎氣之服也據漢舊儀獨斷等

文翁

今考定新圖

官階

蜀郡太守

年貌

不詳

章服

白憤 五時服白衣 絳綠中衣 絳袴 白帶 青綬 帶劍 執笏

右西方迎氣之服也

賈誼

今考定新圖

官階

長沙王大傅

年貌

年十八以能誦詩書屬文稱於鄉中年三十三

章服

黑憤 五時服玄衣 絳綠中衣 絳袴 白帶 青綬 帶劍 端笏

右北方迎氣及齊之服也

叔孫通

今考定新圖

官階

奉常中二十石

年貌

不詳

章服

長冠 楚製短衣 絳袴 帶劍

右叔孫通宜奉常中二十石章服也今以史

稱服短衣楚製立圖如比其冠亦長冠楚製也司馬彪云

以上西間十六名

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names and titles.]*

臣当作巨

右臣謹按寬平中畫負神泉苑監臣勢金園所  
畫賢聖障子名臣圖  
歷朝寶愛離合設之是以屢免回祿至建曆中猶存  
順德帝朝取自土即門殿置之閑院以其釘定不可動  
以建長之火遂失處所矣旋又造

進一作近

內又粗竄改則障子圖既非舊也嗣後兵燹相踵  
禮文掃地雖其竄改者亦不可見也幸也傳焉周  
房玄齡杜如晦三圖彩本描法可觀章服皆合唐志  
假令非寬平之舊亦可依焉又年中行幸畫屏  
摸本賭射圖內有羊祐以下至倪寬八圖但圖大  
僅寸許他物又蔽虧其詳不可知焉然以意進而  
察之其梗槩亦不悖志說是亦可據也今比二本  
十有一圖並依舊圖不敢加私又就圖立本十八  
學士同李公麟孔門弟子圖內取遠伯玉虞也

呈加

南二回其餘則本之六短傳注禮家回說考之  
歷代志及六典通典玉海文獻通考圖書集成等  
書旁搜素諸家雜記參以蘭亭修禊回二王  
像張易之理凡回等諸名蹟興大學頭臣林信  
敬等雜議詳定授畫負臣將野典信新立圖  
者凡十有九名并舊圖十有一名旁取回二名  
通計三十有二名彩繪備焉年代縣邈回記  
寡微臣等寡陋非敢謂當時之禮容必審如  
斯矣庶幾千載藉之文義無大減裂也其引  
證取捨之說謹繕寫上

儒負臣 榮 邦彥 記

寬政二年八月日

女 日 對 雜 實 平 中 畫 負 軒 泉 益 日 帶 全 圖 所

